燈光

DENKO



'98 大阪経済大学同窓会

1998 No.34

巻頭言
井阪　健一　1

グラビア・特集
黒正巖先生五十年祭　2
「心のふるさと　我が母校」
四国から見た母校　3

本部だより　15
会長あいさつ／理事長あいさつ／学長あいさつ／総会／理事会／全国支部長会

支部だより　21
平成10年度支部総会開催一覧
同窓会支部長一覧

OBネットワーク　32

ホットインタビュー　42
山本幸伸氏／岩村　実氏／森川義一氏／足立　昭氏

北から南から　45

学園便り
ゼミ短信　53
キャンパスライフ
「いまどきの就職事情」　62
学園ニュース　入試／就職　65

事務局便り　73

碑文『道理貫天地』のこと



碑文『道理貫天地』は「青雲萬里道不窮」とならんで、詩才豊かな初代学長黒正巖先生が、墨筆の手紙の末尾によく書いておられた漢詩の一つである。先生の生涯はまさしく「道理、天地ヲ貫」いて55年、大阪経済大学の基盤を学内外に確立され、その遺訓は先生亡き後の今も拠り所となって確実に受け継がれています。

1987（昭和62）年、同窓会は大学創立50周年記念事業として『道理貫天地―黒正巖先生の思い出―』を発刊しました。

編集に関わっていた36回卒の故池田善雄氏―享年39歳―のことが忘れられない。彼は発行直前、本を手にすることなく急死されたのだが、タイトルに「最も先生らしい漢詩を！」と言って『道理貫天地』を主張した熱意はみごとなもので、感激なくして追憶できないものでした。今から思うと編集を通じて、彼は若い世代ながら黒正先生の功績を学び取り、早くも先生の精神的風土を十分理解していたのだと思い知った次第です。

大学は94年、シンボルマークと新しいキャッチフレーズ「エコノ・ロマンティストの世紀へ」を設定し、好評だと聞く。一見落書きのように見えるマーク。母校の伝統である「実学」を1本の直線で、「夢」や「ロマン」を螺旋状の曲線で象徴して、『道理貫天地』のように上下に直線が貫いているようにも見えるではありませんか。

この石碑は故清水好喜代氏（3回卒）のご協力により、92（平成4）年に学生会館中庭に設置されたものです。

（前田悦子）

「澱江」の由来

題字：渡辺達好名誉会長

初代校長黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌（現在の学園歌）の歌詞♪商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ我らが昭和学園…♪から引用された言葉です。ちなみに岩波漢和辞典によれば【澱江】大阪の淀川。澱水（でんすい）、澱河（でんが）。「淀」は「澱（でん）」に通ずる、と記載されています。

巻頭言

井阪　健一



大学改革論議が盛んである。此処数年、カリキュラム改革や、教養部の改編、専門学部の新設、大学院の拡充等に積極的に取り組んで来た大学は多い。

大阪経済大学も概ね、その流れの中で、経営学部、経営情報学部の新設と経済学部のみの単科大学から米国のビジネススクール的な実学の教育へと役割分担を明確にしつつ、学部の充実を図って来た。時宜を得たものと敬意を表したい。

翻って、黒正先生の建学の精神を見るに『自由と融和の人間形成』と時代の趨勢を見据えた『実学』の導入であった。

時の流れは速い。

二十一世紀に向けての大阪経済大学の新しいアイデンティティーとして具体的に何を加えるべきか？

その第一は、情報、通信、金融等の先端的で付加価値の高い分野、即ちコンピュータサイエンス、インターネット、電子マネー、電子商取引、金融派生商品等金融テクノロジーの専門知識の習得であり、此の部門の実践教育の拡充である。

第二は、一般教養では徹底した外国語教育とディベートでの自己表現力の涵養。留学生、帰国子女を受け入れ、外国語のシャワー状態を作り出してはいかがだろうか？

第三は、『少人数制のゼミ教育の深化』である。すでに大阪経済大学では、一年次の教養ゼミをはじめ二年次から専門ゼミが取り入れられているし、重森経済学部長も「ゼミを塾と言える程充実させ活発な議論を通して専門性を深めたい」と述べておられるが正に至言である。

『コンピュータネットワーク』及び『外国語』の徹底修得と『少人数制ゼミ』による実践教育の充実で、実社会の要請に応えられる学生を世間に送り出せば大阪経済大学の将来は大きく開かれるであろう。

先人は言った。

『一年の計は米を、十年の計は木を植えるに、百年の計は人材の育成にあり』と……

プロフィール

井阪　健一
大阪経済大学理事

1931年生れ。53年大阪経済大卒。同年野村證券入社。83年副社長。同年野村證券投資信託委託社長。90年会長。91年証券投資信託協会長。93年東京証券取引所副理事長。

黒正巖先生五十年祭

黒正巖先生の没後五十年を迎え、1998年9月3日、ホテル阪急インターナショナル4階「花風」の間で、しめやかに神事が営まれました。
生前、先生と親交の深かった方々が多数列席されました。
当日の模様と、先生の思い出の写真を掲載し、在りし日を偲びました。



黒正巖先生50年祭『祝詞奉奠』



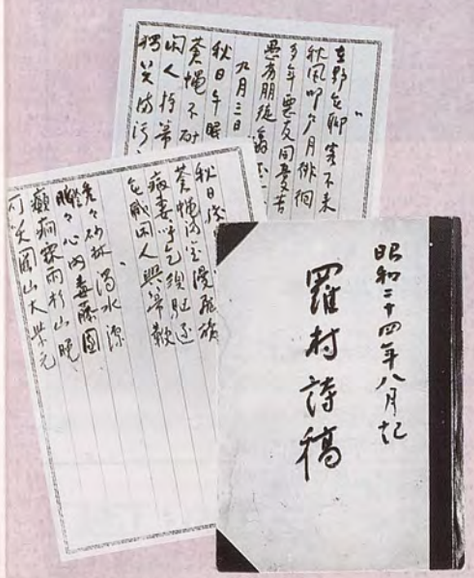
黒正巖先生50年祭
『戦時中出征のとき大阪経済大学の教員から手渡された〈黒正巖学長も含む〉日の丸の寄せ書きを見ながら、ご子息の黒正明氏と佐々木広島支部長が、当時を語る』



勲三等叙勲当時のお姿（昭和10年）



昭和高商の校長室にて、新聞を読んでいらっしゃるお姿



日記『絶筆』（昭和24年９月３日）



自宅で大学の卒業証書を執筆されているお姿（昭和16年）

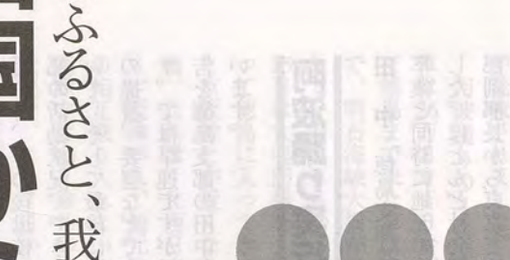
特集

座談会

平成10年8月22日（土）

心のふるさと、我が母校——
四国から見た母校

恩師や友人と母校で過ごした青春時代ともに学び、夢を語り合ったあの頃。懐かしい思い出は心のふるさととして、どんな時も私たちの支えとなり、明日への勇気を与えてくれるだろう。



明石海峡大橋



瀬戸大橋



来島大橋

出席者

田中　良昌（26）　徳島支部長
小野　茂樹（26）　愛媛支部長
岡野　　敦（31）　香川支部長

オブザーバー

水納　敏也（25）　同窓会事務局長
大門　由秀（46）　澱江編集委員長

司会

波根　伸俊（32）　同窓会広報部長・大阪経済大学図書館

司　会　高知支部の方が参加されないのが残念ですが、これから約2時間、ザックバランに自由にお話しいただきたいと思います。

同窓会誌の特集座談会では、「心のふるさと、わが母校」というテーマでずっと特集を組んでおりまして、今回は9回目にあたります。全国に38支部があるわけですけれど、過去に首都東京と関西、北陸・山陰と3回やっておりまして、今回は地域対象では4回目の座談会になります。

四国はまもなく3つ目の大橋が完成します。それから、本学には四国地方からたくさん学生が来ておりますので、この地区の方にお集まりいただくということで企画いたしました。

話の内容としては、まず自己紹介をかねた近況報告、最近の四国の状況をお話ししていただいて、その後母校にまつわる思い出話、各支部の活動状況、できれば合同支部総会などについて、そして最後に母校あるいは同窓会本部への提言、要望などでまとめたいと思っております。では早速ですが、自己紹介をかねた近況報告を徳島支部の田中さんからお願いしたいと思います。

阿波踊り実行委員副委員長

田　中　徳島支部長の田中です。昭和35年の卒業と同時に地元の徳島新聞社に入社いたしました。ほとんど社会部記者として過ごし、社会部副部長から東京支社編集部長に。次いで、本社の事業部長を経て最終的には事業局長（役員待遇）として勤めておりました。60歳の定年になり事業局顧問をしておりますが、今年の6月25日にFMラジオ放送をしている株式会社エフエム徳島の専務取締役に就任しました。

新聞記者として編集で30年勤務し様々の事件、県行政、教育などいろんな記事を書いてきました。事業局では新聞社の主催する各種イベントの企画や書籍の出版などをしておりました。

特に、まだ各地方の新聞社でなかなか主催できない大相撲を今年で6年間連続開催したり、その他美術展とか、プロ野球、Jリーグ、アマスポーツ、文化などの催事を、徳島県内で新聞社の一つの事業として展開してきました。



また、8月12日から15日まで阿波踊りが行われますが、これは徳島市の観光協会と徳島新聞社が共催しています。実行委員会の委員長は徳島新聞の社長がしておりまして、副委員長は徳島新聞社事業局長、徳島市経済部長等がしており、私もここ3年実行委員会副委員長として阿波踊りに携わってきました。

現在、徳島市の観光協会の理事を3期しておりますし、徳島県阿波踊り協会の副会長もしています。阿波踊りとは10年間にわたって深く関わっています。

司　会　明石海峡大橋など橋の開通の影響はありましたか。

田　中　今年、明石海峡大橋が開通して徳島県も近畿圏の仲間入りをし、新交流時代に入りました。それと同時に観光新時代を迎えたということで、今年は特に阿波踊りに昨年より20万人多い、延べ149万人という史上最高の人出が発表されました。

阿波踊りの4日間で明石海峡大橋を渡った車は26万2040台、そのうち大鳴門橋を渡って徳島まで来た車は17万1623台ということで、明石海峡大橋ができる以前の前年に比べて7万506台、2.4倍増えました。特に8月15日は大鳴門橋を1日4万6166台の車が渡って徳島に入ってきています。ほんとうに徳島と京阪神とが近くなりました。バスも1日90往復、これはJR西日本、南海電鉄バス、阪急バス、阪神バス、地元の徳島バス。徳島と京阪神の相互乗り入れという格好です。利用者が多く、期間中は40人乗りのバスがほとんど満席に近い状況で、8月7日から18日までのJRバスは1001便、3万1731人の利用がありました。徳島と三宮間は1時間50分、徳島とJR梅田が2時間30分ということで、大変に近くなっています。



田中　良昌　たなか　よしまさ
徳島支部長

本職のFM徳島は、厳しい構造的な経済不況の中でコマーシャルをいただくのに苦労しています。まだ就任して2カ月ほどですが、若者がたくさん聴いてくれているということで、地元のAMラジオに比べると3倍ほどの聴取率があります。それを売りにして営業活動を続けたいと思います。放送は和歌山・白浜まで入りますので、淡路島、和歌山方面に営業活動をのばしていきたいと考えています。同窓の皆さん、ご協力をお願いいたします。

司　会　ありがとうございます。次に愛媛支部長の小野さんお願いします。

一代で築き上げた酒販業

小　野　私は今、酒販業を営んでいますが、はじめは酒屋をする予定はなかったのです。人間が勝手なもんですから、それを父がよく知ってまして、卒業するときに「おまえはサラリーマンになっても務まらないだろう」と言われて、親父が「自分も手伝うので何かしたらどうや」と言うことで、何かをする予定で親父の友人のところに就職しました。卒業して2年目に父が亡くなりまして、母一人だったので急遽家に帰ることになりました。そこで友人に相談にのっていただきまして、当時酒屋は免許制でしたから、食いっぱぐれがない儲かる商売だったので、酒屋を始めました。家に土地とかいろいろありましたから、それを管理して利用しながら酒屋を始めました。その時はものすごく良かったので、よく遊んでもいたのですが、それがいまだにまだ続いています(笑)。



小野　茂樹　おの　しげき
愛媛支部長

1977年に青年会議所の理事長をしまして、12年間酒屋の組合の理事長を務めました。今も愛媛県の理事を10年ほどしてまして、それから大学の支部長と、儲けることはしなくて遊ぶことばっかりしています(笑)。

司　会　四国経済について何かご意見はありますか。

小　野　愛媛県の場合は橋ができてたいへんなんです。最初、今治の人も喜んでいたのですが、今はみんなかなり心配していますね。心配してもできるんだからしょうがないですが、経済的効果はものすごくマイナスになるんです。松山あたりは観光客が道後温泉に来ますから、松山は喜んでいるでしょう。あとはぜんぶ素通りするから、今治の橋はできないほうがいいんです。

それにしても今は、経済状態がたいへんです。酒販業界も様変わりして、免許制度も自由になりますから、それまでに理事長も辞めてと思ったりしてるんですが…。今のところ遊べるのはおじいさんと親父が残してくれたものがあるから、それで遊んでいるようなもので、仕事しないで遊んでいたら悪いような気もしてるんですが、まあこれも人生楽しいのではないかと思ったりしています。

司　会　お店を、一代でされたんですよね。

小　野　商売を始めたのは自分の時代からで、別に大きくしたわけではないんです。先祖のも

のを利用しただけで、それを利用して遊んでるだけなんです。

田　中　今、橋のことがでましたが、マスコミももちろんだし経済界も、三橋時代のなかでどういうふうに四国は関わっていって、どんな経済効果が出てくるかということがこれからの課題です。

司　会　それでは最後になりましたが、本日の会場等いろいろお世話いただいた、香川支部長の岡野さんお願いいたします。

ホテルマンの養成で過ごした数十年

岡　野　私は昭和40年、31回の卒業です。当初、ホテル業に入るつもりはなく、ある貿易商社に決まっていましたが、日本交通公社に兄がおりましたのでその関係で、フジヤホテル(現国際興業配下)に、そこで3年間研修したら、後3年はオランダで研修という約束で入りました。

フジヤホテルでは客室の掃除から全社員がやります。入って3年間みっちりやりました。やるんだったらプロになろうと、徹底的に3年間しぼられて、オランダには行きたかったんですが、結局家の事情で行けなかったんです。3年の研修が終わりまして、派遣されたのが高松でした。高松国際ホテルに着任したのが42年か43年です。昭和47年までいました。

それから48年度には、前年閉鎖しました京王プラザホテルの前身の高松プレジデントホテルに着任しました。途中2年足らずで京王プラザのほうへ変わりました。私の行くところは、なんとなく倒れるホテルばっかりでした(笑)。

リーガロイヤルホテルに変わったのは昭和54年度です。ずっと、ホテルマンの養成等でこの業界で過ごしてきました。地元の株式会社マキタという会社が母胎でございまして、資本形態がしっかりしていますので今日順調に推移しています。



岡野　敦　おかの　あつし
香川支部長

司　会　経済の状況はいかがですか。

岡　野　高松の場合は新高松空港ができたのがひとつの契機となって、その10年後に瀬戸大橋ができ、そこに今年の明石海峡大橋ができて、波及効果はございました。たしかに香川県全体で15%くらい伸びました。たまたま琴平に温泉が出まして、琴平のほうはひじょうにはやってますね。高松市内はその余波でしょうか。旅館、ホテルは割に詰まっていますが、どちらかというと家族連れの方が多いですね。逆にJRは2%くらい、瀬戸大橋は7%くらいダウンしてまして、だんだん動きが変わってきています。

それともう一つ、いちばん恐いのは先程小野さんのお話にもありましたが、尾道まわりのルートなんですね。たしかに今年は明石海峡大橋ができてひじょうに潤っていることは事実なんですが、逆に来年4月に開通予定なのは、これは香川県にとってはマイナスです。明石海峡大橋から入ってまわっているパターンが、おそらく広島から松山、高知とまわって、そのままで明石海峡大橋へ帰りますから、高松がドーナツ化現象を起こすのではないかと、危機感を抱いています。来年が一つの試金石になるのではないか、今年のようにお祭り騒ぎにはならないと思います。そのような香川県の状況なんですけれど、これから先が不透明だということを県や市へ行って話しています。

また、今は瀬戸大橋の通行量もどんどん減ってきているし、それと高松から徳島まで行ってバスに乗って買い物に行っておられる方が多いんです。そのうちに高速が整備されますと、おそらく高松から三宮へも高速バスができますので心配です。

田　中　神戸から来て鳴門インターから香川県の津田に抜く高速道路は、今、用地買収の最中ですが、もう香川県側はかなり工事が進んでいます。徳島から山を通って津田に出てきますので、あそこから坂出につながり瀬戸大橋に抜けるんですね。

京阪神には高知からも近くなる。その高速は来年中には開通すると思います。

司　会　小野さんは愛媛ご出身で、田中さんは徳島ご出身ですか。

田　中　私は生まれも育ちも鳴門なんです。

小　野　私はずっと新居浜です。

司　会　岡野さんは、神戸ご出身でしたね。われわれ入学試験は全国7カ所でやってるんですが、船の時代は四国は前前日出発だったんです。そういう意味では便利ですが、やはりいろいろ問題をかかえておられるということがわかりました。

次に母校にまつわる思い出ということで、大阪経済大学に進学された動機や、学生時代の思い出などをお話していただきたいと思います。小野さんからお願いします。

お世話になった渡辺啓司先生

小　野　なぜ大阪経済大学に行ったかというと、山ほど受けて大阪経済大学と日本大学に合格しましたが、日大の場合はちょっとした問題があって、と言うのは受験から帰ってきたらある運動部から勧誘がきたので、けっきょく大阪経済大学にしました。その時、大阪経済大学は授業料がすごく安かったんです。それで、浪人するのをやめて入学しました。

司　会　実際、入学されていかがでしたか。

小　野　学校へ行ったのは少なかった。近くに下宿していましたので、毎日食事には学生食堂へ通っていました。学校に半日くらいはおりまして、授業は1日に2つ、3つ受けてたような記憶があります。

司　会　高校時代は何をなさってたんですか。

小　野　水泳・ボクシングをしてました。まあまあちょっと有名だったんですよ。同期で、吉村というオリンピック選手になったのがいます。

司　会　記憶に残っている先生は？

小　野　ゼミの渡辺啓司先生にはずいぶんお世話になりました。京都に住んでおられたので、京都でよくいっしょにお酒も飲みました。あの先生はいい先生でしたね。

あまり学校へは行かなかったんですが、私は要領が良かったせいでしょうね、3年までに単位はぜんぶ取りました。4年はゼミだけでした。先生が好きだったので、ゼミはまじめに受けましたよ。勉強したという記憶はあまりないですね。はずかしい話ですが…

司　会　田中さんも同期ですね。

小　野　ええ。同期なんですが知らなかったんです。田中さんはおそらく学校へ来なかったんでしょう(笑)。

田　中　私はまじめに毎日学校へ行ってましたよ(笑)。

司　会　田中さんの思い出をお話しいただけますか。

柔道部監督は萩原市郎同窓会長

田　中　私立で受験したのは大阪経済大学だけでした。国立はうまくいかなくて、浪人はしたくなかったし、徳島からも近かったので入学しました。

高校時代には柔道部にいた。そんなに強くはなかったのですが好きだったので4年間柔道部に在籍して、キャプテンも務めました。会長の萩原市郎さんとかの昭和高商時代は柔道が強くて、全国でも有数の強い部だったということは歴史に残っていますが、大学になって柔道部らしくなってきたのは、私の2年先輩の吉田文雄さんの時に、萩原さんらが中心になって部が再興されました。私が4年生の時にはじめて関西でベスト8に入りました。その後、関西代表で全国大会に出場するようになりました。

私が現役の時は萩原さんが監督でした。恐ろしい監督で、キャンパスの木の陰でタバコを吸っていたら、後ろから頭をどつかれたりしました(笑)。合宿もいろんな所でずいぶんやりました。3年からは新しい選手獲得のため、あちこちの高校へ行ったりしました。そこそこ見つけて来るのですが、なかなか試験に受からない。良い選手を獲得するのに苦労しました。

下宿は3回変わりました。最初は屋根裏みたいな場所で家賃は安かったのですが、住環境はすごく悪かった。2番目は大学のすぐ前の材木屋の2階でここも環境が悪かった。最後は上新庄の駅の裏で、大きな家の門屋で住まわせてもらいました。

あの頃の思い出というと、駅前で大盛りのラーメンとライスを食べたのが懐かしいです。部活したら腹はへるし、金はないし。1杯が何

十円かの時代です。

水納 あの頃、月謝はいくらくらいだったんでしょうね。

田中 私は奨学金をもらってたのですが、たしか奨学金が1カ月3000円くらいだったかなぁ。

小野 あの頃、入学金が4万そこそこだったと思います。

水納 学校の食堂のクジラのカツ定食が50円でした。

小野 それからびっくりされると思いますが、米が配給だったんですよ。家からたくさん送ってもらって、食堂に持っていって売りました。

田中 学校の食堂は現物支給で、米を持っていったら食券に換算してくれました。金がなくなったら自宅通学していた農家の柔道部員に、「ちょっと米もってこい」とか言って、食堂にもっていってそれでしのいだりしました。当時はきつい生活してましたね。

小野 1カ月6000円そこそこでやっていけたと思います。私は1万なんぼ送ってもらってましたので、優雅な生活ができました。当時の新居浜市の大卒の初任給が9000円でした。

岡野 フジヤホテルは95%外資系でしたのでチップ収入が2万円くらいありました。あの時のホテルマンは優雅でしたよ。私も3年で100万くらい貯めて帰ってきました。あの当時は今に比べて良かったですね。

司会 私も32回だから昭和37年入学で、岡野さんの1つ後輩なんですが、当時は経済学部だけで、授業料も安いし、先生方も国公立出身の方が多くて、雰囲気も国公立大学のような感じでしたね。岡野さん1年先輩ですが…

バスケットボール部から合気道部へ

岡野 私は神戸の四中の星陵高校でした。あそこは伝統的にバスケットボールが強かったんです。親からは「大学へ行くなら、バスケットばかりしないで勉強してくれ」と言われましたので、1年目は国立にチャレンジしました。翌年、関大、近大、経大と受けて全部受かったのですが、近かったこととバスケットボールがリーグ優勝してまして1年からレギュラーで出られるというので、大阪経済大学に入学しました。1年からレギュラーでバスケットやってましたし、4年になったときに合気道の同好会を作るのを手伝ってくれと頼まれたので、結果的に最後は合気道をやりました。

勉強のほうは、ゼミは木村先生の国際貿易論だったんですが、4年になったら「アメリカへ行くから卒論を早く書け」と言われまして、急いで書いた記憶があります。当時剣道部の主将をしていたのが亡くなった鈴木（元ダイエー役員）君なんです。彼からダイエーに行くと聞いたときは、「主婦の店ダイエーなんか、大卒はだれもおらへんで」と言ってたんですが、後の活躍はみなさんの知るところです。

小野 彼は新居浜出身なんですよ。アメリカから帰ってきて、お父さんの法事で新居浜に帰ってきたんです。そのときにいっしょに酒を飲んで、いろいろ話をしましたがなんか疲れた感じでした。それから2、3日して亡くなりました。びっくりしましたね。

岡野 けっきょく彼も企業戦士で50代で亡くなりましたね。福岡ドームを造って、次に取り組んでいたんですね。

司会 学業のほうはいかがでしたか。

岡野 学校はまじめでした。試験の時、ガリ版でプリントを作ってよく売ったりしました。ちょうど学生運動が激しいときでしたね。

小野 私の頃はまだ講義ノートは売ってなかったですね。だいたい人のを借りたりはしましたが。

水納 私の時、女子学生が2人いて、熱心に授業を受けていたのですが、ノートを見せてほしいと頼んだら「見せるノートは作ってません」と言われました(笑)。

われわれの頃は、学校の規模は小さいけれどスポーツ部は結構やってましたよね。

小野 みんなそこそこ強かったですね。

司会 男の学校でしたからね。関学などは女子が多かったですから。〝鶏口となるとも牛後となるなかれ〟というのか、こぢんまりとしたところでのびのびやろうということでした。

岡野 私が3年生のときサッカーが関西で優勝してるんです。東京へ行って早稲田に5対1で負けましたが…

小野 そうだったですね。

水納 あのとき学校全体が盛り上がりまして大経大連がありまして、後輩がお金を集めにきました。浴衣も作って何年かやったらしいですが、踊りにはお金がかかりますし、鳴り物とか作らなければいけないし、三味線とか笛を雇ったらお金がかかります。徳島大学の生徒の連は太鼓と鉦だけです。なんとか復活しなければいけないと言ってるのですが、なかなか連を出すまでは至ってません。

しかし、全体的に見てましたらいろんな大学が連を出しています。東大は東京女子大といっしょにやったり、早稲田は今年は総長も来て踊っていましたし、徳島県内の大学はみんな出ています。

岡野 橋ができたらますます増えると思います。

田中 他の大学は10数連出ています。中央大や阪大、近大も出てます。

水納 いい宣伝になりますね。

田中 踊りも復活していかなければいけないと思っています。学園や同窓会本部が補助してくれたらできると思います。桟敷席だけでも1日2、3万人近く見てるので、良い宣伝にはなるんです。

岡野 西のよさこい、東の阿波といってね。



水納 敏也 みずの としや
（同窓会事務局長）

水納 バドミントン、テニス部には女子大生が合同練習にきましたね。

司会 古久保五郎先生も発想の広い人でしたね。授業にゴルフ取り入れたりね。

小野 私たちの時はゴルフはなかったですね。体操のときはソフトボールばかりしていたような気がしますね。

司会 後半に入りたいと思います。まず各支部の活動について、たとえば以前阿波踊りに経大の連がありましたが、その後はどうなりましたか。

阿波踊りに経大の連を

田中 私が卒業してしばらくは、阿波踊りで大経大連があって、後輩がお金を集めにきました。浴衣も作って何年かやったらしいですが、踊りにはお金がかかります。ただ踊るだけでなしに、鳴り物とか作らなければいけないし、三味線とか笛を雇ったらお金がかかります。徳島大学の生徒の連は太鼓と鉦だけです。なんとか復活しなければいけないと言ってるのですが、なかなか連を出すまでは至ってません。

しかし、全体的に見てましたらいろんな大学が連を出しています。東大は東京女子大といっしょにやったり、早稲田は今年は総長も来て踊っていましたし、徳島県内の大学はみんな出ています。

岡野 橋ができたらますます増えると思います。

田中 他の大学は10数連出ています。中央大や阪大、近大も出てます。

水納 いい宣伝になりますね。

田中 踊りも復活していかなければいけないと思っています。学園や同窓会本部が補助してくれたらできると思います。桟敷席だけでも1日2、3万人近く見てるので、良い宣伝にはなるんです。

岡野 西のよさこい、東の阿波といってね。

田中 それと支部の活動では、なかなかみなさんに集まってもらえないというのが悩みです。だいたい会員の1割が来ればいいんじゃないでしょうか。

司会 今、全体では何名くらいですか。

田中 会員は400名弱ほどですね。

水納 他の支部でも1割来たらまあまあというところじゃないですか。

田中 今年はあまり活動ができてないんですが、集まったらゴルフコンペをしたり、総会で一杯やる程度です。青年部作ったり、組織的な活動もしてるのですが、なかなか活動が活発になりません。先般も集まって、これから先のスケジュールをいろいろ決めました。

司会 株式の投資勉強会とか経済問題の研究会とかやっておられましたね。

田中 そんなこともやりました。

岡野 行き詰まるのはけっきょく資金でしょ。同窓会の資金援助があればみんな集まってくるのではないですか。

田中 いろんなこと考えて、株が全盛のときは株式研究会とかを作ったりしてます。徳島大学の名誉教授になってる先輩もおりまして、その先生とか株をやってる人が集まって、会をしていたときもあるんです。

小野 前の支部長は税理士だったんですね。

田中 私の前が税理士の川野昭夫さん（25回）でした。

司会 林武さん（23回）という発明をやる人もおられましたね。

小野 変わった人がたくさんおられました

よ、徳島には。

田　中　林武さん（23）は何か発明で特許庁長官賞をもらった人です。魚を痛めずに船からポンプで陸揚げする機械を発案、製品化しました。漁業関係者には省力化にもなり、大きな成果をあげたというものです。

それから後輩の樫本孝さん（35回）は県会議員になってまして、今3期目。自民党の若手ですが、昨年初めて講演会を開き、彼が県政の報告、私が海外報告講演をしました。

支部ではほかにもいろんなこと計画してきました。たとえば、家族連れで地引き網をしたり、サーカスに家族連れで行ったり、カラオケ大会などいろいろやってますが、景気も悪くなるし、中心になって活躍する者が、商工会議所の青年部の全国大会やるとか、団体とかグループの中での行事に追われて同窓会の世話ができないというのが現状です。

司　会　それだけ地域で活躍しておられるということですね。

愛媛県だけの名簿作成

司　会　小野さんのところの状況はいかがですか。

小　野　私は初代の支部長なんです。支部がなかったんです。そのとき高商の大先輩もおったんですが、大卒に支部長をしてほしいということで、集まった中で一番年上だったのでけっきょく私が支部長になって、それからずっと支部長を務めています。

司　会　総会は毎年しておられますね。

小　野　毎年支部総会を開催しています。新居浜、西条、松山で交互に行ってます。人数がいちばん多いのは松山です。

問題は支部総会を毎年開催するとマンネリ化して来る人が限られてくることです。2年に1回とか3年に1回だと、かなり集まってきます。家内は京都女子大ですが、京都女子大は3年に1回してるんです。3年に1回だとものすごく集まるそうです。ただ開催地を変えたら、やはりぜんぜん来てない人が来ますね。今年は今治でしたが、初めての人が4人来てました。来年は松山でやろうと思っているのですが、そういうふうにすると近辺の人は来ます。



波根　伸俊　はね　のぶとし
司会（同窓会広報部長）

司　会　今、会員は何名ですか。

小　野　全体で約400名です。

司　会　名簿を作っておられましたね。

小　野　初めて愛媛県だけの名簿を作りました。かなり手もかかったし、徳島の名簿を参考にさせていただきました。

田　中　徳島は広告を取って作りました。

小　野　うちも広告は取ったんですけど、赤字にはなりませんでしたが、たいした資金にはなりませんでしたね。

司　会　今年の愛媛支部総会に参加させていただいて、今治造船とか事故のあった来島大橋とかを見学させていただきました。

講師を呼んでセミナーを

司　会　香川県、高松は毎年入試や父母懇でお世話になってます。水野元支部長さんがおられまして、またいろいろお話があると思いますのでお願いします。

岡　野　今、登録会員は約750名くらい、それ以外の者も入れると800名近くいると思います。支部の歴史が古いですから。水野先輩から和田君、私、10年単位くらいです。それが、出席がひじょうに悪いんですね。毎年750通はがきを送ってるんですが。

たとえば香川大学経済学部の植木教授を講師に呼んでセミナー的なものをやっていけば、もっと参加者が増えると思います。

市役所で今、経大会って別に作ってるんです。24名会員がいます。それから県警本部に24名います。そういう連中が、みな出席するはずなのに来ない。先輩はひじょうにお怒りです（笑）。

今の徳島のお話にあったようないろんなことができるんですけど、市役所の連中が中心になってやってほしいですね。

司　会　市役所の諏訪さんには、卒業後学生の就職でもお世話になりました。

岡　野　学生はこっちへ帰って来るんですよ。また、いっしょに水野先生のところへ行くんですけど。なんとか水野先生がおられるので…。銀行関係、百十四のほうは、いろいろ関連企業をもってますし、地元の四国段ボールの彼だって社長してますから。

西讃地区は西讃地区でかたまって何かやってるようなんです。香川県は西讃、中讃、東讃と分かれるんですね。それぞれに集まってだれかがリーダーシップをとるようにして、支部の下にブロックを作って、それで固めていって何か目玉を作って、例えば植木君呼んでバブル崩壊後の四国の経済とかについてなにか講演をするとか、そういう形で行ってはと思います。

司　会　田岡先生は香川県ご出身でしたね。

岡　野　そうですね。私はあの先生だけは恨みがあるんですよ。落としたのはあの先生の民法だけなんです（笑）。

小　野　田岡先生も香川県出身ですか。学長になった藤田先生もですね。

司　会　今、現役で高城先生と入江先生がおられます。

小　野　高城先生も香川県ですか。

司　会　黒正先生の関係で岡山県、藤田・田岡先生の関係で香川県、いまでもやはり入学者が多いですね。現在、在学生で香川出身は184、愛媛県141、徳島53、高知32です。

小　野　徳島は少ないですね。

田　中　徳島は東京志向型ですね。

四国合同支部総会を開催

司　会　大学も創立65年を過ぎて、2002年には70周年を迎えます。支部でも記念事業を企画して、卒業生の井阪先輩を呼んできて講演してもらうとか、母校の教授に講演してもらうとか、記念事業をやったりしているところがありますが、四国はいかがですか。たとえば合同総会をやってみるとか、何かありませんか。

小　野　1度開催したことがあったんです。ここでしたと思います。

岡　野　けっこう集まりましたね。

小　野　私は忙しくて欠席しましたが、うちからは事務局長の宮崎君が参加しました。

田　中　多分昨年だと思いますが、初めて四国4県の支部から4、5人ずつ出して、四国の交流をしようということで高松で総会を開きました。私も欠席しましたが、野々宮事務局長（37回）が出席しました。

岡　野　愛媛からは真鍋さん、笹岡さん、宮崎さん。徳島からは野々宮さん、山口勝敏（32回）さん、森山充造さん、吉田稔光（55回）さんです。同窓会本部からは陰下さんにお越しいただきました。

田　中　1回やっていろいろ話はしたんですが…、またやらないといけませんね。

司　会　みなさん本業の方が忙しくて、なかなかたいへんだと思いますが…。

岡　野　こんどは、4県持ちまわりでしませんか。来年は愛媛のほうなら橋がありますし、今年できたら徳島でやったらよかったかもしれません。

司　会　本部からもできるだけ応援していくつもりです。同窓会の活性化のためにいろんな取り組みが必要だと思います。

小　野　同窓会はやはり活性化しないといけないですよ。

同窓会総会を各県で

司　会　既に母校への提言、要望へと移りつつありますが、まず後援会長もなさった岡野さんから、母校、同窓会本部に対するご意見がありましたらお願いします。

岡　野　これはできるかできないかわからないんですが、京都産業大学が年に1回全国のどこかに出るんですが、たまたま去年は香川県が担当で、120人くらい集まったんですかね。毎年1回は県外に出て、全国大会ということで大学が多少の資金援助してやるんですね。1回は本校でということで。

いいPRになったんですよ。初めてやったもんですから、それをマスコミが取り上げましてね。

司　会　同窓会総会を大学じゃなくて、各県でやるんですか。

岡　野　各県まわっていくんです、京都産業大学は。

小　野　同窓会を2回するんですか。

岡　野　1回を出すんですね。春ですかね。あそこは30何支部しかまだないんです。

学長が来られましていろんなお話をしたんですが、これから私学が苦しくなってくるときに、大学が出ていかなくてはいけないと言っておられました。

それからもう一つは阿波踊りです。資金調達が大変ですが、ある程度援助ができれば連が組めると思いますね。それができればいい宣伝になると思います。それと高知のよさこいは。

司　会　今、吹奏楽部が神戸まつりとか御堂筋パレードとか、なにか催しのあるときに呼ばれて行ってます。

岡　野　同志社は4年に1回グリークラブが県連ホールでやってますが、この前は女子も一緒にやりました。

田　中　明治はマンドリン部が来てます。ホールで公演して、卒業生にチケットを売らせて、そのときに山間地をまわって学校を訪問するとか、マスメディアにのるような活動をするんです。ホールでの演奏会とマスメディアにのるようなボランティア活動的な無料の演奏会をしています。

司　会　大学も協力して学生のクラブを呼んで、こちらで演奏してはどうでしょうか。毎年は無理だとしても…。

岡　野　同志社は4年に1回やってますね。それは支部が中心になってチケットを売っています。今おっしゃった講演会も、無料で県内の企業のオーナーをよんで、大学の教授が来られて専門の話をされています。

司　会　お手元の資料のように、学内でやっている特殊講義も人気がありまして、通算で5、6年やっています。市民にオープンにしたら、抽選しなければならないほど申し込みが多くて…、学外の各支部での企画も考えられますしね。



大門　由秀　だいもんよしひで
（澱江編集委員長）

岡　野　高松にコンベンションビルができたんですが、そこの紹介所へ出しておけばニーズもあると思います。

今年の傾向としては、香川県で他の私学の父母懇談会や説明会が増えてきました。このホテルだけでも10校くらいあります。ほかの場所でもやるわけですから。こんど9月に東京産能短期大学がやります。梅花、同志社も出てきました。武庫川は毎年派手にやってますし、神戸女学院も出てきました。かってはここでやるのは大阪経済大学と武庫川女子大くらいしかなかったんですが…。地方へ出てきて、四国4県から集めるんでしょうね。

卒業生の子弟の推薦入学

小　野　いろいろやらなくてはいけないことがあるように思います。なぜ衰退しているかというと、学生の集め方に問題があると思います。教授会と理事会の区別と両者のやることの内容が、よその大学と比べたら違っているのではないかと思うんです。教授会というのはしっかり教えて卒業させたらいいんですよ。理事会は学校の経営をしたらいいんです。教授を雇うのは理事会の仕事なんですよ。教授会が教授を雇うのではないんです。それくらいのシステムにならなかったら、大阪経済大学は生き残れないような気がします。

運動部の集め方にしても、極端に言うとたくさん入れて、卒業できない者は卒業しなくてよろしいという感じで、優秀な生徒を集めたらマスコミにものるし、逆に学校のレベルもあがるんですよ。

司　会　父母懇と同窓会、支部総会がドッキングしてやれば、父母と卒業生の新しい出会いが生まれるのではないでしょうか。

岡　野　18歳人口が減少してきてますでしょ。そうかといって今後はUターン就職が苦しくなってきている状況ですから、各支部長から経大に学生を出していただく、そして帰ってくると就職の世話をしてやる、入試と就職をお願いしたいとこの間もお話しました。

司　会　次に小野さん、いろいろ就職のときにもお世話になっていますが…。

それから、卒業生の子弟を支部の推薦とかで入れるようにするとか、ある程度の条件はいるでしょうが、ある程度のことは目をつぶって入れるということをしなかったら、母校愛が育たないと思います。余談ですが、うちは家内と子供が京女なんですが、ものすごく団結力があるんです。卒業生の子供を支部の推薦かなんかでどんどん入れたらいいんですよ。そうしたら母校愛ができて学校も繁栄すると思います。次の孫ができたら、またやりたいということにもなりますよ。

先生は優秀な生徒を育てることを考えていたらいいんです。経営は経営者にまかせればいいんです。

岡　野　分離分担ということですね。

田　中　まったく同感です。

司　会　では田中さんのほうから、また別の切り口でお願いします。

運動部の強化と有名教授の存在

田　中　一つは自分の子供が喜んで受験してくれるような大学になってほしいです。子供が親の出た大学を自分も受けようと思えるような、そんな学校に成長してほしいですね。息子は早稲田の法学部ですが、相手にもしてくれませんでした。

岡　野　やはり寂しいですね。

田　中　卒業後39年経っても、知名度という点ではほとんど変わっていないような気がします。こういう少子化時代を迎えて、どこに原因があるのかということを大学も教授会も真摯になって考えてほしいと思います。ということは全国に1118ある大学、短期大学の中ではまさにサバイバルゲームなんです。そこで打ち勝って行く、勝ち抜いていくということなんですよ。

そういう時代に生き残っていくにはどうすればいいか、同窓会も学校も教授もみながいっしょに考えた方がいいんですね。

司　会　そうですね。

田　中　それから何年経っても知名度があがらないというのは、運動部の強化がまったくできていないからです。約40年間で全国制覇したことは、運動部があるかどうか。運動部を強くするということは、自然にマスコミが宣伝してくれるということです。

また大学に有名な教授がいない、マスメディアにのった教授がいないということもありますね。一人ちょっとおもしろい教授がいましたが…

司　会　ブーメランの西山教授ですね。

田　中　そういうふうにマスメディアにのれる教授、それをまた逆に大学が売り出していく、スターづくりというとおかしいですが、「あの先生の講義を聞きに大学へ入ろう」というようなことも大学は考えてほしいです。

共同通信社を事務局にして、50社ほどの地方新聞社が加入している全国政治経済懇話会というのがあって、会員が1万人あまりいます。そこの月例会は講演会をやるんですが、そこに何百人かの評論家や、スポーツとか経済関係とか各分野の著名人が登録されていて、それを共同通信社が斡旋してくれるんです。全国、毎月100カ所以上のところでだれかが講演しています。神戸新聞あたりはそれを5カ所か6カ所もってるんですよ。100なんぼ会場があって、ぜんぶ月例会をやりますと、そこで講師がいるわけです。講師はいくらいてもいいんですが、残念ながら大阪経済大学はだれも入っていません。

だから「うちもこういう教授がいますから使ってもらえませんか」というようなことを、共同通信社に積極的にアピールして登録しておいたら、あちこちで使ってくれますよ。京都新聞や神戸新聞もぜんぶやってますし、そういうところで講演すると必ず新聞に顔写真を入れて講演要旨が載るんです。

水　納　どのようにして登録するのですか。

田　中　共同通信社に頼みに行くんです。事務局が講師のギャラを交渉して決まります。一回いくらで、交通費とギャラをもらえます。ギャラはあまり高くないですが…。共同通信社の事業本部でやっております。

そういうことで教授をマスメディアにのせるということ。いろんな講演会にも出てもらう。全国各地から講演要請があれば、こういうテーマにはこの先生ということを大学の事務局ですればいいと思います。

小　野　そういうシステムを作っておいたらいいですね。

田　中　実は自治体も新聞社も講師に困っているのでシステムを作っていただいたら、活用

できます。

岡　野　四経連とかの事務局こちらにあります。そこへ持っていったら…。

小　野　商工会議所でもいろいろしてますので、そこへも呼べますよ。

田　中　それを聴いて、あそこの大学の先生しっかりしてるやないかということで、また広がりができてくる。

70周年に特別なイベントを

田　中　たとえば4県で夏休みに吹奏楽の演奏会をやるとか、明大のマンドリンのような形で、地元でチケット売って…。

小　野　チケット売るのたいへんですが…。

田　中　それを安くできるように同窓会が補助してはどうですか。建物建てたりするような箱物に予算を使うのはもうやめて、そういうPRに同窓会の金を使ってほしいと思います。四国4県をまわる演奏会のときに、同窓会から1県100万円ずつ出すと言ってくれたら、チケットも4000円で売るのを2000円でいけるということになります。そういう形で同窓会のお金も有効にPRに使ってほしいということですね。

司　会　横断幕を付けたバスでずっとまわったり…。

田　中　やるんなら大阪城ホールに5万人とか6万人集めて、無料でサザンやスマップのコンサートをするとか(笑)…。

岡　野　これはマスコミが取り上げますよ。



小　野　それぐらいやらないとどうするんですか。でも、教授会では通らないでしょうね(笑)。

田　中　そういう受験生を対象にした夢のあるイベントを企画するんです。みなびっくりしますよ。奇想天外なことをやらないと。

小　野　発想をぜんぜん変えていかないとだめですね。

田　中　アカデミックなことは簡単にすればいいと思います。メーンでやるのは、若者を引きつけるようなこと、ここの大学ほんとにおしゃれやなと言ってもらえるようなイベントをやるんです。

水　納　キャンパス見に来た女子が、「やっぱり大阪学院に行く」と言ってるとか聞きます。なぜかというとあそこは自動ドアとエスカレーターがあるからと言うんです。単純なことなんですよ。やはりそういう転換をしていかなければならないということですね。

田　中　学校の校内で同窓会直営でブランドを安売りするとか。あの大学に行ったらブランドの商品が安く買えるということになったら、たくさん来ますよ。

水　納　広島支部の佐々木さんが10年前から女子のトイレをホテル並みにしようと言ってきて、最近やっとできたような状況ですからね。

小　野　遅いですね、それでは。

田　中　これからの時代は、時代を読むということで、何かないかなということで先取りしていく、そういうものを考えないと、他大学がするようなことだけではだめです。70周年を奇想天外な発想で、大阪経済大学がやることに意義があると思います。

岡　野　他の大学ならやるかもしれませんね(笑)。

岡　野　うちの大学はインターネット、ホームページ入れてるのですか。

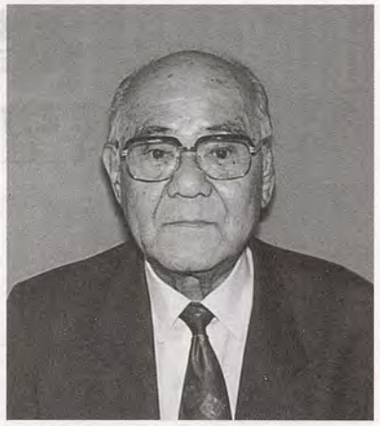
司　会　入れてます。そういうことも大切ですね。

小　野　しかし、今迄話しあったようなことを10年前に実行していたら、大阪経済大学はものすごい大学になってますよ。

田　中　各大学とも大学案内のパンフレットなどは、内容もデザインもたいへん良くなってきていますね。

司　会　それでは座談会は一応このあたりで、みなさん、お忙しいところほんとうにありがとうございました。

悪状況にも負けずに頑張りましょう



同窓会会長
萩原市郎

卒業生の皆様益々ご健勝でご活躍のことと存じます。

この時期になりますと、同窓会本部も会員諸兄姉を迎えての11月3日の総会の準備、年末にお届けする『澱江』の編集作業、そして今年は『名簿』発行の年にあたりいよいよ慌ただしくなってまいります。特に名簿につきましては最近の卒業生の移動は目まぐるしく事務局もその追跡調査に大変な努力をしております。ご存じの方々の消息が判れば事務局までご一報ください。

学内におきましては、最近文部省の校地面積の規制が大幅に緩和され本学の校地もなんとか許される面積近くになりましたが、なお約80坪の不足となりました。しかもこれを借地で充当することは認められません。理事会において、本学から徒歩で3分、距離にして300mの土地1、300坪を購入することが承認されました。これにより校地不足も解消し、新学部を開設してなんとかなります。評議員会で、この時期に土地の購入という投資は如何なものかという意見もありましたが、過密状態の学校周辺で再びこのような好物件は出てこないだろうとの事で認められました。しかし新学部構想も学内調整に手間取り一休みとなっております。A館・B館は取り壊され、我々が在学中勉学に励んだ懐かしい校舎はなくなり、なんとなく黒正記念館・体育館周辺が広々と感じるようになっております。これで戦前からの古い校舎は現大学院の建物のみとなりました。

さて、学外に目を向けますと、今年は経済界（特に金融関係）は一時も目が離せられない状況になっております。銀行の貸し渋りは日増しに多くなり、消費の落ち込みも著しく、不況も一段と激しくなっております。株価も14、000円を境に乱高下している状況です。これに対し政府の対策は野党も含め現在の状況を完全に把握しているのかと疑問を感じる今日この頃です。また、官僚の汚職も国を守るべき自衛隊にまで蔓延し、これでは自衛官の国防意識も減退するのではないかと危惧しております。政府の有効な対策が一時も早く行われることを念じております。

不況により卒業生の就職状況も芳しくなく、また来年の入学志願者も何人ぐらいになるか心配の種です。正に大学も正念場をむかえております。卒業生の皆様には悪状況にも負けず頑張ってください。今後とも母校を愛しこれの発展にご支援、ご協力をいただける事を祈念してご挨拶に代えさせていただきます。

希望にみちた将来展望をめざして



理事長
桑津　昇

理事長の桑津　昇でございます。11期昭和19年高商の卒業でございます。

同窓の皆様には、ご健勝にてご活躍、ご同慶に存じます。

また何かにつけ、母校に想いをいたされ、お心遣いを戴き、うれしく存じ、心より御礼申し上げます。早いもので、理事長就任4年目も過ぎようとしております。財務内容、健全経営の確立こそ至上命題なりとして建学の理念逸脱する事なく、現実即応実践致しております。

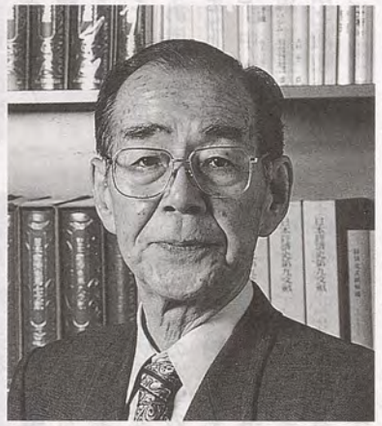
さる10月の学長選にては、経済学部の山田達夫教授が選任され、11月1日付で就任されました。北崎前学長において、G館・大樟ホールの建設、経営学部経営情報学科の学部昇格、改組転換が行われ、ハード面の充実策として、近隣に校地取得も行われ、新しい学部構想も着々手を打たれ、いよいよ、山田学長の下にて、ハード、ソフト両面にて完成期に入る事と相成りました。

理事長と致しましては、設置者としての責任ある立場で当然の事としてしみなき全面協力をする所存でございます。教学サイドのソフト面、理事会主導のハード面もろもろ相挨って躍進の為の充実策は逐次布石されてゆくものと存じます。

ややもすれば本学の地盤沈下が指摘される中で、如何にすれば過去の栄光を取り戻し、立ち遅れから脱却し、希望に満ちた将来展望に繋げ得るか具体策をもって、唯々逡巡する事なく、決断実行に移すのが理事長としての唯一緊急使命感と肝に銘じております。為に経営の任に当たる理事会、バックアップする評議員会、教育・研究に携わる教学、双方を支える事務職員部門の三位一体、よりよきハーモニーを奏でることが肝要であり、本学の将来像も立派に醸し出されるものと信じます。我々卒業生が誇り得る母校、大阪経済大学であればこそと信じております。

しかるが故に同窓生諸賢の今後一層のご支援ご協力をお願い申し上げ、併せて、皆様のご健勝ご盛栄を祈念申し上げご挨拶と致します。

学長就任に当たって



学　長
山田　達夫

同窓生の皆様、お元気でしょうか。厳しい経済環境にもかかわらず、益々ご健勝にてご活躍のことと存じ、お慶び申し上げます。

さて、私、このたび、計らずも北崎前学長のあとを受け、学長に就任することになりました。至らぬ者ですが、何卒宜しくご指導とご協力を賜りますようお願い致します。

ところで、本学をとりまく状況は大変に厳しいものがあります。周知の通り、18歳人口の減少や「大学冬の時代」の到来が早くから指摘され、各大学とも生き残りをかけた取り組みが進められてきました。本学においてもマスタープラン策定をはじめ種々の議論が積み上げられ、経営情報学部の新設や、入試改革、教育内容充実のためのカリキュラム改訂などが行われ、さらに新学科・新学部構想への議論も進んでいます。しかし、困難な条件のなかで一定の成果をあげているとはいうものの、まだ取り組みは不十分で甚だ深刻な状況にあるといわざるを得ません。

先日発表された大学審議会答申『21世紀の大学像と今後の改革方策について』では、副題に「競争的環境の中で個性が輝く大学」と書かれています。「大学全入時代」を迎えて各大学間の熾烈な改革競争が、各大学存続の命運を決するとの含意だと思われます。本学にとっても、大胆かつ全面的な改革は、もはや避けて通れないものとなっています。

本学の改革・発展のために、緊急かつ永続的に必要な取り組みは、基本的には「自由と融和」の伝統を生かし、本学のもつ人的物的資源をできるだけ活用・拡大しながら、よりよい教育を実現していくことにあると思います。受験生や社会にとって魅力的で特色ある教育内容を充実・実現し、本学卒業生が社会から好感をもって迎えられるような人間性豊かで実学的にも充実した教育内容の実現に向けて、全経大人が英知を出し合い、教職員一丸となって努力しなければならないと考えています。また、改革は、いうまでもなく一学部・一学科の新設に留まるものではありません。改革の対象は経大の日常的な事象全般にまで及ぶべきものだと考えています。

課題は山積していますが、教職員一同、力を合わせて難関を切り拓いていく所存です。何卒、同窓生の皆様も、本学の改革への心情をご理解下さり、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆々様の益々のご清栄をお祈り致します。

平成10年度同窓会総会

◆日時 平成10年11月3日(文化の日)午前11時開会

◆場所 50周年記念館

11月とは思えないような暖かいそして素晴らしい秋晴れに恵まれ、午前11時の予定時刻30分前から吹奏楽部の演奏に迎えられてご来賓並びに先輩諸兄姉が来場され1Fロビーは華やかなふんいきとなった。

◆総会セレモニー

定刻11時に波根常任理事（32）の司会で開会。冒頭、この一年間に他界された中村名誉教授、松尾教授、深田京都支部長、桐月神戸支部長、同窓諸兄姉のご冥福を祈り黙祷を捧げた後、福元総会特別委員長（37）より開会の挨拶があった。グリークラブ部員と学歌を斉唱して総会ムードが高まった。

◆萩原会長挨拶の要旨

本日はご来賓として理事長、新旧学長、教職員そして関係各位をお迎えし、お集まりの同窓の皆様と総会を開催できることを感謝致します。同総会は老・中・若の三世代の集まりですが、黒正先生がおっしゃった「自由と融和」の精神で仲良くまとまっております。本日13回の松浦圭子さんが勲五等宝冠章を皇居で拝受されるというおめでたい事がございました。反面、中村名誉教授、松尾教授、深田京都支部長、桐月神戸支部長のご逝去という誠に残念なこともございました。

最後に教職員の方々には日頃格別のお世話になっている旨の謝辞をのべられた。なお、同窓会事務局長交替の報告があった。

◆来賓祝辞

◆桑津理事長ご挨拶の要旨

11回の桑津でございます。秋晴れのよき日に開催された総会にお招きいただきありがとうございます。学校は自己点検、自己評価でもって運営は万全です。しかしながら同窓会の皆様のご支援とご理解を賜りたくお願い致します。経営情報学部が一昨年認可され2学部から3学部体制となり中身は充実しております。千載一遇のチャンスであろうと思える土地を近隣で購入することが出来ました。ハード、ソフトの面も充実しておりますが、最近の本学の偏差値に危惧感をもっており、新学部設立を契機に発展して行くものと考えます。そして健全財政を貫いて居りますので必ず遡上するものと考えます。同窓会のご支援をお願いし、同窓会の完全な発展と会員各位のご健勝を祈ります。

◆山田新学長ご挨拶の要旨

総会開催おめでとうございます。1963年に（昭和38年）本学に赴任後、農業経済学、日本経済史を担当し主として日本経済史研究所に所属しており35年になります。本学を取り巻く環境は厳しく、大学審議会も「競争的環境の中での個性ある大学」と言っておりますが、この競争に勝つためには次の事項が必要と考えます。

①教育内容の充実…教員が教育研究に献身的努力をする。

②全学一致という点で欠けている…職員層への配慮。

③新学部構想…全学同意が得られるよう努力する。

いずれにしても時間が無いので、全学の英知が集められるよう、真剣に、しかも早く取り組んで行きたいと思っております。

◆来賓紹介

大門常任理事（46）よりご臨席いただいたご来賓の紹介があった。

◆ご報告

法人の香積事務局長より、皆様にとっては大変懐かしいA・B館が取り壊されて更地となったこと、部室でボヤ騒ぎがあったことのお知らせがあった。

◆感謝状贈呈

学校並びに同窓会の発展にご功績のあった北崎前学長と陰下同窓会事務局長（16）に萩原会長から感謝状と記念品の授与があった。

◆同右に対してご挨拶の要旨

北崎前学長 ありがとうございました。新学部の問題や大学院問題等を積み残して退任する事が心残りでございますが、理事長、新学長、教職員が一丸となって事に当たれば本学は必ず発展すると信じます。

陰下前事務局長 ご来賓各位並びに会員諸兄姉のご参会を得まして、平成10年度同窓会総会が盛大に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。過去10年間同窓会事務局のお世話をさせていただきました。先程は会長から身にあまる感謝状と記念品料を頂戴し恐縮して居ります。50周年記念館で同窓会を開催できますのも学校当局のご理解と教職員各位、特に技術職員の方々の暖かいご理解とご支援の賜物と感謝しております。また卒業生職員各位の積極的なご協力に深謝致します。思い返せば、新学部開設、新学舎建設等学校も様態を整えて参りました。事務局長は退任させていただきましたが、会長から副会長として同窓会に協力するようにとのご指示もあり出来る限りお手伝いはさせていただきますので、今までと変わらぬご指導ご鞭撻をお願い致します。

「友ありて　共に歩みし　人生の
老先きさらに　友を求めん」

という私の一句を最後にお礼のご挨拶とさせていただきます。

◆支部長紹介

北は北海道、南は鹿児島等全国からご参席くださった支部長（代理を含む）並びに会長、副会長、名誉会長、常任相談役、顧問各位を水納事務局長（25）が紹介しセレモニーは終了。ご来賓各位から順次パーティー会場にお移りいただく。

◆懇親パーティー

川崎総会特別委員（55）の司会で開会、恒例の桑津理事長、山田新学長、荻原同窓会長による鏡開きに続き渡辺名誉会長（3）の乾杯の音頭で懇親会の幕開けとなった。初めて参加した会員も多く、先生を囲んでの懇親、久しぶりの顔を合わせた友人との快談に終始和やかな雰囲気であり、来年の再会を約束した方々も多かった。西山東京支部長代理（16）の学校を思う気持ちがほとばしった檄があり、グリークラブ員の指導で逍遙歌斉唱の後も磯野常任相談役（3）から学校を良くしようと言う呼びかけが声高くあり、続いて内海教授から非常に厳しい状況下にあるが教職員一致して頑張りましょうというご発言があった。磯野常任相談役の万歳そして長崎岐阜支部長（29）の元気溢れるエールに会員が惜しみない拍手をおくって、盛り上がった総会となった。

※文中の（　）の数字は卒業回数

平成10年度理事会開催

◆日時 平成10年6月27日（土）午後4時開会

◆場所 新阪急ビル12階　レストラン・パレス

◆萩原会長挨拶要旨

久しぶりに支部長始め理事の皆様方と理事会を開催することが出来て、皆様の母校と同窓会を思うお気持ちに感謝致します。少子化時代を迎え学校も大変な時期に来ており、同窓会と致しましては不退転の決意をもって学校当局に意見具申を続けていきたい。

人事について報告（陰下前事務局長が副会長に、水納前副会長が事務局長に就任）。

◆慣例により萩原会長（10）を議長として議案審議に入った。

冒頭、次の質問や意見があった。

・前事務局長が理事会を欠席した件について。

・決算関係の書類に財務諸表がない件について。

・事業計画や事業報告がない件について。

◆第一号議案

平成9年度決算について

本案件については、大西財務部長（35）が、平成9年度収支決算について各項目別に説明し、続いて植村監事から「平成10年6月23日に監査を行ったがその処理は正確でかつ適正であった。」と監査報告が行われた。その賛否を諮ったところ満場一致で可決された。

◆第二号案

平成10年度予算（案）について

本案件については福元総務部長（37）が各項目について詳細な説明を行った後、賛否を諮ったところ満場一致で承認可決された。

◆第三号議案

その他

特に提案事項なし。

以上で議案審議のすべてを終了し、ご来賓の桑津理事長、北崎前学長からご祝辞及び学内事情のご説明を戴いた。続いて田渕入試部長、久保田就職部長から本年度の入試状況と就職状況のご説明を戴き理事会を閉会した。

別室に移り懇親会を行った。

平成10年度全国支部長会開催

◆日時 平成10年6月27日（土）午後2時開会

◆場所 新阪急ビル12階　レストラン・パレス

◆出席者

萩原会長以下常任理事18名並びに東京、東海、岐阜、滋賀、富山、福井、三重、和歌山、奈良、大阪市、大阪市役所、豊中、池田、泉南、尼崎、西宮、神戸、丹有、淡路島、岡山、備後、広島、山口、香川、愛媛、徳島、高知、熊本、南九州の各支部長及び実務担当者。（順不同、代理を含む）

◆開会

白井組織部長（26）の司会で開会。昨年好評であったため今年も各支部の副支部長、代表幹事、事務局長等の実務担当者にも出席を願った。

◆萩原会長挨拶要旨

4月1日付で陰下前事務局長が副会長に、水納前副会長が事務局長に就任した旨報告があった。

受験生の減少に対処すべく学校において、いろいろ検討されているが具体策が定まらないのが現状である。しかし「経営経済のスペシャリストの養成」「就職先のグレ

本部だより

ードアップのための教育」等、不退転の決意をもって学校当局に意見具申を続けて行きたいと決意を表明された。尚、井阪東京支部長のご尽力で特殊講座の開設やインターシップの実施、継続が学校のPRと就職先のグレードアップに大いに寄与しており感謝しておりますと披露された。

◆中山支部長会幹事長（15）挨拶

今年はあらかじめ数人の支部長に発言することをまとめていただいておりますので、そのご意見を聞いてこの会を進めていきたい。本日のこの議事録は後日皆様にお送り致します。

各支部長発表言旨

阿部 東海支部長 偏差値が低く、黒正イズムが欠如している。若く情熱をもった教授が必要。

宇藤 和歌山支部長 大阪経済法科大学と間違えられている。なんとかならないか。

田中 徳島支部長 マスコミを利用して知名度をあげる事が必要。アカデミックだけでは学生は集まらない。

浜 熊本支部長 地方にいると母校が全然見えてこない。神戸学院は学校挙げて九州の高校廻りをしている。

その後各支部長より学校を愛する気持ちが言わせる建設的な貴重な意見を出していただきましたが、紙面の都合から残念ながら割愛させていただきました。

中山座長が「本日は多くの方々から貴重な意見を開かせていただき、ありがとうございました」と述べられて閉会となった。

平成9年度収支決算書 自 平成9年4月1日 至 平成10年3月31日 （単位：円）

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	20,814,369	20,814,369	総会費	4,865,205	7,000,000
会費収入	65,586,000	60,000,000	役員会費	1,662,750	3,200,000
総会収入	832,000	800,000	支部費	5,776,777	8,500,000
利息収入	330,837	400,000	事務費	194,520	1,000,000
澱江収入	1,202,882	900,000	人件費	7,450,760	7,800,000
名簿収入	107,250	0	旅費交通費	3,142,520	3,700,000
雑収入	15,000	0	澱江発行費	15,643,031	18,000,000
			名簿調査費	2,309,532	6,000,000
			学対費	7,862,575	5,000,000
			諸会助成費	958,125	2,000,000
			慶弔費	427,005	700,000
			名簿積立金	4,000,000	4,000,000
			スポーツ・学術振興積立金	3,000,000	3,000,000
			特別基金へ繰出	10,000,000	10,000,000
			予備費	0	3,014,369
			次期繰越金	21,595,538	0
合計	88,888,338	82,914,369	合計	88,888,338	82,914,369

平成10年度収支予算表 自 平成10年4月1日 至 平成11年3月31日 （単位：円）

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前期繰越金	21,595,538		総会費	7,000,000	
会費収入	60,000,000		役員会費	3,200,000	理事会・常任理事会・各部会
総会収入	800,000		支部費	8,500,000	運営費・支部総会援助
利息収入	300,000		事務費	1,000,000	
澱江収入	900,000		人件費	7,800,000	事務局人件費
名簿発行積立金取り崩し	20,000,000		旅費交通費	3,700,000	
			澱江発行費	18,000,000	
			名簿発行費	20,000,000	
			名簿調査費	6,000,000	
			学対費	5,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
			諸会助成費	2,000,000	諸会援助
			慶弔費	1,200,000	
			名簿発行積立金	4,000,000	
			スポーツ・学術振興積立金	3,000,000	
			特別基金へ繰出	10,000,000	
			予備費	3,195,538	
合計	103,595,538		合計	103,595,538	



「北海道」の悩み

北海道支部

私は札幌に住みついて10年目となりますが、最初はその広さに驚かされました。面積はなんと九州の約2倍半もあり、道内に空港は13か所もあります。そんな所ですから、例えば札幌市から道南の函館市までは、車で約5時間かかりますし、同じく道東の根室市までは、約8時間です。また、全道人口の3割強に相当する約180万人が札幌市に集中しているために、あらゆる事が札幌中心となってしまいます。北海道支部会での最大の悩みは、年に一度の支部会に参加できるのは、どうしても札幌近郊の会員が中心となることです。今後は、開催時期・開催場所などを検討してより多くの会員が参加できる支部会にできればと思っております。



札幌近郊以外でも総会を

鵜飼泰正（51）

「東京支部総会開催」

東京支部

平成10年10月7日（水）新宿野村ビル48階の野村クラブで本年度の東京支部総会が開催されました。

井阪健一支部長（東京証券取引所副理事長）、大学、同窓会本部ご来賓からのごあいさつの後、すっかり恒例となった国際証券の松谷社長（22回卒）の経済見通しについてのお話がありました。

さすが、経大卒業生、みんなで「お金儲け」の勉強をビールを飲むのも忘れ、一心不乱にやりました。

後は、ビール、ウイスキー、ワインでワイワイガヤガヤ、積もる話に花が咲いていました。

本年も総会初参加の方が10人程いらっしゃり、「これから毎年参加するぞ宣言」をしてもらいました。

本年総会で特筆すべきことは、「支部内クラブ」が誕生したことです。しかも「ゴルフクラブ」「魚つりクラブ」「ハイキングクラブ」と3つもできました。今後の活動が

母校出身大学教員の近況等

東海支部

最近の大学を取り巻く厳しい環境―少子化傾向にともなう18歳人口減による大学受験生の減少等、いかに乗り切るべきか―

名古屋支部総会恒例の同窓生講演（平成9年11月22日夜・名古屋国際ホテル）で辻節雄名古屋外国語大学教授（29回）が熱演されました。

タイトルは「最近の私立大学経営事情と経大（院）出身大学教員の近況」。母校の発展に思いを馳せながら資料をもとに社会のニーズに応える特色ある大学にと期待を寄せ、あわせて経大出身、現役大学教員10数名の近況が紹介されました。

今回で2度目の出席となった北崎学長から待望の第3学部、経営情報学部の開設、教授陣の充実、カリキュラムの大改革等々、大学改革の挨拶とあいまって盛況。磯野相談役、陰下事務局長、長崎岐阜支部長等の祝辞を頂き乾杯。次回10年度総会の更なる前進と再会を誓い散会しました。

副支部長　明田安生（25）



「支部内クラブ」が誕生



更なる前進と再会を誓い

新支部会員へ

岐阜支部

今年度の新卒業者の岐阜支部への名簿では、6名と多くの人々が登録されました。勤務の為に来岐された人、地元に帰って来た人とさまざまでしょう。同窓会の支部総会へはぜひ一度顔を出してほしいと思っております。平成10年度支部総会は平成11年2月に予定しております。この『澱江』を見て、今年こそはと思い参加して下さい。今は国内外とも景気の動向が思わしくありませんが、多くの人と語る事によって道も開けてくるやもしれません。

皆様のご意見でもおよせ下さい。

支部長　長崎和夫（29）

学生減少期に一層の工夫を

富山支部

富山支部は毎年7月に総会を開催しております。本年は富山市において開催し、会員の交流と親睦を深めました。水納事務局長と福元総務部長の本部役員と大学から山田学長のご来賓のご出席のもと、学園の現状と将来についての報告を頂きました。



学生時代を振り返り大変な盛り上がり

本年は、村岡氏（37）の初出席もあり、皆さんは学生時代を振り返り大変盛り上がりました。学生減少期のなかで、新学部設置の推進や広報活動の強化等学生確保を初めとして、母校のより一層の発展を願う声がでておりました。来年の支部総会は、7月第3日曜日に高岡市で開催することを申し合わせました。

支部長　重松　尚（23）

会員相互の和とともに

福井支部大淀会

大淀会は昭和58年、大阪経済大学同窓会福井県支部の会員で、50歳以下、福井市近辺に在住する有志で結成されました。



会員相互の和のもとに

同窓会支部総会は毎年1回、12月に開催されておりましたが、互いにもう少し短い間隔で集まり、情報の交換を図り、親交を深めることによって同窓会の活性化にもつながるということで発足しました。例会は年5回（同窓会を含めると年6回）偶数月に開催されています。できるだけ安い費用で、若い会員が気軽に参加できることを第一に考えてのことでした。また、会員相互の和とともに、家族ぐるみの親交を深めることにもポイントが置かれ、8月の例会は家族で参加できるように、親子キャンプ、県外のバスツアーを1年おきに交互に企画しています。

また、最近では大経大を卒業して福井県に戻る学生が少なくなってきていることから、当会、同窓会福井県支部の発展のために、特に若年会員の勧誘を積極的に進めています。

田安敏男（38）

懐かしい上新庄

三重支部

三重支部会員の皆さん、1年間のご無沙汰でした。お元気で日々お過ごしのことと思います。さて恒例の平成九年度支部総会は、11月9日、母校より里上教務部長、同窓会本部より萩原会長、福元総務部長の諸氏をお迎えし会員17名の参加を得て常宿の松阪市「和田屋」で開催しました。席上来賓各位より現今の少子化現象に伴うサバイバル時代の母校の現状、将来像などについて種々お話を頂き、しばし懐かしい上新庄に思いを馳せました。今年も初参加の会員を迎え恒例の自己紹介と現況報告に雰囲気も盛り上がり、最高の松阪肉を賞味しつつ互いに交情を深め和やかなうちに来年の再会を約し散会しました。

なお総会ご案内の返信は、いつも6割程度です。名簿の精度向上のために、出欠に拘わりなく是非返信をお願いいたします。

支部長　中尾大輔（5）



最高の松坂肉を賞味しつつ交情を深め

和歌山支部のゴルフコンペ

和歌山支部

今年5月に第1回和歌山支部主催のゴルフコンペが、和歌山市の小倉カントリークラブで開催されました。このコンペは、昨年末に行われた那賀地区会の親睦会で、宇藤支部長から発案があり、幸い那賀地区会長の中村熙氏（22）が、小倉カントリークラブの理事長をされているので、無理をお願いし



コンペ終了後、懇親会へと

て開催することが出来ました。

コンペは、28名の参加を頂き天候も五月晴れに恵まれたこともあって、和気あいあいとラウンドを行い、コンペ終了後、クラブハウスで、懇親会と表彰を行い、1日楽しく過ごさせて頂きました。

来年5月に第2回目のゴルフコンペも計画していますので、皆様方のご参加をお待ちしています。

平松一夫（42）

同窓会だより

大阪市役所支部

全国大阪経済大学同窓会の皆さん、こんにちは。



大阪市役所支部にご参加を

唯一の職域支部の大阪市役所支部です。平成9年度の総会は、11月19日に、大阪市互助組合桜之宮職員会館で、同窓会より津秋副会長、陰下事務局長、また、大学からは、北村教授に出席していただき、盛大に行われました。

会員数は、多いのですが、出席数が、少ないのが現状です。どうすれば参加者が増えるのか、妙案があれば教えてください。

平成10年度の総会も11月に予定しています。市役所支部の皆さん、どうぞ参加してください。お待ちしております。

南　正治（43）

豊中支部新年度活動紹介

豊中支部

不況の折、活発な行事予定を紹介します。

- ●通常総会・親睦会　10月17日　モンレーブ　大阪市北区曽根崎
- ●もみじ名所散策　11月29日　明治の森・箕面の滝他
- ●支部麻雀会　平成11年2月6日　キクヤ麻雀店　大阪駅前第一ビル
- ●奈良天平ロマン散策　4月4日　平城宮・薬師寺・唐招提寺他
- ●支部ゴルフ大会　4月14日　ゴルフ場後日決定
- ●支部カラオケ大会　4月24日　笠井ビル　豊中市玉井町
- ●支部ボーリング大会　6月12日　ボウル曽根　豊中市曽根東町
- ●景気情報交換会　8月28日　ひまわり会館　豊中市稲津町
- ●支部読書会　9月11日～12日　かんぽの宿　豊能郡能勢町

支部長　山本雄三（28）



活発な行事予定で活性化

講演会開催

泉南支部

重里実氏（11）卒が勲五等雙光旭日章受章されました（平成10年春）。

重里さんは泉佐野市商工会議所会頭及び泉佐野市納税協会会長を歴任され、また地場産業タオル業界発展のため永年献身的に活躍して来られました。功績により今回の受章となり誠におめでとうございました。

平成10年度支部総会ではリーガホテルアルザ泉大津122『地域経済におけるビッグバンと資産運用』と言うタイトルでグリーンリーフ大学教授の後藤裕氏講演会を開催しました。

後藤先生より、銀行の貸し渋りから脱皮する方法や中小企業の資産運用、最近の流行をふまえて物



講演会も開催

が売れる仕組みとは何かについて、わかり易くお話をしていただき大変好評でした。

懇親会は講演をしていただきました後藤先生、同窓会本部より磯野斉相談役、陰下嘉典副会長、水納敏也事務局長、大学より福岡健一就職部課長、和歌山支部より宇藤博文支部長を来賓としてお招きし、和やかな交歓のひとときを過ごしました。初めての参加者が多くなり喜んでいます。現在まで不参加の方も来年度は気楽な気持ちでご参加ください。

支部長　小松安夫（23）

心がかよう支部総会

丹有支部

日本の景気の低迷は激しく、明治維新、敗戦に次ぐ第三の大変革期だという声さえ聞かれ、そのうえ、大学は冬の時代へと入ります。

同窓生が集い、友情と連携を深めるのは意義のあることだ、と誘い合って、今年は、10年25日（日）に三田セントラルホテル（作田善司氏〈35〉経営）で、52名の出席を得て、支部総会を開催しました。

母校の黒田勇先生に「不況下におけるマスコミの役割」のテーマで講演をしていただき、良く分かるお話が大好評でした。

常任理事波根伸俊・大門由秀氏と豊中支部長山本雄三氏が参加され、懇親会は盛り上がり、逍遥歌の余韻が今も残っています。

恒例のゴルフコンペは、11月18日（水）、三田レークサイドC・Cで行いました。

支部長　梶村文弥（8）
副支部長　奥野昇二（19）・西羅隆之（25）・足立徳太郎（36）



心がかよう支部会員

活力溢れる支部総会

池田支部

平成10年10月11日快晴のなか池田市民文化会館において支部総会を同窓生20名の参加のもと開催しました。10月9日は日経平均が12、879円を示す。財政赤字が増税となり、収入増加が消費につながらない「リカルディアン」効果が叫ばれ、暗い重い世相にあって参加された同窓生に感謝一杯の気持ちでした。永びく不況のなかにも居酒屋、運送業へ進出など活力ある話題溢れる盛況に互いに集まって良かったと感じ合いました。

学校当局より示された施設拡充積極策や地下鉄延伸に伴い、駅名を「大阪経済大学前」の実現に、大学と同窓生が一体となり、商都大阪に小さくとも輝ける母校実現に躍進すること、支部を発展させ大学を支えてゆくことを誓い合いました。



支部を発展させ大学を支えてゆくことを誓い合い

支部長　渡邊泰敏（21）

同窓生のつながり温かく

尼崎支部

早いもので、発足以来12年目を迎えております。阪神大震災という苦しい経験を乗り越えながら、自分達の生活を立て直し、まちをよみがえらせていく姿に、やはり人と人とのつながりが、何よりもまして大きなエネルギーだなと感じています。

4月24日、尼崎市内のニューアルカイックホテルで、恒例の総会を開催し同窓生同士の強く温かいつながりを再確認しました。

特に今年は、兵庫県阪神県民局長の足立昭氏（29）にご出席頂き、



同窓生のつながりは温かく

尼崎市についてのスピーチを拝聴しました。

支部長　小谷芳男（24）

明石海峡大橋の経済効果続け！

淡路島支部

第8回淡路島支部総会は、去る9月5日、南淡町福良の「三福」において、大学より濱本経営学部長、同窓会本部より陰下副会長、白井組織部長のご臨席を仰ぎ、地元会員もひさびさの30名の大台に乗る出席で開催されました。



参加者全員で学歌を歌い

「明石海峡大橋開通で淡路の経済はどうなる?」といった当初の不安を払拭して4月の開通以来、連日、島は人と車で大混雑…。

確かに現在のところ、大橋は淡路にとって予想を上回る経済効果であり、これが一日も長く続くことを祈りつつ、旬の料理と地酒に一献を交わしての賑やかな集い。

最後に「未曾有の構造的不況なんかに負けないぞ」との息吹で参加者全員で学歌を歌い、次回の再会を誓い合いました。

支部長　宝川雅嗣（23）

姫路支部長を引き継いで

姫路支部

伝統ある姫路支部発足以来支部長としてご活躍いただいた6期生永川氏が、昨年突然ご逝去され支部の存続が心配されたが、本年当初より有志が集い前支部長の遺志を引き継ぎ存続する事となりました。

これまでは、全て前支部長がされ引き継ぎもなく暗中模索の中、役員の協力により10月25日に平成10年度支部総会をプラザホテルで開催、新しく「会則」と「役員」を決め、又会員の動静を把握できるよう「事務局」も併せて設置しました。



新支部長のもと結束

当日は、近年になく大勢集まり、司会者の巧みな話術で宴会も盛り上がり3時間が、またたく間に過ぎ、最後は全員校歌の合唱で幕を閉じ、出席者全員満足でした。

今後は、若い会員や女性の参加を視野に入れると共に出席して何かが得られる総会にしていきたい。

支部長　三木庸義（26）

母校と同窓会(支部)は！

岡山支部

岡山県支部も間もなく発足50周年になる。生まれて50歳。長くもあり、また短くも感じます。発足時数百名の会員も、現在では千数百名、即ち4倍以上の大家族集団となりました。これから少子化の現実問題として、加速的に入学・卒業会員の減少シフトは必至です。「わが愛する母校よ都市私立大学として頑張れ！」と大声すると同時に、我々同窓会の組織及び一員として何を協力すべきか、何が出来るか、先般本部会に於いて、一部熱心な議論意見が一丸となって、母校を中核として本音で協議し、この難局にチャレンジする事が必須です。全国各支部及び会員の意識を高揚しましょう。

今年度岡山支部総会は平成10年6月13日に、岡山市役所会は、平



発足時より4倍以上の大家族集団



10周年記念祝賀会開催

成10年3月20日、津山会は平成10年6月27日に開催されました。

支部長　村上一夫（12）

津山会10周年記念総会

岡山支部津山会

去る平成10年6月27日津山国際ホテルにおいて津山会10周年記念祝賀会を盛大に挙行しました。

当日は、大学より香積事務局長、同窓会本部より陰下副会長、そして岡山県支部より小野副支部長と塩尻常任幹事の各ご来賓の臨席を仰ぎ、津山会26人の会員の出席により和気あいあいのうちに開催されました。

特に今回は、徳岡先輩（21）のご努力により、真庭地域より大勢の初参加会員の出席を得、大いに盛り上がりました。

津山会は、今後親睦ゴルフコンペを企画し、さらに会を充実発展させたいと考えております。

今後とも津山会に対しまして、ご指導ご支援をお願い申し上げます。

竹本　巧（37）

創立70周年雑感

広島支部

第56回広島支部総会は大学側の父母懇談会に並行して、去る7月4日、市内栗区光町のガーデンパレスで行われました。当日は萩原同窓会長、北崎前学長以下諸先生方のご参加で内容のある催しに終始いたしましたことを、誌上を借りて厚く御礼申し上げます。

少子化時代を迎える大学の今後の在り方、やり方については問題点も多々あるわけですが、私が敢えて申し上げたいことは大阪経済大学があと3年半で、70周年を迎える事であります。人生で言えば、「古希」を迎える事で本当に意義あることではないでしょうか?その対応として、速やかに委員会をつくるとか様々に具体案があろうかと思いますので、本誌を借りて提案し、皆々様のご協力を切にお願いする次第であります。

支部長　佐々木一義（9）



創立70周年を祝おう

香川支部総会盛会裡に終了

香川支部

去る7月19日（日）午後6時から古新町のリーガホテルゼスト高松で、平成10年度香川支部総会が盛大に開催されました。

当日は、午後4時迄大学後援会主催の父母懇談会が開催されたので、大学から北崎豊二前学長以下6名の方、同窓会本部から陰下副会長、白井組織部長、支部会員27名、計35名が参加されました。

北崎前学長の「大学の現況と今後の展望について」の講演も有り、少子化に向かう今後の大学経営の厳しさなどを伺うにつけ、私達同窓生のバックアップの大切さを痛



和やかなうちにも厳しさを痛感

感された方も多かったのではないでしょうか。

香川支部の同窓会名簿を整理しておりますので、お知り合いの方を支部長まで御連絡ください。

支部長　岡野　敦（31）

同窓生どおし助け合いを

徳島支部

徳島県支部の10年度総会は10月23日18時30分から徳島市内のホテルクレメント徳島に約30人が出席して開かれました。

学歌斉唱のあと田中支部長が、「厳しい経済不況が続いているが、同窓生が助けあい頑張りましょう。今年は60回卒業生が出席してくれて懐しいです」などと挨拶。ご来賓の陰下嘉典同窓会副会長、中村敏啓学園理事から同窓会の状況、大学の現況などが説明されました。

総会では来年度事業計画として新年会、親善ゴルフコンペ、アウトドアレクリエーションなどを決めました。

乾杯のあと自己紹介、懇親会で親睦を深めました。最後に榎本孝氏（35回卒、県議会議員）の発声で万歳を三唱し閉会しました。

支部長　田中良昌（26）



自己紹介で親睦を深め

愛媛より熱いエールを

愛媛支部

平成10年度支部総会が浜本経営学部長、同窓会津秋副会長、波根広報部長の御出席のもと、来春「しまなみ海道尾道・今治ルート」として大きく変貌しようとしている今治市において7月5日開催されました。旧交をあたためるのは無論ですが、やはり大学に対する厳しい要求、要請が相次ぎました。これも母校愛に満ちた表れだと受けとめさせていただきました。なお、この総会に先立ち尾道・今治ルート架橋現場、並びに山内、二宮お二人のご尽力により勤務先の今治造船㈱の見学を実施いたしました。感激をしていただき幹事として心うれしく思いました。最後になりましたが益々の大学の発展をお祈り申し上げ報告とさせていただきます。

池内勝利（33）

「頑張る同窓生、大学は大丈夫か」

南九州支部

日本列島総不況の最中、5月3日、当地、サンロイヤルホテルで、同窓会本部から会長以下3人加えて、先輩の浜本経営学部長のご来場を頂き、同窓生23名の出席で例会を開催した。母校の近況報告と、当地域で各界に奮闘活躍されている出会者の現況報告に、相づちを重ねつつ聞き入り、利害を越えて応援できるのも、同窓生なればこそ、当節の厳しい環境の中、経大卒の誇りと連帯を大事にして当支部では頑張っています。

さて熾烈な大学存立競争の中、母校の安全と維持に心底から心配するのは全国各地で活躍する同窓生一同、かって、母国を失ったユダヤ民族の二の舞いは避けるべし。その旨、大学理事会殿に確と、舵とりを切に請う会合でした。

支部長　伊伏　彰（23）



会合は母校愛に満ちて



経大卒の誇りと連帯を大切に

訃報

故　桐月正邦神戸支部長を偲ぶ



今年の8月21日のことでした。桐月正邦神戸支部長御逝去の報に接し、神戸支部は驚きとともに大きな悲しみに包まれました。

去年の秋、神戸の市民病院に検査入院されたと聞いて幾度か御見舞には行っておりました。暫く静養されて、又、会社に復帰され、同時に神戸支部長としてなお一層の御活躍をいただけるものと誰もが信じておりましたのに、この様なことになろうとは…。

人の世のはかなさを思わずにはおられません。

御家族の方々におかれましても深くお嘆きのことと拝察いたし、支部会員一同心からお悔やみ申し上げます。

桐月支部長は昭和31年3月、我が大阪経済大学経済学部を第22回生として御卒業になり、同年4月吉本興業に入社された後、昭和36年6月神戸市須磨区にて建設機械の販売と修理の個人商店を開業、翌昭和37年には関西建設機械株式会社を設立し代表取締役社長に就任され、持ち前のバイタリティーとそのお人柄を身上として、着々と得意先を増やしてゆかれ、神戸のそして関西のリース業界で押しも押されもせぬ地位を築いてこられました。

その後、昭和56年に社名を株式会社カンキと改め、現在に至っていますがこの間、神戸・兵庫・大阪各地区のリース業協会の会長として業界の発展に大きく寄与されておられました。

そして、昭和62年9月の支部総会で田渕栄次氏（当時、神戸市助役、現・神戸市道路公社理事長）の後任として、第6代目の神戸支部長にご就任いただき、爾来10余年間の永きに亘って支部の発展の為にお力添えを賜りました。

支部長在任中の平成7年1月17日未明、神戸の街は未曾有の阪神・大震災に見舞われました。

その折には、大学並びに同総会関係からいち早く神戸支部に対して、お見舞いやお励ましを頂きました。あれから3年10ヶ月の月日が経過いたしましたが、お陰様をもちまして、神戸の復興も着々と進捗しているところでありますことを紙面をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

震災発生直後から、桐月さんは神戸支部長として支部会員の安否を気遣うとともに、震災に対して建設機械のリース業という業種が負わねばならない企業の社会的責任と使命感から、震災直後の混乱期にもかかわらず、多くの建設機材を神戸市に寄付や無償提供されるなど、人名救助や応急復旧に多大な貢献をなさいました。これらのことは神戸支部にとりまして大きな誇りに感じております。

この様にまだまだこれからの御活躍を期待されていた桐月さんが65歳という若さで突然に亡くなられたことは神戸支部といたしましても誠に残念でなりません。

悲しみは非常に大きなものでありますが、桐月さんの株式会社カンキには、多くの大阪経済大学卒業生も在籍しておりますので、力を合わせ、心を合わせて故人の御遺志を引き継いでいかれることと信じております。

神戸支部といたしましても桐月支部長の御遺徳を讃えるとともに、新しく就任なされた木村正人（コープこうべ組合長）支部長のもと益々の発展を固く誓い合っているところでございます。

なお、桐月支部長の御葬儀は株式会社カンキの社葬として、9月29日ホテルオークラ神戸において小渕内閣総理大臣や貝原兵庫県知事、お取引先、又萩原同窓会長や大学関係者、そして神戸支部会員など約1800人が参列し、厳かに挙行されました。

桐月さん　どうか安らかにお眠り下さい。さようなら。

合掌

神戸支部副支部長　冨井昭博（34）

京都支部長 深田 稔君を偲んで



昭和34年4月、今から39年余り前の桜の咲く頃、山口県の片田舎から、大きな期待を胸に秘め大阪経済大学の入学式に上阪しました。

大きな期待と言うのは、今まで教科書でしかお目にかかれなかった有名な神社、仏閣を直接訪れることが出来るであろうことでした。

新入生のオリエンテーション期間の終わる頃、京都の伏見から通学していた谷 弘行君（現向島醸造社長）とまず友人となりその後すぐに谷君と同じく京都人である深田君に出会いました。（京都という二文字の響きは魅惑的な美女の如く田舎者の心を虜にしました）。

深田君の印象は古い歴史と文化を身に纏ったような静かな雰囲気で随分と大人びた感じであった。この両君との出会いが私の40年にならんとする在阪生活での数多くの知人、友人が生まれる出発点でもあった。

学生時代はこの三人を取り囲むように友人の輪が拡がり、楽しい学生生活を送りながら、私の当初の目的であった仏教、古寺、仏像に上手に出会えたのも深田君の力に負うところ大であったように思います。

深田君は卒業後何年間かのサラリーマン生活を経験して家業の京仏師としての人生を歩み始めました。

由緒ある古寺巡礼を重ねる時、深田君から教わった宋州のこと、仏像のこと、伽藍配置のこと、仏教史のこと等がとても参考になりました。仏教、仏像、古寺に興味を抱き10年程前から韓国の慶州（新羅）や扶余（百済）をさまよい始めたのも深田君の影響を多分に受けてのことです。そんな意味で深田君は私にとって学友というより我が師というべきで存在でした。

師と言うべき深田君の訃報に接し、断つことの出来ぬ惜別の情を覚えます。君は師としてずっと私の心の中で生きています。京都東山の永観堂に坐します「見返り如来」の如く、在俗の私達を仏教、仏像の幽玄の世界に導いて頂く事を願いながら、安らかに眠られんことをお祈りします。

同窓会副会長 津秋靖博

平成10年中に開催された支部総会一覧

開催月日	支部名	開催場所
4月24日（金）	尼崎支部	ホテルニューアルカイック
5月 3日（日）	南九州支部	サンロイヤルホテル
6月13日（土）	岡山支部	まきび会館
6月27日（土）	岡山支部津山会	津山国際ホテル
7月 4日（土）	広島支部	広島ガーデンパレス
7月 5日（日）	愛媛支部	今治国際ホテル
7月19日（日）	富山支部	とやま自遊館
7月19日（日）	香川支部	リーガホテルゼスト高松
7月26日（日）	泉南市部	リーガホテルアルザ泉大津
9月 5日（土）	淡路島支部	三福
10月 7日（水）	東京支部	野村クラブ
10月11日（日）	和歌山支部	華月殿
10月11日（日）	池田支部	池田市民文化会館
10月17日（土）	豊中支部	レストラン・モンレーブ
10月17日（土）	福井支部	ユアーズホテル福井
10月23日（金）	北海道支部	札幌第一ホテル
10月23日（金）	徳島支部	ホテルクレメント徳島
10月25日（日）	姫路支部	ホテル姫路プラザ
10月25日（日）	丹有支部	三田セントラルホテル
11月 7日（土）	明石支部	ホテルキャッスルプラザ
11月 8日（日）	三重支部	和田金
11月13日（金）	大阪市支部	大成閣
11月15日（日）	島根支部	有福国際グランドホテル
11月19日（木）	高知支部	サンライズホテル
11月20日（金）	神戸支部	神戸東急イン
11月25日（水）	大阪市役所支部	桜ノ宮会館
11月27日（金）	東海支部	名古屋国際ホテル
12月11日（金）	京都支部	京都ホテル

各支部とも支部総会や懇親会と親睦を深めています。支部長、支部の役員の皆さん、支部の構成員の皆さん、本当にありがとうございます。益々のご発展を願っております。（文責：大門澱江編集委員長）



同窓会支部長一覧

支部名	氏名	卒回	現住所	電話
北海道	田中 喜三郎	10	[illegible]	[illegible]
東京	井阪 健一	19	[illegible]	[illegible]
東海	阿部 淑子	13	[illegible]	[illegible]
岐阜	長崎 和夫	29	[illegible]	[illegible]
滋賀	正村 公一	27	[illegible]	[illegible]
京都	南 和男	35	[illegible]	[illegible]
富山	重松 尚	23	[illegible]	[illegible]
石川	袖木 繁	21	[illegible]	[illegible]
福井	内田 甫	6	[illegible]	[illegible]
三重	中尾 大輔	5	[illegible]	[illegible]
和歌山	宇藤 博文	28	[illegible]	[illegible]
奈良	白井 武夫	20	[illegible]	[illegible]
大阪市	太田 一澄	17	[illegible]	[illegible]
大阪市役所	角谷 泰秀	29	[illegible]	[illegible]
北摂	石川 裕	28	[illegible]	[illegible]
豊中	山本 雄三	28	[illegible]	[illegible]
池田	渡辺 泰敏	21	[illegible]	[illegible]
泉南	○小松 安夫	23	[illegible]	[illegible]
尼崎	小谷 芳男	24	[illegible]	[illegible]
西宮	◎中山 隆	15	[illegible]	[illegible]
神戸	木村 正人	24	[illegible]	[illegible]
丹有	梶村 文弥	8	[illegible]	[illegible]
明石	関 清永	22	[illegible]	[illegible]
東播磨	永井 宏	19	[illegible]	[illegible]
姫路	三木 庸義	26	[illegible]	[illegible]
淡路島	宝川 雅嗣	23	[illegible]	[illegible]
岡山	村上 一夫	12	[illegible]	[illegible]
備後	小池 勝章	32	[illegible]	[illegible]
広島	佐々木 一義	9	[illegible]	[illegible]
山口	江村 育巳	29	[illegible]	[illegible]
鳥取	西山 林一	35	[illegible]	[illegible]
島根	渡部 弘一郎	9	[illegible]	[illegible]
香川	岡野 敦	31	[illegible]	[illegible]
愛媛	小野 茂樹	26	[illegible]	[illegible]
徳島	田中 良昌	26	[illegible]	[illegible]
高知	横田 憲介	7	[illegible]	[illegible]
北九州	植田 達三	52	[illegible]	[illegible]
熊本	浜 忍	35	[illegible]	[illegible]
南九州	伊伏 彰	23	[illegible]	[illegible]

◎…全国支部長会代表幹事　○…同幹事

懐古

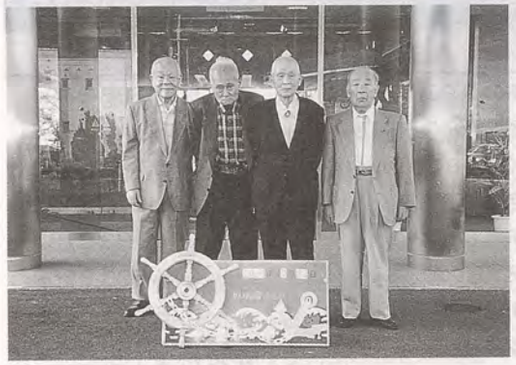
昭寿会（第4期生会）

去る5月22日JR明石駅から海上25分の淡路島へ、本年度の昭寿会を開催した。参加予約6名中2名が体調不良の為参加者4名、無理もない傘寿を過ぎる者ばかり。

早々のチェックイン、話題も他愛ない、年寄りの戯れ言、回想談たまたま『澱江』に及ぶ、若人の気持ち自由で明るく爽やか、われわれの当時は卒業と同時に徴兵検査、甲種合格、入隊、即第一線へ。コースは決まっている。日一日と世相は厳しく、軍国主義、憲兵、特高警察など権力の重圧、言論の自由などない。澱江の若々しい、伸び伸びとした、私学教育はいいなあと！

『澱江』はすばらしい。御発展を一同心より祈りました。

周藤秀夫（4）



傘寿を過ぎても溌剌と

平成十年度澱友会のこと

澱友会（第5期生会）

一期一会をモットーに毎年5月に例会を催す事にして今年5回目になります。初会には20数名の参加を得、年々減り続けていますが今年も13名元気に集まって来ました。減る事に一抹の寂しさを感じますが老年の為止むを得ないものと思います。毎回お互いに出合う度にほっとする思いです。



一期一会をモットーに

コラム 楽しい海外旅行のしかた

三木薫（4）

昭和13年3月に昭和高商を卒業、三菱レイヨン㈱に7年在職、そして協栄化薬㈱の創立に参加したが2年で辞任。その後、経営コンサルタントとして自立するまで中小企業に勤め職業を転々としました。昭和34年4月1日付で官報告示により通産省登録中小企業診断士となり、その後まもなく三木経営管理事務所を開設、昭和34年10月1日より貝塚商工会議所専門指導員となって、現在まで事業所の経営指導、相談に携わって来ております。

趣味は海外旅行で昭和53年、当時63歳に始めて台湾・香港・マカオへ観光旅行したのがスタートで82歳の今日まで年に2回以上は東南アジアからヨーロッパ・北欧・各地にツアーの観光旅行に参加して来ました。旅の楽しみは行く前にその国のガイドブックをよく読んで予備知識をいれ、なおその国の航空会社あるいは先方の在日観光担当者に電話して旅行先のパンフレットを入手して勉強します。旅行の際、始めはチノン8ミリビデオでしたが63年以後はソニー・ハンディカムとミノルタ写真機のフィルムを旅行日数に合わせて持って行き絵になりそうな処を撮ってくるのですが、これぱかりは天候に左右されるので仲々思うようには撮れません。一回の旅行で四ツ切に引伸ばして綺麗な写真は4・5枚撮れればいい方です。帰ってからビデオを見るのと、写真の出来上がりが後の楽しみです。自宅の廊下にこれまで旅した世界各地の素晴らしい風景の写真をパネルに入れて階下に13点、2階に12点飾っています。ユングラフヨッホ（スイス）、ナイアガラの滝（カナダ）、ゴルドバ回教寺院（スペイン）、アムステルダム郊外の風車（オランダ）、エフエソス・アルテミス神殿跡（トルコ）、ラクダに乗って（エジプト）、シドニー・オペラハウス（オーストラリア）、ガンジス川の沐浴（インド）、エベレスト・アルプスの飛行機の前で（ネパール）です。外国旅行では生水はほとんど飲めないのでサンヨー湯わかしポットと、煎茶を持って行き、連れの人と一緒にお茶を飲んで胸襟を開いて語らいます。なお、観光旅行に何か一つ別の目的があった方がより快適な旅行になると思います。小生の場合は外国コインの蒐集です。東南アジアやヨーロッパの27ヶ国で集めたコインの数は135個で2冊のコイン・アルバムにそれぞれの国の思い出と共につまっています。始めの間はコインの蒐集の要領もわからず試行錯誤していましたが段々こつをおぼえて来てその国の硬貨の種類を便箋に書いて2セット交換してほしい旨を頼むとたいてい用をたしました。

話題にはその人ごとの社会体験を通した思い出話、又若かりし頃の学校の話等々時間の経つのが分からない程でした。来年は卒業の年より60年目に当たり、人夫々の運歴の年にあたります。今年より盛大に会う日まで。

（前列左より）倉垣（夫人同伴）、菊池、奥田、中尾、長岡、福嶋、（後列左より）兼田、筧、柳内、重本、須藤、西村、阪本（堀江）

長岡辰生（5）

澱友会有志 第二回一泊旅行

澱友会（第5期生会）

澱友会今年の5月開催の際多数会員の希望もあり今年も一泊旅行をする事に決めました。兼田君に手配を御願いして蒲郡西浦温泉に出掛けました。一泊の裸のつきあいの会としました。参加者9名でしたが2日間和気藹々に過ごし、多くの話題を夫々に話し切って楽しい2日間を過ごしました。同じ釜の飯を食った仲一期一会と身にしみて終了しました。話題内容を詳細に御知らせする事は紙面に制限もあり出来ませんが、左御覧の皆様の想像におまかせします。来年も希望者が多ければ一泊旅行の会を開きたい気持ちです。会員各位の御健勝をいのりつつ!!

（写真前列左より）重本、福嶋、阪本（堀江）、中尾、村上（中浦）、兼田

（写真後列左より）長岡、須藤、筧

長岡辰生（5）



楽しい一泊旅行

和気清麻呂の里 東備路を観光

昭六会（第6期生会）

本年度の昭六会は10月5日和気清麻呂の里、鵜飼谷温泉に一泊、翌6日は東日地方を観光バスで周遊し和気神社、閑谷学校、備前焼等を見学後、日生で昼食後解散した。

5日は仲秋の名月、露天風呂から眺める月は卒業後60年の歳月に感慨も一入、青春時代を偲びながらお互いの健康を喜び合った。翌日の観光コースは好天に恵まれ、シーズン中の雑踏もなく静かな東備路の史跡を満喫することができた。

尚この会は次回からは皆の集まり易い京阪神での日帰り会に改め、来年は京都で再会することとした。今後多数の参加を期待しております。出席者は同窓会の磯野相談役、陰下副会長、伴野、土手、井上、河内、黒川、町井、松井、三好、大河内、小野、大森、坂本、戸田、得光

大森侃二（6）



東備路の史跡を満喫

同期会総会 開催予定のお知らせ

第7期生会

7期生の同期会を開催したいと思い、世話人で準備を進めています。来春に開催を予定していますが、詳しいこと（日時、場所等）は詳細決定次第お知らせします。

一人でも多くの皆さんに参加いただきたいと思いますので、前もってお知らせします。

世話人一同

琵琶湖畔彦根に集う

第8期生会

平成9年10月23日、第24回の例会を彦根市で開催。当日は午後彦根城濠端に今春オープンした会場の「キャッスルホテル」に集合。例会に先立ち夕刻まで晩秋の一時、年初めに修復成った彦根城及び隣接の博物館、庭園等を観光。例会は、懐旧談、時事放談等に花が咲き喜寿年齢を感じさせない賑やかな楽しい一夜であった。翌24日は朝食後また健顔で相会することを約し交歓を惜しみながら自由散会した。

次回は琴野氏にお願いして神戸で開く予定。

出席者、同窓会から萩原会長、

陰下事務局長、足立、浅野、大谷、大橋、岡田、河田、川村、木田、琴野、近藤、柴田、関田、長尾、橋本、藤本、山本（健）、田中、計19名

田中高治（8）



喜寿年齢を感じさせない賑やかな一夜

九友会 新明石海峡大橋を渡る

九友会（第9期生会）

淡路の島々はちぬの海（大阪湾）をゆったりと塞ぐように横たわっています（司馬遼太郎『菜の花の中』のくだり）。この島も平成10年4月5日神戸を結ぶ明石海峡大橋完成、島内も神戸淡路鳴門自動車道が共に開通。ここに大橋を渡り淡路島へと第24回九友会を6月19日、20日に開催致しました。19日西明石の「ホテルキャッスルプラザ」に集合、参加者35名全員集まり18時に記念写真、すぐ宴会を洋式にて始めました。各テーブルには明石鯛のお造りほか和食のご馳走が並ぶ中、出席者の個人紹介そして食べ飲みカラオケと大豪華版。各自席を廻っての語らい、その後個室にて男性・奥様方と別れての語らいを続け、夜の更けるのを忘れて再会を愉しみ合いました。

明けて20日は梅雨の合い間の好天気。8時、貸し切りバスにて世紀の夢を架けた世界一の吊り橋を渡り、自動車道を走りガイドさんの淡路の歴史文化の説明を聞きながら福良へ。ここで「感臨丸」に乗船、太平洋と瀬戸内海の潮が轟音を上げ吠え合う渦潮を見学しました。そして大鳴門大橋の雄大な景観を眺め、再びバスにて島の古くから海陸交通の要衝である洲本へ、名門の四州園にて九友会歓迎の幕下で海産料理に舌鼓を打ち、13時バスにて津名海岸を廻り、好天気の中を再び真珠の王冠のように雅びやかな大橋を渡り西明石へ向かいました。来年また元気で会いましょうと各自握手を交わして別れ、2日間に渡る神戸会盛大裡に幕を締じました。（来年は天の橋立会横山宏一幹事）（今回で西明石キャッスルプラザ岩勢大内様四州園社長森様（共に28年）に大変お世話になり厚く御礼申し上げます）

南部俊一（9）


新明石海峡大橋を渡り淡路島へ

毎年7月に集おう

第11期生会

平成10年度の第11期生会は、4月25日「レストラン・パレス」において、大学側より同期生の桑津理事長、萩原同窓会会長、水納事務局長をお招きして開催しました。

昨年までは所用の少ない1月でしたが、今年は近隣地区在住者の参加と、皆様の老齢化を考慮して、暖かい時期の昼間に開催しました。


毎年7月第1土曜日正午に第11期生会

当日の出席者に次回からの開催日時について図ったところ、「毎年7月第1土曜日正午」と固定することを全員賛成で決定しました。

第11期生会の案内は改めてお送りしますが、遠隔地の皆様は、親交のある同期生とご一緒なら参加し易いと思います。多数のご出席を期待しております。

出席者。減制、井上、伊東、岩谷河津、加藤（名古屋）、坂井、坂上、谷（大垣）、永田、村田、山田（岡田）、吉岡、筒井以上

筒井英夫（11）

震災復興 神戸市での集い

ひとみ会（第13期生会）

思えば3年前に開催予定のところ、ようやく当地に皆様をお招き出来る運びとなり、去る6月19日「ホテルオークラ神戸」に会場を設営しました。当日はあいにくの雨天にもかかわらず、総勢33名の楽しい集まりとなりました。お互い体調不振や、少々つらいことがあっても、出席して心置きなく語り合えばまだまだ元気に生きて行けるような気になります。それはきっと多くの良き友を持つ幸せが実感できるからでしょう。で、来年の再会を約して散会したのですが：


多くの良き友を持つ幸せを実感

非常に残念なことに能勢信子さんが7月28日に急逝されました。お願いして会場で乾杯の音頭を取っていただき、また、ヘルマンヘッセを引用しての高尚なスピーチも私たちが目にした最後のものとなりました。合掌！

土井和賀子（13）

伊豆高原で「ひとみ会」

東京ひとみ会（第13期生会）

東京ひとみ会のほうで幹事をつとめ、98年9月30日から一泊二日の「ひとみ会」を、伊豆高原にて開催いたしました。四国、北陸、関西、関東の各地から、24名が出席。

近くにお住まいの久野先生は、私たちの到着を、宿泊先の「エクシブ伊豆」で、芳子夫人と共に迎えて下さいました。

今年88歳になられた先生は、大変お元気で、お会いできて本当にうれしゅうございました。

このたび、岩波書店より「久野収集」全5巻を出版されたのを記念し、併せて、お祝い申し上げました。

会食のあと、二次会では、先生を囲んで夜おそくまで話し込み、学生の頃に戻ったようでした。翌朝も顔を出して下さり、昼食をご一緒して、お別れいたしました。

先生には、戦時中、勤労動員先に私たち生徒に付きそい、めんどうを見ていただきました。そして、空爆の危険から少しでも安全なようにと、守っても下さいました。いつまでも、恩師として、先生と呼ばせていただきとうございます。

久し振りに皆さんと再会し、喜びも一入です。50余年ぶりに会われた方もおられ、楽しい2日間でした。

体の不調でお出でになれなかった方々、どうぞお大事になさって下さいませ。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

西村（林）豊子（13）



伊豆高原で久野収先生と

卒業50年記念

第14期生会

去る5月18日明石大橋のみえる「舞子ホテル」で地震以来お互いの安否もたしかめ合っていませんでしたから、お会いしようと話が出て34名参加しました。きっかけは地震以後名古屋へ行かれたと聞いておりました柴田さんにお会い出来て、元町へ30分ぐらいでこられる人によびかけてこんな話になりました。昭和20年入学の当日運動場にならんで式を行っている時に、不発弾がさくれつして校舎へとびこみましたね。それ以後荒廃した大阪をみつめながら頑張ってきましたね。われわれの入学した頃の校舎は何もなく見違える立派さになりましたが、これからまたどう発展してゆくのでしょうか。その5月18日の会の終わりに射場さんの「江口」が、また田中成子さんの「猩々」が朗々と流れて忘れていたもので胸いっぱいになりました。

野島ツルエ（14）



卒業後50年も仲良く

14回・15回卒合同同窓会

去る3月14日（土）に大阪東急インホテルに於て合同同窓会を開催致しました。過去何度も13回～15回或いは12回～15回が合同で行っていたのですが、今回は13回が不参加のため、人数は19名と少なかったのですが、久し振りの会合で、終始和気藹々に終えることが出来ました。

14回は今年が卒業50周年、15回は来年が50周年ですので盛大に同期会をやる予定です。多数の方々のご参加を楽しみにしております。

黒田　稔（15）

第15回の同期生のみなさんへ

「卒業50周年記念同窓会を」

来年（1999年）は、私達の卒業50周年です。当時の卒業式の日、3月12日（金）正午になつかしい母校に50年ぶりにつどいませんか。去る11月3日の同窓会総会に出席した同期生を中心によびかけることを計画しました。立派になった学園、すっかり変貌した大隅の里、昔を偲び、ひとときすごそうではありませんか。

来春早々ご案内さしあげますが『澱江』の発行をきき、掲載させて頂きました。是非来春のご予定にくみこんでみてください。再会を楽しみにしております。（大川　記）

1998年11月



来年も盛大に同期会

新緑の太閤園に集う

第16・17・18・19期生合同同期会

名庭園の太閤園で古の若人50余名が団らんのひと時を過ごした。

学制改革の過渡期に母校を卒業した16期から19期の面々です。

毎年5月の第2日・月曜日に開催している16・18期の同期会に17・19期生の諸君が合流して盛大な合同同期会の開催となりました。

今なお、お元気な恩師井上清名誉教授、荻原同窓会会長、水納事

よびかけ人
松川圭一、黒田稔、中山隆、本田精一、木下一子（旧姓角倉）、松本勝、大川良（順不同）



老人会からの誘いも

務局長をお招きして、お互いの想い出話に花を咲かせているうちに予定時間は夢のように過ぎ去りました。

同期生諸君もぼつぼつ老人会から誘いのかかる年齢となり、減っても増えることのない同期会、時には青春に戻る機会を求めて一人でも多くの諸君が参加してくれることを期待して、来年は有馬辺りでという相談を残して散会しました。

陰下嘉典（16）



カラオケや余興をまじえてたのしいひと時

第23期生の集い

23期生会

今年も13回目の集いを萩原同窓会長をお迎えして「冨久屋ホテル」で開催しました。参加者は32名。内、2名は41年振り初参加者です。

萩原会長より。学校と同窓会の近況についてお話があり、次に各自近況紹介をやり、カラオケや余興等もまじえて楽しいひと時を過ごしました。今年は特に名簿上行方不明者の一覧表を配布して、全員で消息の分かる人を調べた結果8名が分かり、内2名の物故者も分かりました。今後共、消息ご存知の方はご連絡を願います。大樟会ゴルフコンペ紹介の後、全員で校歌を歌い、万歳三唱で解散しました。今回都合で不参加の方、年に一度は学生時代に返って楽しい時を過ごしましょう。来年の2月11日には是非御出席をしてください。

楽しみにお待ちしております。

酒井弘光（23）

平成10年度OB総会報告

体育会自動車部OB会

6月20日（土）に恒例のOB総会を行いました。今回はこの春でご退官され、同時に自動車部顧問を退かれた香川先生の送別会と、代わりに顧問に就任していただいた土井先生の歓迎会をメーン行事として、会場も初めて梅田のレストランに移して開催しました。従来の開催日と場所を予定されていた方々も多くおられたと思われたにもかかわらず、29名もの方々に参加いただけて幹事一同は感謝感謝。

限られた時間でしたが、出席者全員が香川先生に今までのお礼とまた土井先生にはこれからのクラブお願いを伝えられたと思います。そして両先生をはじめ、OB相互の今後の健康・活躍をみんなで確信し合えたと思います。

大平雅彦（46）



土井新部長を迎えた自動車部OB会

創部30周年記念式典

少林寺拳法部OB樟拳会

平成10年4月26日ウェスティンホテル大阪において「創部30周年記念式典」が盛大に開催され、OB・大学関係・道院支部及び関西学生少林寺拳法OB連盟他から総勢130余名の参加、ご参列をいただき大いに盛り上がりました。



少林寺拳法部創部30周年

思い起こせば我が部は昭和42年の10月に、現OB会総代の石井秀樹先輩他数名を中心に愛好会として発足し、関西大会総合優勝の栄誉から、一転廃部の危機に至るまでの曲折を経て現在に至っています。今後も、少林寺拳法の開祖である宗道臣師教えである「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」の精神をもって、OB・現役相協力して社会と共に進んで行く所存です。

三宅正剛（39）

西岡 弘師範の講道館九段ご昇段祝賀会開催

柔道部OB会

去る8月23日（日）、大阪梅田の「ホテルプラザ」に於いて、柔道部の西岡師範講道館九段ご昇段祝賀会が盛大に行われました。

我が国に於ける九段位保持者は現在全国に30数名おられるが、70歳代の現役は西岡師を含めてわずかに4名、近畿では西岡師範唯一名、他は全て80歳以上の先生方です。

全日本柔道選手権大会、全国警察柔道大会に於いて常に優勝および準優勝の戦績の他、世界の各地を廻って柔道の指導、発展に寄与された西岡師の実績の数々には唯々敬服するのみです。



西岡弘師範九段ご昇段

母校の柔道部が関西学生大会で常にベスト8以内に入り全国大会に出場出来るのも、また他の大学に比べて大変マナーが良いと評されるのも師範のご指導の賜物であります。

当日は、東京、四国、広島、九州からOBが73名、現役28名、来賓を含めて100数名が参加、入江先生、萩原発起人代表、児玉監督、現役主将の挨拶、記念品及びお祝い金の贈呈、西岡師範の謝辞の後、柏井OB会相談役の乾杯の音頭で、大変盛大な祝賀会となりました。11時半から始まった会が3時近くまで続き、逸見OB会副会長の閉会の挨拶、司会の海老名OBの万歳三唱で無事終了しました。

久し振りに会った面々もあり、祝賀会の終了後も多くのOBが残り、ホテルのロビーで遅くまで話に花を咲かせていました。

ご出席頂きました来賓の入江先生を初め遠路暑い中を参加下さったOBの方々及び、残念ながらご出席は頂けなかったが、記念品代及びお祝金のご協力を下さったOB諸兄には心よりお礼を申し上げます。

会長 吉田 文雄（24）

寄多郎会 片山津温泉に集う!!

寄多郎会（柔道部OB会）

去る平成9年11月8日、9日の両日、「片山津北陸グランドホテル」に於いて開催しました。

会に先き立ち当番幹事の上野允也氏より、過日11月3日文化の日に行われた同窓会の様子や、新しく完成したG館（ゼミナール会館）の内容について、パンフレットで説明があった後、宴会に入りました。

この寄多郎会も、昭和60年春第1回目を有馬温泉兵衛紅葉閣で開催してから第13回目を数える事になります。オリンピックの如く4年に一度当番幹事が巡ってきます。例年春に行っていますが、今回は紅葉の頃もまたよろしかろうという事で秋になりました。仕事の都合及び病気で会員の内5名が欠席となりましたが、宴は夜遅くまで延々と続き、それでも語りたらず、二次会を幹事の部屋に移し、夜明け近くまで、学生時代の事、最近の経済状況、年金の話、孫の話等々……平均年齢60歳、歳と共に話題が年寄りくさくなり、話は尽きませんでした。



北陸路寄多郎会

明くる11月9日は紅葉の庭園が美しい那谷寺及び永平寺を拝観、いつまでも健康でこの寄多郎会に参加出来る事を祈願し、来年の再会を約して、晩秋の北陸路を後にしました。

平成9年12月10日

当番幹事 上野・吉田（24）

軽音楽部OB会ができました

大経大軽音楽部OB会

昨年11月1日、大経大軽音楽部OB会の発足式と、第1回OB会総会が、梅田の「バナナホール」で盛大に行われました。出席者数86名委任状提出者43名で正式にOB会が発足致しました。当日は顧問の黒田勇先生、経大同窓会副会長の水納敏也様のご臨席を賜わり、会則討議、全員の自己紹介の後、OBによるハワイアン、ロック、フルバンの演奏を行いました。中でもOBの中で最長老になる昭和30年ご卒業の方が3名おられ、挨拶やハワイアンの演奏をして頂いた時は、全員から大きな拍手が送られました。また、家族づれの参加も多く、汗をかいて一生懸命演奏するお父さんに大きな声援が送られていました。皆気分は学生時代に戻っていました。総会は3年毎です。

佐々木雅彦（45）


軽音楽OB会発足

現役顧問に本多三郎先生就任される

ワンダーフォーゲル部OB会

恒例のOB総会が7月19日に母校にて現役生も参加のもと開かれました。昨年度での池野先生の現役部員顧問の退任の後を受け、本多三郎先生に新しく顧問に就任して頂きました。現在山岳部の顧問であり今後兼務して頂きます。今OB総会が初の顔合わせという事もあり、就任と自己紹介を兼ねた挨拶を頂きました。今年は、現役部員より2年振りのケルン発行が行われ、もう各OB会員のお手元には届いていることでしょう。総会出席者が近年固定されている事もあり、来年の総会は、一泊付きの総会の予定であります。鋭意計画中でありますので学祭の当日の臨時総会で決定の後、皆様へ御連絡致します。来年はぜひ沢山の出席者であふれる事を期待しております。

高橋 浩行（50）


本多顧問を迎えたワンダーフォーゲル部OB会

更なる発展を目指して

日立大樽会（日立金属グループOB会）

日立大樽会（日立金属グループのメンバーは田中顧問（前日立金属副社長）を初め30名であり、平成9年10月31日大阪北の「桃花園」で第11回の会合が開催され、大学より北崎学長、同窓会より萩原会長、陰下副会長においでいただきました。今回は社内旅行等の社内行事と重なった事もあり、例年の半分の11名の参加者でしたが、それだけにじっくり各人の近況報告、大学の様子等が聞かれました。とりわけこの会のメンバーは（年が上になるほど）元気の良い人が多いだけに、最近の大経大の文武両道においての迫力不足は気になっているようです。息子、娘に進学を勧められるような大学にする事が第一でしょう。またこの会のメンバーが更に増える事を全員が楽しみにしています。

国代公寛（37）



元気の良い人が多い日立大樽会

岡山市役所経大会だより

市役所経大会総会は、同窓会本部から萩原会長、大学から香積事務局長、同窓会岡山県支部から村上支部長を初め5名の来賓の方々を迎え、平成10年3月20日岡山市表町「吾妻すし」で開催しました。

本会は、14年前同窓の市議会議員や先輩方から同窓会を開いてはという掛け声で発足しました。

発足時会員13名でありましたが現在17名になり、今後も会員が増えることを期待しております。

総会では、萩原会長から同窓会の状況、香積事務局長から大学の現況を聞き大学の発展に感嘆しました。

また、市役所経大会代表幹事を永年務められました中塚前会長に岡山支部から記念品が贈呈され、その後の懇親会は酒が入るにしたがい親睦と同窓の深まりができ、最後にこの会の更なる発展を誓って総会を終了しました。

石井泰雄（32）



岡山市役所経大会の親睦は深まり

5月8日に総会開催

川西市役所大樽会

本会は兵庫県川西市役所に関係する仲間が同窓グループとして発足して以来20年が過ぎ、会員数30余名を有する市役所内では有数の大きなグループです。

本年は3月末日をもって定年退職された会員の歓送を兼ね、5月8日に総会を開催いたしましたが、萩原同窓会長様などをお迎えして大学の近況等をお知らせいただくとともに、会員相互でも様々な話題で盛りあがりをみせました。

さて、本市では念願の阪急宝塚線川西能勢口駅周辺再開発、阪神高速道路大阪池田線延伸部の開通などの都市基盤整備事業が進み、著しく変貌を遂げていますので、是非お立ち寄りください。



30余名を有する同窓グループ

経大及び同窓会の益々の発展を祈念しています。

岡田雄次（39）

大樽会第7回定期総会開催

税理士大樽会

大樽会第7回定期総会が7月10日「ホテル日航大阪」で開催されました。来賓として大学より桑津昇理事長、泉谷教授、渡辺教授、また同窓会より萩原市郎会長、水納敏也事務局長のご出席をいただき、檜垣総務部長の司会により5時20分開会しました。大城戸会長挨拶の後竹之内勲氏を議長に選出し、1号、2号、3号議案すべて異議なく承認されました。新役員を代表して、福元輝雄会長の挨拶の後、桑津理事長、萩原同窓会長のお言葉をいただき、6時1分佐藤吉春氏の閉会の言葉で、無事終了しました。

福長俊之（36）



税理士大樽会定期総会開催、新会長に福元輝雄氏就任

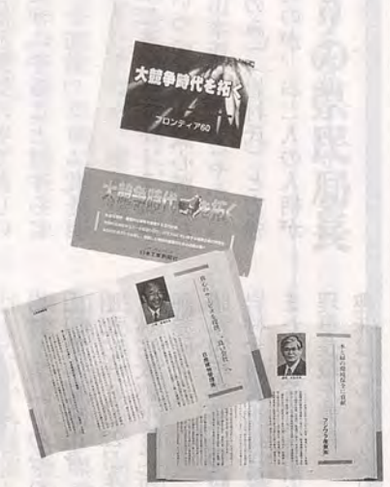
平成10年7月10日3時よりホテル日航大阪に於いて第7回定期総会が開催され、議案の全てを承認可決されました。役員改選で新会長に福元輝雄専務理事が選任され就任しました。なお、主な役員は次の通りです。

会長　福元輝雄
副会長（総務担当）　佐藤吉春
同（研修担当）　小林幸一
同（組織担当）　藤本節雄
同（広報担当）　畑岸隆一
同（厚生担当）　澤渡聰謹
専務理事　三木泰
常務理事　事務局長　竹之内勲
同　総務部長　福長俊之
同　研修部長　岡田喜一
同　組織部長　帖佐和孝
同　広報部長　中井秀行
同　厚生部長　中井純次
監事　市原孝志
同　檜垣典仁
同　佐一郎島

（広報部）

Book Review

大競争時代を拓くフロンティア60



日本工業新聞社　大阪本社（編）
平成9年9月30日発行
日本工業新聞社
375P　定価2,000円

大競争時代を生き抜こうとする中堅・中小企業60社の姿を紹介した本書の中で、日産建物管理の小西幸雄氏（27）と、フジワラ産業の藤原充弘氏（35）は、本学のOBである。

小西幸雄氏が設立した日産建物管理は、ビルメンテナンス業界の中でも進取的な存在で、いち早く新技術「ニッサン無人管理システム」を導入し、独自のビル管理システムを確立するなどしておられる。協力業者と一体となったグループ展開も行っており、社員の技術研修をはじめとする教育にも積極的であり、ここで磨かれた技術力と、真心のサービスを提供するお客さん本位の姿勢が、多くの取引先に高い評価を得ている。

小西氏は、『自分良し、相手良し、世間良しの〝三良し〟』をモットーに、〝良い会社〟を目指し、更なる発展を目指しておられる。

フジワラ産業社長の藤原充弘氏は、〝平成の清麻呂〟を経営哲学の基本にしている。藤原氏は知る人ぞ知る水問題の特許マニアで、異能な発想の持ち主であり、美しい水環境をつくる「自動スカム除去システム」「Vノッチ洗浄機」を開発するなど関係自治体の高い評価を受けている。

一方、阪神大震災の教訓に、自社固有技術を活用した災害救助道具セットや「ユニット式カプセル」「安心ベッド」など、防災に強い商品作りに力を入れてこられた。

自然にあこがれを持ち続けておられる藤原氏は、〝環境にやさしいモノづくり〟を心掛け、今後もいろいろな物を開発されることだろう。

（浪花　拓也　記）

市議会議長誕生！

光市議会議長　山本幸伸（28）
宇部市議会議長　岩村　実（30）



山口県光市と宇部市に本学の卒業生の市議会議長が奇しくも2人同時に誕生した。

光市議会には山本幸伸氏、また宇部市議会には岩村実氏がそれぞれ就任された。

両氏とも市会議員として20余年にわたって活躍されている大ベテランである。

公私とも大変お忙しい中、時間を取っていただき2人一緒にインタビューを行った。

山本氏は大学時代には大道町に下宿しておられたが、当時の思い出を「まわりは田んぼばかりでした」、「よく淀川の河川敷に遊びに行きましたが、当時は近くに渡しがあった」と語られた。また学校ではゼミの教授が就職部に関連しておられ、アルバイトとして車の運転をして、先生方と企業を訪問したことを懐かしそうにお話になった。またワンダーフォーゲル部の創設にかかわり「あのころお付き合いした人から、今でも30枚ほど年賀状が来ていますね」と現在も大学時代の友人との交流を交わされている。そして「大学時代のクラブなどの活動を通じた人脈をもっと活用すべき」と若い人にメッセージも。母校に対しては総合大学にない特色有る大学作りを目指してほしいとのこと。自らも議長としての今後について「これだけ厳しい時代ですから行政改革などあらゆることに積極的に取り組んでいこうと思います」と述べられた。

岩村氏は実家を継ぐ為に金物問屋街があった大阪に浪華商法を学ぶため出てきた。在学中は一生懸命勉強し、「4年時はゼミだけになり、下宿を引き払って夜行列車で大学に通った」と当時を振り返られる。また卒業前に結婚し、学割を使って新婚旅行し、途中で卒業式に出席し、父兄席に奥さんを座らせたことをエピソードとしてお話いただいた。

現在は、金物店・ほか学校法人も経営しておられる。少子化時代の学校経営の難しさについても良くご存知で、母校に対して建学の精神を大切にし、「今の流れに埋没せず、地道に堅実な経営をし、誇れる大学にしてほしい」と要望された。議長として宇部市は、かつては炭鉱の町として発展し、現在でも山口県下第2位の町である、しかし現在は不景気の中で苦しい財政事情だが「やることはやらにゃいかん」と市政のスリム化を目指される。

最後にお二人のモットーを伺ったとき、「いつのときも誠心誠意だけです」（山本氏）とにこやかに、「努力あるのみ」（岩村氏）と力強く話されたのが、お二人の人柄が十二分示される言葉であり印象深かった。



山本幸伸（やまもと　のぶゆき）氏
山口県光市出身
昭和15年2月3日生（58歳）
藤原光治郎ゼミに所属
ワンダーフォーゲル部
昭和37年卒業（28回卒）
タツタ電線入社。その後実家の室積木材店を継ぐ。
現在は有限会社山幸興産代表。
趣味はゴルフ、ハイキング。



岩村　実（いわむら　みのる）氏
山口県宇部市出身
昭和17年1月22日生（56歳）
竹林庄太郎ゼミに所属
証券研究会
昭和39年卒業（30回卒）
岩村金物店を継ぎ現在に至る。
また学校法人流川学園を設立し、理事長職を兼務。
趣味はゴルフ、旅行、読書。

元新聞記者にインタビューする

元日刊工業新聞取締役　教育事業局長
森川義一（25）



大阪の新阪急ビル12Fレストランパレスで、水納同窓会事務局長とともに、森川義一氏にお会いした。昭和34年に本学を御卒業後、日刊工業新聞社に就職され、大阪、名古屋、東京の大都市を中心に活躍、その実績を認められ、52歳の若さで取締役に、東京本社事業局長、教育事業局長を務めあげられた。

大学時代の所属ゼミは岩井ゼミで、当時の大学は家族的な雰囲気できめ細かな教育を受けた記憶があるそうだ。また、硬式テニス部の創設にかかわり、特に、学生会館の壇上で大勢の新入生を前にしてテニス部主将として新入生勧誘の演説をした経験は、元来そういったことが苦手なタイプだっただけに、就職後、大変役に立つ、いい経験をされたそうだ。卒業後も、テニス部のOB会会長としてご尽力された。日刊工業新聞社の新入社員時代に立売堀にあったある商社の専務に、『君は、実にいい仕事についた。経済部の編集記者という仕事は、人生経験豊かな、様々な人に会える。それが、君の人生にプラスになるだろう』とインパクトの強い助言を頂戴し「この仕事をやっていく上で、非常に自信になり、今日まで、来られたのでは」と思っておられる。現在は、教育事業局長の経験を生かし、芸術工学を基礎においた、教育関連産業の株式会社芸工総研の代表取締役に着任されている。『インタビューするのが専門だから、されるのはねえ』とにこやかな笑顔の中に、深みのある人柄が伝わって来た。

天上りの県民局長

阪神県民局長
足立　昭（29）



尼崎にある阪神県民局に、足立昭県民局長をたずねた。昭和38年に本学を御卒業後、県職に奉職され、自治省の課長補佐も歴任された優秀な人材である。

現在は、尼崎市、西宮市、伊丹市、芦屋市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町を司る兵庫県の県民局長である。局長の仕事は、県知事に代わり、県政の重要事項を調整したり、各種の重要会議に参加したり、各種催しで挨拶をしたり、１６０万人阪神地区にて、知事の分身となり、八面六臂の活躍である。本庁の課長時代には、国と地方をつなぐ人事交流の一環として、自治省の課長補佐として、県から国へ赴任され、天下りではない、天上がり！を経験されている。また、4年前の阪神大震災当時は、土木復興局長として、寝食を忘れて、兵庫県の復興に寄与された。

大学時代は、準硬式野球部の投手や外野手として、活躍された。所属ゼミは、北里ゼミで、スポーツに勉強に頑張られた。穏やかな顔立ちの中に、キラリと光る瞳は、兵庫県の明日の県政を担う力強さを感じさせた。

山口県の経済・企業・企業家精神

石川　勝径（34）著



平成10年4月発行
ニッポン・リプロ
281ページ　定価2,900円

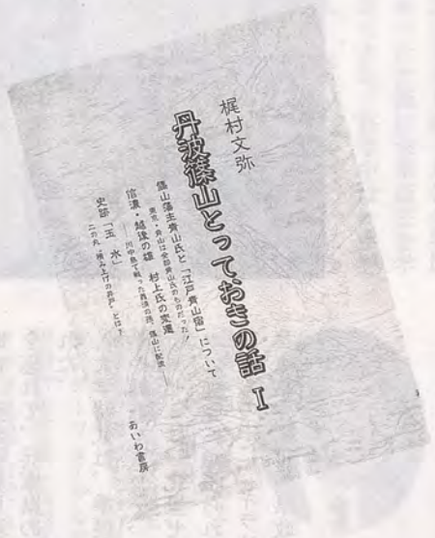
本書のタイトルからいって、山口県のみの経済、企業についての紹介と思っていた。ところが、それが大きな誤りであることに気がついた。まさに、現代の不透明な経済事情に一石を投じた感もする。実は、明治時代の内村鑑三の『経済と人間』を思い出さずにいられない。その中に、日本に欠けているのは何かと、問いかけている。「それは、富でもない、知識でもない、愛国心でもない。道徳でもないであろう。日本にかけているものは、『生きた確信』である。真理そのものを愛する『情熱』である。そして、沸き上がる大確信がない」今から百年前の彼の警告でもある。

日本は、指導者に確信がなく、命を賭けた信念もない。故に、行き当たりばったりにその場をしのいできた。結局、国を行き詰まらせてしまった。今、日本は、『第二の敗戦』といわれる苦境にある。経済の衰退の根っ子に『企業家』の衰退も知るべきであろう。経済といっても、政治といっても、それを動かすのは人間である。人間がだめになればすべて泡になってしまう。

この一書から、このように学ばせて頂き感謝している。さらに付け加えるとすれば、経済だけをいじくっても経済は決してよくならない。たとえ良くなったとしても、果たしてどれだけ我々国民を満足させてくれるのだろう。

丹波篠山とっておきの話Ⅰ

梶村　文弥（8）著



平成10年10月10日発行
あいわ書房
150ページ　定価800円

昨年『情熱の歌人　和泉式部』（『澱江』で紹介）を出版された梶村氏が、本年は標題の著書を刊行された。「毎日が日曜日」だと謙遜されてはおられるが、その気力、体力、知力には頭が下がる次第である。

本書は3部作で、第1部は既に発刊済み、第2、3部は平成10年内に発刊すべく現在校正中。入手方法は後掲の発行所か梶村丹有支部長ご本人に申し込み願いたいとのこと。

第1部の内容は「篠山藩主青山氏」と『江戸青山宿』について（東京・青山は全部青山氏のものだった!）」「信濃・越後の雄　村上氏の変遷（川中島で戦った義清の孫、篠山に配流）」「史跡『玉水』（二の丸〝積み上げの井戸〟とは?）」で、過去に書きためたものを補正、写真・資料を適宜配置し史実に忠実をモットーに出版されたものである。近刊の第2部は「戦国動乱、丹波の支配者たち」、第3部は「丹波波多野氏と八上城の時代」で、3部作の完成が待ち望まれるところである。

あいわ書房
兵庫県多紀郡篠山町東新町87
TeI（0795）52—6090
FAX（0795）52—4050
振替口座　00910—5—106401

North To South

北から南から

同窓生からのメッセージ

私のモットーは「健康と平和」

満野圭藏（3）

母校卒業後61年、早最年長組の一人となりました。現在私の住む緑に囲まれ、阪神間の奥座敷といわれる当猪名川町の役場にも大経大の同窓生7名が奉職しておられ、それぞれの部署において住民福祉の向上を第一義に懸命に努力しておられる事は、これからの社会の高齢化も考えると心強い思いで、喜んでおります。

一方我が家にも「北方領土問題」があり、暴力の絶え間のないこの世界で私のモットーにしている「健康と平和」が、子々孫々一日でも長く続くよう祈念して最後に一言。

「賢者は世界に学び愚者は風潮に学ぶ」

自宅　兵庫県川辺郡猪名川町
杉生字奥山一

ザルツブルク音楽使節に想う

浜田正治（9）

昨年5月、モーツァルト生地ザルツブルクから、アルペンホルンや、チロル民謡の歌や踊り、またチター等の音楽グループの招へいに関わる。

見事な演奏もさることながら、まず時間に正確。集合は5分前、まるで旧帝国海軍だ。超満員の会場を団員自ら整理し、プログラムを配り楽器にふれさせ、また観客の婦人・子供をダンスに誘うパフォーマンスなど、たくまざるサービス精神。

ドイツ民族の温かい人情と、礼儀正しさがベースにある事は言うまでもない。これらは、今の日本人に無いもので胸が熱くなった次第。

思えば日本は経済の凋落どころか、色々大事なものをなくしたもんだ。

自宅　川崎市宮前区宮崎5—12—31
勤務先　朝日新聞社社友

私ごと

河盛富三（10）

新天地名古屋に来て早半世紀も経過した。還暦を過ぎてから体調が崩れ3度の入退院を経験したが、不思議と娑婆に戻って来た。爾来社業も倅に譲り余生を楽しむ昨今である。先日運転免許更新を機に紅葉マークの必要を考えた。ついでに適正検査を受けたところ30代の能力と判定された。すべて杞憂とばかり勇気百倍の力が沸いてきた。と言ってあと何年の寿命だろう…

自宅　名古屋市千種区新池町2—9

「わが青春の一齣」と久野収先生のこと

永田康之（11）

4月25日の11期生会で50有余年振りに加藤二二君と再会、数日後彼から2人の写真と「わが青春の一齣」が届いた。昭和19年9月15日卒業、三菱重工業に入社。この年10月10日特別甲種幹部候補生として久留米第一陸軍士官学校に入学した。「わが青春の一齣」は、彼が戦中生活の思い出を綴ったものだが、当時の学生は総て苛酷な青春を強いられ、かつ多くの戦友を失った。戦後日本は高度成長により徐々に繁栄の道を辿ったが、近時の金融不祥事等利己主義的人間の急増を嘆く。かって祖国の繁栄と同胞の安泰を祈念し従容として散った戦友を思うなら靖国の英霊に感謝と鎮魂を捧ぐべきという。

私も三菱重工業に入社し戦後の動乱の時期に組合運動に専従した。当時は思想的に空白、混乱の時代だったが学生時代に親交を頂いた久野収先生のプラグマティズムの

書を読み、自己の思想を構築することが出来たように思う。豊かな学識と激しい口調で古今東西の文学者思想家を語られる先生には近寄り難いものを感ずるが、この度久野収集が岩波書店より発刊された。「(Ⅰ)ジャーナリストとして」「(Ⅱ)市民主義者として」「(Ⅲ)哲学者として」「(Ⅳ)対話者として」「(Ⅴ)時流に抗して」が発行される。これらは対話と論文の集大成であるが座右の書として愛読したい。終わりに久野先生のご健勝を心からお祈りします。

自宅　広島県安芸郡府中町
城ヶ丘21―20

■母校の発展を祈って

上垣賀照（17）

卒業してから半世紀近くも過ぎ去り「母校も遠くなりにけり…」の感、和歌山の片田舎から満員電車に揺られ片道3時間近くもかかる通学のため、放課後のサークル活動やクラブ活動に参加することが出来なかった。目を閉じれば灰色にくすんだ校舎、校門近くにあった大楠、校舎の北を流れるよごれた小川等学校のたたずまいが鮮明に甦ってきます。

そんな中で共に学んだ学友、大阪の吉崎君、水田君、四国から来ていた鎌田君など、みんな誠実で愉快な仲間でした。いつか会えることを願っています。母校の繁栄を祈りつつ…

自宅　和歌山県橋本市清水205

■軟庭の仲間

高木健吉（17）

関西学生NO1の後藤さんをしたって、滋賀の田舎から入学した。庭球の思い出はすべて温かなものに包まれています。後藤、高木組、墨田さん、連、岡部組、そして桜井弘志君、また徳島の谷君、皆さんに会いたいな。

また同窓は、堀江昭君、大畠恒夫君、一緒でいたので卒業できた仲間である。

連昭さんは結納の持参人として、結婚予約の承認になって頂いた。

自宅　近江八幡市出町567
勤務先　びわこ銀行（相談役）

■私の住むまち

鮫島　圭（18）

昭和43年春、高砂熱学大阪支店より東京本社へ転勤した。5年間の社宅住まいの後、48年に社宅の近くの現在地へ家を建てた。調布市というのは、世田谷区に隣接した人口30万弱のベッドタウンで、最寄り駅も世田谷区の小田急線成城学園駅で東京駅まで50分の位置にある。

自宅は小公園のすぐ横で、小公園をへだてて電気通信学園のグラウンドがあり、樹木が繁り小鳥も多く静かな住宅街である。新築する際も、環境と子供の通学が選択の理由であり、平成7年にリタイアした時、大阪へ移転することも考えたが、娘達が近辺に嫁いでおり、当地に30年住み慣れた愛着もあって思い止まった。人間の土着とはこんなことで決まるのだな、というのが現在の感想である。

自宅　調布市入間町3―7―51

■私の住むまち

田中耕平（19）

小江戸川越の代表的な「蔵造り」と「喜多院」をご紹介しましょう。

川越の土蔵造りの店舗はいわゆる「蔵造り」として有名です。蔵造りは類焼を防ぐための巧妙な耐火建築で江戸の屋形式として発達したものです。

また「喜多院」は、平安時代に創建されています。寛永15年（1638）の火災後の再建時には、江戸城内の家光誕生の間や、春日局化粧の間が「喜多院」の書院、客殿として新築されています。

彩りの国、スマイルシティ川越へ是非いらっしゃい。

自宅　川越市笠幡48―5―20

■現役を終えて

宮原史郎（21）

昨年4月、任期満了により8年務めた温泉津町長を退任しました。

昭和30年、経大を卒業、爾後金融機関勤務32年、助役職2年余を経て町長に立候補、小差で当選しました。「過疎化対策に生命をかける同窓生」とのタイトルで『澱江'89』にのせていただく光栄に浴しました。

行政は未知の世界ではありましたが、「大阪経大」が何時の場合でも大きな心の支えでありました。

ありがとうございました。非常勤ではありますが、今は町の社会福祉協議会の会長として、平成12年度よりスタートする〝介護保険〟の受皿づくりに全力投球中でございます。

自宅　島根県邇摩郡温泉津町
温泉津口98
勤務先　温泉津町社会福祉協議会

■車窓から見る母校

山口平八郎（21）

それは、ちっちゃいキャンパス、「これが大学か?」入学時の第一印象でした。4年後無事卒業、同時に枚方市役所に入職。主に、財政・人事を担当し、平成4年8月助役を最後に退職し、今は簡易裁判所の調停委員の職を持ち、また年金者連盟の世話をさせてもらったり、好きな菜園をいじったり、それなりに頭も使い、体も動かし忙しくまた楽しく過ごしています。

卒業後母校を訪れる機会はほとんどありませんが、たまに、新幹線の車窓から、あの小さなキャンパスからすばらしい発展を遂げた学舎を眺め、懐かしくも思い、また当時を懐かしんでいます。

18歳人口の減少、少子化時代を迎え、これからの学園運営は、ますます厳しくなってくると思います。

最近、新聞等で大経大の名があまりみうけられなくなったのが残念です。今後の大阪経済大学のあり方については、同窓会、大学当局それぞれが検討・努力をされていることと思います。

同窓生のためにも斬新な、特色ある大学作りの方向を示していただきたいと願っております。

大学のますますの発展を祈ります。

自宅　枚方市中振1―17―7

■会いたい人々

北村　弘（22）

世界のサッカーファンを狂喜させたW杯が終わりました。青春の一時を憧れの西宮球技場で、準優勝に輝いたあの頃を懐かしく思い出します。小生のPK失敗で（前日本監督の加茂周に阻まれ）、少しの悔いを残したあの時…。共に「うまくなりたい」「強くなりたい」と悩み、苦しみ、励まし合い汗を流した球友諸兄はご健勝でしょうか。アルバムの諸兄は変わらぬ笑みを湛え、不屈の闘志をみなぎらせていますが。

是非一度お会いしたいものですネ。あれからもう45年が経過しておりますから。そして、あの喜びを後輩の諸君達にも体験させてやりたいものです。

自宅　奈良県生駒郡三郷町
城山台3―3―5

■私の住む町、北摂池田

木下　昭（23）

池田市は大阪府の北西部に位置し、大阪市の北約16キロのところにあります。市域北部に五月山、南部に大阪空港があり、東西に中国自動車道、南北に阪神高速道路大阪池田線が走り、それぞれのインターチェンジがあります。

人口は約10万4000人、平成11年には市政60周年を迎えます。

江戸時代全国屈指の酒造地として、また北摂地域の物資の集散地として、経済的繁栄を誇った一方で、画家の呉春に代表される多くの文人墨客がこの地に去来し「池田文庫」が開花したことでも知られています。

自宅　池田市旭丘2―2―18
勤務先　いばらぎ京都ホテル

■私の住むまち

榎本　修（24）

兵庫県神戸市北区鈴蘭台地区は六甲山の西中腹にあり、異国情緒豊かな神戸市街から車、電車で25分です。30年前は人口1万人未満、今は神戸のベッドタウンとして10万人強の人が暮らしています。

昔は兵庫県の北海道と言われ雪がよく降ったものです（現在は少なくなった）。今は神戸の軽井沢と言う人もいます。特に夏の夜は最高です。大変涼しくクーラー不要です。車で30分の所に日本最古の有馬温泉、今年4月に開通した明石海峡大橋へは20分で行けます。車で3分以内に小さなスーパーが5軒もあり買い物至便、一歩出れば四方は山また山、緑が多く大変空気が旨い。車で15分の所にオリックスの本拠地グリーンスタジアムがあり、シーズンに10回は観戦しています。

自宅　神戸市北区鳴子2―5―7

■擦り切れた黒帯

吉田文雄（24）

朱色で片方に大阪経済大学、もう片方に自分の名前を刺繍した柔道の黒帯が、今も小さな書斎の片隅にぶらさがっている。もうこの10年余り使用したことがない。

帯は長年使用したために角が擦り切れて中から白い帯心が表に顔を出していて、実に貫禄十分である。この擦り切れた黒帯には、今は亡き故石川登先生、故武川茂夫先輩（8）、故近藤和文先輩（10）、それに現同窓会会長で柔道部OB会相談役の萩原市郎先輩（10）を初め同期生の上野充也君（24）他、多くの先輩、後輩の想い出がぎっしりと詰まっている。今では朱色の刺繍のネームもところどころ擦り切れて読めない程だが、卒業後

の長い社会生活に於いて、何度も行き詰まって四苦八苦した時、この黒帯を眺めては、あの死ぬほどの苦しい練習を思えばこれくらいの事、なにくそと勇気をふるい立たせてくれた大事な大事な宝物である。

63歳、老後の生活という嫌な言葉の年齢になった。元気で人に迷惑をかけぬよう、趣味の陶芸、囲碁、登山を楽しみながら、少しは地域社会のお役に立てればと、社会福祉協議会のお手伝いを行っている今日この頃です。

自宅　尼崎市若王寺2―12―18
勤務先　賃貸マンション自営

私の住む町

高橋　致（25）

私（家族）が札幌へ住まいを移したのが昭和50年夏、早23年が経っています。

昭和34年母校を卒業と同時に津市、仙台市、札幌市と北上し、次はサハリンかと思いきや、何時の間にやら札幌市の市民になってしまった次第。

実は、私は三重県出身で牛肉で有名な松阪市にも7年弱生活したことがあり、住んだ土地それぞれ、良い土地柄であったと思っております。180万都市、札幌市の生活は想像したほど厳しいものではなく、むしろ生活は楽しいものでした。

冬が長く雪のふる街ですが気温はマイナス10度より低くなることは殆どなく市内では、暗いイメージは全くありません。また梅雨がなく、台風もなく快適です。特に最近は温暖化の影響か雪が少なくなったと思います。とは言っても雪の道路（アイスバーン）での車の運転には閉口しています。わずか7キロの道のりでも1時間以上かかることもしばしばあり、当初、人との約束に大変失礼した記憶があります。情報通信の発達した今日でも人間の移動を伴う冬季間の経済活動は時速5キロにも劣る状況です。

このアイスバーンと同様に北海道経済は「たくぎん」の破綻の影響で極めて厳しい環境にあり、自立出来る経済基盤の確立が強く望まれております。

2年前に現役を引退し現在は仕事を離れて地元の人との交流に努めております。私の住まいのマンション管理組合（約250世帯）の理事長の役を受けて、毎日多忙な日々をおくっております。

母校の限りない繁栄を心からお祈りします。

自宅　札幌市豊平区豊平4―3―1―1―213

感動

中　一正（27）

私の好きな言葉であり、生き方だと思う。人生は感動・青春・お役立ちの中で感動した事について一言。私には4人の子供がおります。常になんでも良いから一番になれを教育のモットーとして、むすめ達を育ててきました。長女は習字が一番だと言い、三女、四女は走りが一番だと言いました。次女は私が観てもなんの取り柄もない平凡な女性です。しかし次女の答えに私は感動しました。次女は地元で一番やさしい女性になると答えたのです。今でも昨日の事のように思い出されてきます。

自宅　池田市神田2―21―28
勤務先　㈱リコー大阪支店

小樽運河ニテ

山縣崇由（29）

札幌での単身赴任も5年目を迎えている。所用で月一度はこの小樽の街を訪れる。運河沿いの倉庫群や様式建築を追求した、銀行、商社、夕方の日差しを柔らかく照り返す石壁の建物が静かに並んでいる。そして港湾都市、小樽を代表する建物など…。

このような風景をひとりベンチで座し眺めながら、遠くて古き学窓を今も懐かしく思う。自然に…逝きし苦節の十余年歴史は吾等に教うなり…。

母校逍遥歌を口ずさむ…。

母校のますますのご繁栄を祈願しています。

自宅　札幌市東区北六条東8―3―1207
勤務先　㈱コニカカラー北海道（代表取締役社長）

思い出

大森　肇（30）

私は昭和35年入学、今はなき応援団へ入部、昭和39年無事卒業し岡山の（株）中国銀行へ就職、平成8年大過なく退職しました。応援団（吹奏部）に入部し、生まれて初めて楽器なるものにさわり、不安をかくせない私を上手に指導して下さった河野部長、諸先輩方、思い出はつきません。

河野部長さん!!お元気でしょうか？住所等をどうかご一報いただければ幸いです。

自宅　岡山県都窪郡早島町早島1786
勤務先　中銀ビジネスサービス㈱倉敷営業所

マージャングループの再会の件

森上八郎（30）

卒業して34年。就職した当時、年に数回利害関係のない友人と会って、社会人としての議論をした。それも最近では15年に一回会う程度となった。

反面、銀行内で卒業生の会〝大楠会〟を発足して12年目になる。年一回5月に総会を実施、同窓会会長他大学より数名参加願っている。会員は120名、39年卒業の徳田、由良、山野、榎、中島、高見君他、今年秋には一度会いたい。

自宅　箕面市箕面8―9―41
勤務先　㈱幸福銀行（取締役総務部長）

健康第一!!家族に感謝

門脇正幸（33）

平成2年突然脳塞栓で倒れ、左上下肢が不自由になり、この8年間家族に助けられ、通勤の送り迎えで日々会社に勤務しました。

倒れた時自分の人生設計すべてが夢となり、厳しい現実に直面しましたが、今年の6月より自分で運転して通勤出来るまでになりました。

残りの人生健康に気をつけて、この8年間家族に迷惑をかけた分、楽しいものにかえたいと思います。

自宅　鳥取市古山町南2―559
勤務先　鳥取マツダ自動車㈱

卒業30年を振り返って思うこと

島崎　譲（34）

卒業して丁度30年、神戸で日中貿易華僑商社勤めを13年、田舎に帰り書道専門店を開業して17年経ちました。その間、大学を訪ねたのはたった一度だけ。数年前に新しい会館が落成した時の同窓会総会に出席しました。20数年振りに上新庄駅に降り、町の変貌に驚きました。なつかしい中庭の楠は大樹に成長していました。その楠の苗を手土産にもらって帰り今も鉢に植えてあります。

地元の同窓会支部総会にも17年間欠かさず出席しております。小学校や高校の同窓会は時々有りますが、大学の学年同窓会というのは、余り聞きません。学校主導で一度学年同窓会を開いてもらえないでしょうか。卒業後、数人とは年賀状の往来は有りますが、殆どの友人とは一度も会った事が有りません。そんな機会を是非設けて欲しいと思います。

自宅　高知市種崎700―1
勤務先　㈲湖筆堂

私の住むまち、舞鶴

松井信躬（34）

おふくろの味「肉じゃが」のルーツをご存じですか。

肉じゃがは旧海軍の東郷元帥が舞鶴鎮守府長官時代に、英国ポーツマス市で食したシチューをまねて作らせた艦上食が始まりといわれています。この肉じゃがの発祥地を巡り、舞鶴市と広島県呉市との間でホットな本家争いが話題になっています。両市とも旧海軍の鎮守府が置かれ、東郷元帥はどちらにも赴任しており、まちおこしをかけ一歩も譲らない状況です。

さて、舞鶴市は旧海軍の軍港・引き揚げの港から赤れんがの映える国際貿易港として「世界に開かれた海洋文化都市」の実現を目指しております。このような中、地元経大卒業生は年一度舞鶴市長（13回卒業）をはじめ10数名が集まり、大学時代の思い出、まちの活性化などの話で盛り上がっております。

自宅　舞鶴市亀岩町122―2
勤務先　舞鶴市役所

次世代を見定めた大学改革を

中井　澄（35）

人口増加率が1970年代後半から減少傾向にあり、近年では出生率の低下や65歳以上の占める高齢化率の上昇が見られ、大学の冬の時代が到来、大学人にとっては対岸の火事ではいられなくなってきた。また、大学への価値観も画一、平等の教育研究から多様化、個性化へと変わりつつある。

きたるべき21世紀への母校へ、社会人を含めたゆとりのある教育の充実を目指して、入学試験制度の改革（特に二部大学院への進学）など小さな改善が大きな革新に結びつくような、次世代を見据えた大学改革に期待したい。

自宅　羽曳野市高鷲4―9―1―318
勤務先　関西大学

卒業以来初めて母校を訪ねたこと

角田和夫（39）

大阪への出張の2日目、会議が

午前で終わったので母校を訪ねることにした。

上新庄の駅周辺が変わったのと、下宿屋が学生アパートに変わっていたのには驚いた。

しかし、大学裏の自分が居た下宿は昔のまま在り、学生も20数年前と少しも変わっておらず、昔に返ったような気がした。来て本当に良かったと思った。青春の思い出を作ってくれた母校、先生、同僚達に、ありがとうの感謝の言葉を贈りたい。

自宅　石川県小矢部市西福町3―5
勤務先　㈱金澤名鉄丸越百貨店

社会に出て思うこと

石田俊己（42）

今回初めて投稿させて頂きます。

卒業時、自営業独立を目指していましたが、気が付くと高校教師をしているしだいです。民間企業の経験を通して教師の仕事の魅力を見つけました。その当時、泉谷勝美先生にも相談にのって頂き、迷惑をお掛けしたと思います。

さて、私の勤務校からの母校への進学も、残念ながらままならず、今まで、商業科枠で若干名が入学を許可されました。今、社会に出て、一番思うことは、同期のメンバーがどうしているか？第一回の同窓会を実施したいと思っています。同期の桜の皆さん！どう思っておられるでしょうか？ご連絡下さい。（経営学部卒）

自宅　河内長野市
　　あかしあ台1―28―13
勤務先　大阪女子高等学校

私の住むまち 大和桜井

大倉令子（42）

美しい自然と歴史的文化のまち桜井は、私の生まれ育った町で、いつの日もこの自然がやさしくつつみこんでくれています。

最古の道といわれる「山の辺の道」もハイキングの人達でいっぱいです。春の花々、秋にはすすきの野原にみかんや柿が実り、のどかな風景です。学生時代にも、友人を誘って何度か歩き、それぞれの四季を肌で感じたものでした。

近年はその桜井にも大きなスーパーやマンションが建ち、通学にお世話になった近鉄桜井駅も木造から近代的な駅舎へと変わり、大阪のベッドタウンとしてとても便利な街並みになりました。

古き良き時代と新しき時代を併せ持った桜井の街が、私の自慢です。

同窓生の皆様、機会がありましたらぜひ桜井へお越し下さいませ。

大学のキャンパスも年々立派に整備されていく様子を『澱江』の紙面で拝見し、うれしく思っております。

大学並びに同窓会の益々のご発展を心よりお祈りいたしております。

自宅　奈良県桜井市栗殿734

いなかぐらし

山岡（森田）八千代（42）

主人と私は大経大の同窓生です。突然、97年の12月、家族一同は北信州木島平に移住しました。ペンション「ケントス」オープンのためです。主人は脱サラです。木島平の景色はまことに心やさしく、美しい村です。だけど、新入りにはきびしい面もあります。

いなかぐらしが今ブームとなっていますが、いかにしてうまく共存していけるか…。子供の学校のいじめもありました。だけど、心から歩みよること、理解することに努力をすれば、古いしきたりや深いきずなで結ばれた村でも、少しずつ心を開いてくれます。対抗意識は絶対もってはいけません。新入りは、やっぱり入れてもらう気持ちを、いつでももちつづけることです。これがいなかぐらしの秘訣だと思います。また一度ペンション「ケントス」へお越しください。

自宅　長野県下高井郡木島平村上木島
勤務先　ペンション「ケントス」自営

社会に出て思うこと

吉田善之（44）

少子化の影響で私学は大変な岐路に立たされている。大学は選ぶ時代から選ばれる時代になって早10年が過ぎさろうとしている。建学の精神に基づいた個々の大学の存在が問われているのである。在学中はただ卒業すればよいと思っていたが、卒業して20年の月日の中で大経大の精神のほんの一部分だがわかってきた気がする。あとの大部分はこれから勉強していきたい。教育という言葉があるかぎり大経大が永遠に栄えることを!!

自宅　滋賀県草津市
　　北大萱町472―4
勤務先　光華女子大学

忘れられない思い出（私の宝物）

本多輝夫（46）

私は学生寮15期生です。久し振りに寮新聞を読みました。なつかしい名前が寮執行部のメンバーに出ていました。それぞれがんばっている事でしょう。記念写真や「がまん大会」でのスナップが思い出のアルバムにはってあります。今でもお付き合いをしていただいている人が、数名おります。私の宝です。私の事を知っている人がいればぜひ御連絡下さい。

自宅　山形県酒田市南千日市1―31
勤務先　福王寺

今年一番うれしかったこと

松井英司（47）

今年、中学生になった娘が剣道部に入部したことを妻から聞いた時、とてもうれしく思いました。娘は小さい頃から運動が不得意で、いつも出来ないグループに入っていました。そのことで、家で泣いていたこともたびたびありました。私は運動が好きで、学生時代もワンゲルに所属していたこともあって、ほとんど娘の運動については あきらめていただけに、今回のことは意外でした。私は娘に反省も込めて心よりエールを送りたいと思います。「へたでもいいから頑張って続けろよ」

自宅　兵庫県揖保郡太子町東出78―1
勤務先　兵庫県立神戸商業高等学校

経大教員養成に今後も期待

井上仁志（49）

兵庫県内の高等学校で商業科を担当する経大OB教員が今春約2年ぶりに集まりました。兵庫県内のそれも商業教科担当の教員と限定して、判明しているだけでも約80名の卒業生が公私立各高校でご活躍されておられます。これは県下の商業科教員は約400名弱ですから、いかに高率かおわかりいただけるかと思います。高齢化社会と共に児童生徒数も減少し、教員採用も狭き門となっています。経大生の教員志望者にとっても厳しい時代ではありますが、是非多くの後輩諸君が採用試験の難関を突破し、教師への道へと進まれることを期待しています。

自宅　神戸市西区高雄台25―32
勤務先　兵庫県立神戸商業高等学校

私の住むまち

小谷哲生（49）

私は岡山県の北部にある小さな町、湯原町に住んでいます。岡山の観光名所といえば、倉敷のチボリ公園、大原美術館、岡山の後楽園、川上・八束の蒜山高原が有名ですが、湯原町の湯原温泉も岡山県の隠れた観光名所の一つです。

私は今、高さ76メートルのダムが見下ろす露天風呂でペンを握っています。ここは、野口冬人氏の露天風呂番付で、西の横綱に選ばれました。その昔、片目の大蛇が川原に湧き出る湯で矢傷を治していたのを村人が発見したのが「砂湯」（地元の人はなぜかこう呼ぶ）のはじまりとされ、今も旅人や地元の人々が日ごろの疲れを癒やしています。

自宅　岡山県真庭郡
　　湯原町湯本129
勤務先　蒜山教育事務組合立
　　八束小学校

'98因島水軍まつり

楢原佳也（50）

わたしは大学を卒業して一年間大阪で過ごし、その後生まれ故郷の因島に帰って教員をしています。

3年前から因島水軍まつり小早レースに、小中学校教職員の有志が集い参加しています。夏になると仕事を終えた仲間が、小早船に乗り、太鼓と船頭の掛け声のもと、16名が心一つに力一杯櫂を漕いでいます。

しんどさを共にし、喜びをわかちあう。まさに熱い夏です。小早を通して得た仲間のつながりを今後も大切にしていきたいと思っております。ぜひ一度お越しください。

自宅　広島県因島市
　　大浜町452―2
勤務先　因島市立田能小学校

製薬MRガンバレ！

長谷川　健（52）

製薬メーカーで働いているMRの皆様、認定試験ガンバッテおられますか。私は運よく1回目で合格いたしまして少々ほっとしているところでございます。

今後製薬業界も変革、新時代に入って参ります。我々MRも生き残りをかけて、学術と経験を武器に乗り切っていこうではありませんか。我々にできるのは自分を成長させ、対応能力をアップさせ、自信を持ってMR活動を行うことだけです。ガンバリましょう。

自宅　東大阪市西岩田
　　3―5―65―802
　　シャトー八戸ノ里
勤務先　日本ロシュ株式会社

北から南から

North To South

楽しかった学生生活、会いたい先輩、後輩

山本耕司(54)

私は学生時代の4年間、速記というものを通じていろいろな体験、経験をし、非常に勉強になりました。速記はもちろんのこと、コンパで本格的に覚えたアルコール、強化練習、合宿、速記を通じてできた人間関係、皆一丸となった大樟祭では伝統のアメリカンドッグを一生懸命売っていました（あまり売れず逆に少し目をはなしていたら、一箱ケースごとアメリカンドッグがなくなり先輩から大目玉をくらいました）。

大学を卒業して10年、今その時一緒にやってきた先輩、後輩と一堂に会いたいものです。

自宅　門真市舟田町37―26
勤務先　シノブフーズ株式会社

社会人8年目を迎えて思う

池田憲二(57)

卒業して8年、今年30歳を迎えました。思えば8年間、悪戦苦闘の連続であったように思います。好景気の波に乗って就職、2年で退職。通信制大学へ入学し、現在は神戸市小学校教員として勤務しております。苦しいことの連続でしたが、大学時代に準硬式野球部員として白球を追い続けた日々が支えになったことは間違いありません。大阪経済大学という名前に誇りを持っています。今、神戸市小学校教員で経大卒業生は4～5名と聞いております。教育にとっては厳しい時代ですが、経大根性で頑張りたいと思っています。

自宅　明石市大久保町
高丘5―15―26
勤務先　神戸市東舞子小学校

今年一番うれしかったこと

大熊達也(60)

本年度私にとって人生最大のイベントである結婚をすることができました。現在も銀行で取引先係として頑張っておりますが、結婚したことにより仕事に対してもより一層張り合いがでてきたように思います。大学を卒業して5年、今後も公私共に充実した毎日をおくりたいと思います。

自宅　東大阪市若江南町2―4―14
勤務先　㈱泉州銀行

大学時代の思い出を励みに

桑原啓充(62)

社会人3年目、多忙ながらも楽しい毎日を過ごしています。時折、思い出す大学生時代が励みになっています。

自宅　静岡県浜松市
高塚町906―201

私の住むまち

高野耕一郎(62)

私は今静岡県富士市に住んでおります。富士市といえばご存じだとは思いますが、〝日本一高い山の富士山〟があります。私は毎日この富士山を背にして仕事をしております。

今の夏の時期は、いつも雲がかかっており、ハッキリ見える日はほとんどありませんが、冬の富士山はとてもキレイに見えます。皆さんも登るなら夏、見るなら冬に、富士市に来てください。

自宅　静岡県富士市蓼原
82―11蓼原寮B302
勤務先　大昭和製紙株式会社

社会人2年目の私

稲葉めぐみ(63)

私が社会人になってもう2年目。今の会社は一度転職したので2回目の会社です。

最近、異動があって営業になり、なれない土地をなれない運転でまわっています。全くわからないことだらけなので、今でも気分は入社したての新入社員のつもりです。

社会に出て、いろんな人と会って、いろんな経験をしていますが、まだまだ「私って子供やなあ」とか、反省する事ばかりです。

もっと経験を積んで、早く一人前の営業マン（？）になりたいです。

自宅　神戸市中央区
下山手通1―4
勤務先　白鶴酒造株式会社

皆さんにご投稿いただいたテーマ

- ●母校への提案
- ●今年一番嬉しかったこと
- ●社会に出て思うこと
- ●私の住む町
- ●私の下宿生活
- ●今でも持っている学生時代の品

SEMINAR REPORT

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

ゼミ短信

卒業生の現在は？

池野重男

50歳にもなってしまいました。目の前の学生たちの父親よりも年輩なのですが、でも、今年もソフトボールはしっかりと「1番バッターでサード」をやりました。いつまでやれるのでしょうか?!

さて、私の現在のテーマは「卒業生の現在」です。目の前を素通りしていく学生としてではなく、それ以後もお互いがつき合っていけたらいいと思いますし、若い人たちの頑張りに少しでもお手伝いが出来ればいいと思います。

不況の日本経済の中にいる卒業生たちのナマの声を聞きたいです。これから卒業していく学生たちにも助言をください。

2月より左記に転居しています。

大阪府高槻市緑町17―5
（研究室もG館に移りました）

自分の目で見る！

稲場紀久雄

環境リサイクル委員会で委員長の高平君（3年生）が提案した。「みんなで諫早湾の干潟のその後を見に行こうじゃないか」

1年前の4月14日、何百枚という湾の締め切り板が落とされた。「あの凄まじい画像が忘れられない。自然に向けられたギロチンだ。1年経った今どうなっているか、自分の目で見てみたい」

生協の鳥山専務も私も、安く行ける工夫をしよう、と約束した。

どんな場合も、自ら現地に身を置き、自分の目で見、地元の目線で対象を考えることが不可欠だ。経済や経営を学ぶ学生には特にこの姿勢が必要だ。1年生も参加したいと言う。その意気が嬉しい。

はじめまして

大下顕弘

今春から大阪経済大で教養の数学を担当しております。昨年度までは理系の学校（高専）で教師生活をしておりました。パラダイム的相違というと大げさですが、当初はやはり、少し戸惑いました。

大経大は歴史のある学校と聞いております。先達の築き上げてきたものの上にプラス・アルファを果たせる学生をいかに育てるかで、微力ながら努力したいと存じます。それではよろしくお願いします。

『フランケンシュタイン』

片山麻美子

今年の教養ゼミで、メアリー・シェリーの『フランケンシュタイン』を一緒に読んでいます。授業では戦後の映画と共に、最近作のプラナー監督、デ・ニーロ主演の作品も一緒に見ました。映画には各々の監督の創作態度が如実に表れています。プラナー作は映像のあまりの生々しさに、観賞中におもわず悲鳴とも嘆息とも言えぬ声が上がりましたが、デ・ニーロが演じる怪物の顔の哀しくも優しい眼差しは原作のイメージにより近いものでした。牛や羊のみならず、将来人類がクローン人間をも作ることが可能なら、科学の生み出す生き物たちはどのような感情を持って生きていくのでしょう。映画の最後では怪物は博士を父と慕い、共に炎の中で亡んでいく姿が描かれます。

近況報告

滝内大三

皆さんお元気ですか。

私は今夏、3年ぶり2度目の山登りをし、2857メートル常念岳から蝶ヶ岳を縦走しました。地震と崖崩れにおびえ、雨と風に悩まされながらの登山でしたが、下山後の温泉の気持ちよかったこと！

また、今年3冊目の著書『個性教育の創造』（晃洋書房）を出版しました。個性尊重の教育は、一斉画一方式に傾きやすい教科学習よりも、総合学習の方がふさわしいと言われており、それを確認してみようというものです。受験社会には総合学習はそぐわないので、これまで一般の学校では行われていませんでした。そのせいか、講演や教育研修の指導を頼まれて大忙しです。またいつか、皆さんとワイワイとお酒を飲みたいですね。

近況

高寺貞男

少子化現象が大学に及べば、「市場の原理」が作用して、組織の縮小均衡は不可避となると思われます。

すでに、いくつかの私大では、生き残り戦略として、授業料の登録料化（による実質的値下げ）や製造物責任の明確化（による品質保証）などが検討されはじめています。

そこで、かかる問題の解決いかんに大学の将来は左右されると考えて、頭を痛めている昨今です。

《追伸》

お陰様にて、つつがなく自宅と大学間の往復運動を続けていますが、最近、研究生活の「終わりの始まり」を自覚することしきりです。でも、「後期高寺（レイ）」の仕事は継続していますので、御休心の程を。

オープン・キャンパスの一こま

田渕 進

入試部が主催する受験生向きのオープン・キャンパスも最近はすっかり恒例の年中行事となり、当日はキャンパスも体験入学の高校生で活気づく。当日は入試説明会、ミニ講議、個人説明会などがあり、われわれ入試部も総動員となる。今年のある親子づれの質問に「経済学は経営学とどうちがうのですか」というのがあった。経済にしようか経営にしようか迷っているとのこと。そこで答えた。経済学は、君がもし総理大臣だとすれば国の経済をどう導けばよいかという問題を扱う。経営学は、君がもしある会社の社長であるとすれば企業をどのように動かせばよいかという問題を扱う、と。その君少

しうなずいてくれたが、どちらの学部を選択するだろう。（入試部長）

オクラの教育論

土居充夫

卒業生の皆さん、お元気ですか。厳しい不況の続く中、とくにお変わりありませんか。

さて、私はこの夏、家庭菜園で暑さに強いと言われるオクラとモロヘイアに初挑戦してみました。結果は予想通りの豊作で、夏の栄養補給に実に重宝しました。

ところで、このどちらも暑くなると急成長すること、オクラが鮮かなクリーム色の大きな花を咲かせること、オクラの実が天に向かってそびえ立つこと等は本で知っていたのですが、実際に目の前で見ると感動的でした。「頭先の知識」と「身体の知識」には根本的な違いがあるのかと、あらためて考えさせられた次第です。

卒業生のみなさんお元気ですか。

中川 操

7月26日に英語研修生一同で吉田氏歓迎会をしました。100名の参加者で、ゼミ卒生とゆっくり話すこともできませんでしたが、かなり大勢の懐かしいゼミ卒生が元気な顔をみせてくれました。1987年参加の中川昭君は4月から本学で英語を教えています。西口登造君は2つの修士学位を取得し帰国しました。3か月の赤ちゃんと一緒に参加してくれた山崎智子さんなど、すべてを紹介できなくて残念ですがとても懐かしく感激しました。卒業後国際的な仕事を希望し、留学希望のゼミ生も多いので一層の外国語教育が大学教育の中で必要となってきました。2000年4月より私は留学予定のためゼミ募集はしていませんので、現3回生のゼミ生が最後のゼミとなるかもわかりません。異文化理解と文体論研究が留学の研究テーマですが、2000年の12月31日には何度かの世紀末を体験できるのも楽しみのひとつです。

スポーケンにて

二一世紀に向けての大阪経済大学

濱本 泰

いま、大学は冬の時代に入っています。少子化や進学率上昇により受験環境は大きく様変りしつつあります。やがて全員入学に伴い大学間格差の拡大や同じ階層における受験生獲得競争は熾烈化を極めるものと思われます。そのため、本学でもサバイバル戦略として、全学再編の方針のもとに、新学部（ビジネス法学部）設置、既在学部の充実、二部問題、大学院問題や西校地開発問題について検討し、新たな模索を行っています。これからは、特に教育活動に対して本学教職員あげて全力投球の覚悟が必要でありますし、また本学6万5000人のOB・OGや父母の皆様のご支援が不可欠と思います。同窓生の皆様、社会的に認知される大学に育てようではありませんか。（経営学部長）

林ゼミ卒業生の諸君へ

林 遵

本年度のゼミは4年生17名、3年生26名、2年生19名の計62名体制です。

1年ぶりに2部ゼミを再開したところ3名が参加し、内2名が社会人入学生です。ゼミ活動にパソコンを導入すべく、メールによる質問の送信から実験中です。

夏期合宿は2・3年次合同でセミナーハウスで行います。現役生は三田初体験となります。継続はやはり力です。歌唱は10年前から始めフォーク、ポップス等レパートリー200曲余り、心身に好影響を与えています。これら3つは今後も続けたい小生の心身の健康法をあみだし継続されるよう期待致します。

雑感



伊豫田 隆俊

早いもので今年もこの原稿を書く時期になってしまいました。考えてみると、この1年間、仕事の面ではさっぱり進展がみられず、ただただ怠眠をむさぼっていたような気がします。厳しい社会状況の中で懸命に仕事に取り組んでおられるゼミOBの皆さんに対していささか後ろめたい気がしてなりません。

ところで、年初に届いた年賀状によれば、結婚や出産など、今年もおめでたい話がいくつかあるようです。案内状や写真をみながら、つくづく月日の経つ早さを痛感し

先生の近況

傘寿を迎えて



井上 清

井上ゼミOBの諸君、お元気ですか。小生も今年2月80歳の齢を重ね、皆さんから祝福をうけ感謝しています。そこでその後の近況を報告致します。今まで『澱江』で述べてきた三K生活（研究・海外旅行・歌唱）も高齢化につれトーン・ダウンし、読書・サイクリング・歌唱に変化してきました。読書は専門以外の話題の書を乱読し、サイクリングは近くの武庫川河川敷公園内の絶好の自転車専用道路を6年前から継続利用してい

葉書あるいはメール（jhayashi@osaka-ue.ac.jp）で近況をお知らせ下さい。OB名簿作成中です。

研究室来訪者：4月16日宇陀君、6月12日西岡君（不在で失礼）、7月6日松葉君。皆元気そうで何よりです。

それではまた。再会できる日を楽しみにしています。

若者に乾杯!!

間野嘉津子

今年初めてゼミから卒業生が出ました。全員揃ってそれぞれの道へと巣立って行きました。しかも彼らの残して行った卒論は、個性に溢れた力作ぞろいでした。後につづくゼミ生に、良い見本が出来たと思っています。次の卒論の仕上がりを楽しみにしているところです。

ところでワールド・カップのフランスの優勝には驚きました。

授業でもゼミでもサッカーの話題がよく出ます。中には、フランスでの語学の研修とサッカーの応援を兼ねて2カ月間渡仏していた人もいます。秋には仏検2級を受けるとか…。フランスの文化に触れて一まわり成長して帰ってきたように思えます。若い世代の活躍に大いに期待している今日この頃です。

五冊目の本

松村文武

ゼミOG・OBの皆さんお元気ですか。今年は中国の若い女性が院研究生として私の所に来ており、勉強のため学部のゼミにも参加させています。おかげで文字通り国際色豊かな国際経済ゼミナールになっています。さて研究面では10年近く温めていた国産問題が本年中に刊行できることとなりました。タイトルは『国産化の経済分析』で出版社は岩波書店です（甲南大学の藤川教授との共著）。経済専門書の出版がきわめて厳しい中だけに岩波からの発行は苦労が報われた思いがします。一読してみてください。最後に、21世紀の最初の年、すなわち2001年11月3日に松村ゼミOB会（「両道会」）を開いてはという声がありますが、いかがしましょうか。

バーチャルサロン

松本良治

パソコンの進化もついにここまできたかと思うほどに最近のマシンの機能、性能は素晴らしいものがあります。お陰でそれをフォローするのが大変です。ギガ単位の外部ディスクと高速入出力インターフェースの装備でマルチメディア情報を本格的に扱えるようになり、今まで専門家が業務用マシンで扱ってきたビデオ編集などもパソコンで簡単にできてしまいます。

こうなると個人レベルの表現方法も多彩になり、インターネットなどのグローバルな舞台で今までにないような新しいコミュニケーションが生まれるでしょう。

その内に経大ホームページの中に、卒業生の皆さんが気軽に立ち寄れるようなバーチャルサロンでもつくってみたいと考えています。

マレーシアだより

山田文明

調査に来たマレーシアでこの原稿を書いています。2年前に20人ほどのゼミ生と企業見学に来た思い出の地です。

マレーシアを知るにつれ、この国の人たちの親しみやすさと長閑さが貴重なものに思えてきます。社交的で音楽の才能に満ちた人たちであり、家族を大切にして人生を楽しむ生活スタイルには、うらやましく思えるものがあります。

きびしい経済環境の中へ巣立っていった卒業生のみなさん、その後どうしているか、いつも気になっています。若いみなさんの体力と気力、柔軟な思考力で乗り切ってください。

ご活躍を祈ります



鶴田　廣巳

卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。早いもので、私が大阪経済大学に赴任してから21年余りが経過しました。ふり返ってみますと、私が駆け出しの頃に社会に出られた人は、すでに40歳代になり、それぞれの部署で重責を担って頑張っておられることでしょう。皆さんとなかなかお会いする機会がないのは残念です。深刻な不況が続き、きっと皆さんの周囲も安閑とはしておられない環境かと推察しますが、どうぞベストを尽くして下さるよう期待しています。私の頭にもずいぶん白いものが増え、学生諸君の「若さ」にある種の羨望を抱くようにさえなってきました。しかし、いつまでも気持ちだけは若くもって、皆さんとおつき合いできれば…と思っています。皆さんからの近況報告や連絡を心待ちにしています。

「あなたは誰か」愛犬モティが語る

吉井康雄

我が家の愛犬モティは6歳の甘えん坊だが、優しい雌犬である。6月頃彼女の乳腺に小さい粒を見つけた妻に、「心配だから触診してくれ」といわれたのを忙しいからと断る。7月下旬、心配する妻に、重い腰をあげて「素人では判断は無理」と獣医を訪問。「特に心配ない。しばらく様子をみましょう」といわれ、一安心。しかし、なお不安を訴える妻に、別の専門医を訪問。触診後、「直ぐに手術すべき」と、3日後に摘出手術。病理検査の結果、ガンと判明。先生の紹介する大学付属病院で今は化学療法中である。判断の甘さを後悔している私には、混迷する日本の政治経済、身近な大学改革など、愛犬モティは「あなたは誰か」と問うているような気がするのです。

旅のメモ（マンの自筆原稿）

六浦英文

ミュンヒェン市立図書館の分館は、イーザル河のほとりの閑静な住宅街の中にあった。

トーマス・マンの戯曲『フィオレンツァ』のオリジナル原稿一式と、長男クラウスの家族宛書簡一式を見せていただく。

マン独特の斜めの字体だ。書体から几帳面な性格が感じ取れる。推敲の跡が見られ、紙を貼り付けて書きなおしてある部分もある。黒インク使用、修正部分は緑色インク。紙の質は三種類。桝目は二種類、正方形、長方形、正方形の順。指紋はマン自身のものか。

クラウスの父宛の手紙を見ると、「親愛なる魔術師さま」と呼びかけている。これ以上的確な表現はほかに考えられない。

マン・アレー散策。万感胸迫る。

そろそろ…そして、まだまだ…

渡辺　泉

私は、会計の歴史を大学院生の頃からずっと研究してきました。もう25年以上になります。世間一般では定年になろうかといった恐ろしい歳ですが、この世界では、幸か不幸か、やっと一人前といったところでしょうか。

とはいえ、そろそろ若い研究者を育てていかなければならない歳になってきたのも事実です。

そんなこんなで、1998年度の会計史学会は、初日の報告を大学院生に限定して行いました。閉会の挨拶で、「温かいけれども厳しい質問を」とお願いもしました。

しかし、若手研究者の育成にとっては、自分自身の研究の持続が何にもまして必要です。まだまだ一休みできないのかと感じたとき、「秕噛み気の遠くなる空の蒼」といった心境です。

ゼミOB会

井上清先生傘寿祝賀会

井上先生　清壽会

98年3月1日午前11時から都島区網島町の「太閤園」で、井上清先生傘寿祝賀会が開催されました。

私の近況



成瀬　洋

私は、たまたま3年ほど前に関西大学商学部に勤務することになりました。所属先は変わりましたが、いつでも皆さんのご来訪を歓迎します。

30年間教養部で、地球科学・科学史・自然環境論・教養演習などを担当してきましたが、この春無事最終的に引退いたしました。

やっと3つの自由、すなわち、Duty free,Time free,Goods freeの3F生活となったわけですが、体力の衰えとセットなのが残念です。それにまだ、つい時計に目が行く、くだらないスケジュールにこだわる…といった後遺症的状態が続いています。齢を重ねるにつれ、万事生活のテンポが落ちて行くのですが、それに反比例して時間の流れが加速されるような感じです。かくしていつの間にか長くて暑い夏も終わってしまいました。



先生傘寿祝賀会が教え子を中心にして盛大に開かれた。

3月初めのまだ寒さの残る日であったが、「太閤園」の庭園で記念写真を撮る時には、すでに井上ゼミの昔に帰って、盛り上がっていた。祝賀会会場に戻り、祝宴は時間いっぱい、ご健康そのものの先生ご夫婦を囲んで、楽しく語らい、時間の経つのも忘れて、久々の出会いと健康を喜び合った。

なおこの祝賀会の設営には藤田観光株式会社の森川典雄君（43年卒）のご協力を得ました。

☆清壽会事務局
〒五五三―〇〇〇五
大阪市福島区野田五―二―八
酒井亮介（15）
☎〇六―四六二―五九七九

六甲シルバー会 夏の集い

六甲シルバー会

8月1日～2日と久しぶりに、井上先生ご夫婦主催のシルバー会を盛夏も涼しい「六甲保養荘」で開催した。温泉で身体を癒し、宴会では、皆さんの近況報告や、カラオケ大会、料理を囲んで、18名が一夜を共にした。宴会後、麻雀を楽しむ組、よもやま話に夜の更けるのも忘れて笑い声の絶えない組、部屋から百万ドルの夜景を眺め、遙か彼方の闇に上がる大阪湾辺りの花火に酔う組、何歳になっても友との集いは人生最大のオアシス。先生ご夫婦を慕う集いである。翌朝爽やかな気分で記念撮影して散会した。

出席は石川、野村、吉田さん。男子は陰下、貝塚、中山、福田、細井、松本勝、松本茂郎、臼井、宗田、内海、竹延夫婦でした。

（十六回　中村行男）



「倉春会の皆様へ、倉辻先生を励まそう」

「倉春会」（倉辻ゼミOB会）

皆様からいただいたメッセージを携え、相模原友愛病院でリハビリ中の倉辻先生をお見舞い致しました。先生は、昨年暮れに、庭仕事中に腰を傷められ、以来リハビリに励んでこられました。

大分、快復されたご様子ですがもう少し時間がかかりそうだと、ご家族の方々も話して下さいました。

約二時間、先生の講義？の中で毎日の院内散歩や、食事の味つけへのちょっとした不満なども、ユーモアたっぷりに話していただき、私達も、少し安心致しました。

先生の入院されている病院の住所は左記のとおりです。お手紙などお送りいただければ幸いです。

〒228―0828
神奈川県相模原市麻溝台697、
「相模原友愛病院」
森川雅晴（39）



鈴木亨先生傘寿出版記念祝賀会

鈴木　亨ゼミOB会

（全共闘、応援団、クリスチャン等が集う）

鈴木 亨先生傘寿出版記念祝賀会





前理事長、学長鈴木亨先生の傘寿・出版記念（全五巻の著作集昨年5月発刊）祝賀会が、平成10年10月10日ホテルプラザにて盛大に開催されました。会は川口正義氏の司会のもと、金丸美由紀さんのソプラノ独唱プロローグのあと磯野斉氏（元同窓会長）の乾杯の音頭で始まり、浜田義文氏（法政大学名誉教授）、花崎皋平氏（文筆業）、小野寺功氏（清泉女子大教授）、神川正彦氏（国学院大教授）、岩崎彰之助氏など日本を代表する哲学界のご友人が先生のお人柄、著作集大成の偉業について祝辞を述べられました。そのあと、学部を代表して山崎敏輝（31回、生協民主化の権威）並びに阿波賀恭平（33回、東大紛争時の本学全共闘代表）の両氏が当時を回想し先生に感謝の言葉を述べられ、これを受けて先生から、80歳を迎えたが今後も命の続く限り著作活動を続けて行きたい、と力強いお言葉とご出席の皆様への御礼の言葉を述べられました。また、先生へ幹事を代表して倉貫徹氏（37回）が自らの作品「響存の海」を記念品として贈呈され、最後に応援団の多田正一、興梠政則（25回）両氏のリードによる学歌・逍遙歌を高らかに歌い、お開きとなりました。尚、本会の準備の際には同窓会の水納事務局長殿、並びに川村孝則様には大変お世話になりました。

幹事　楠　啓次郎（38回）
川口市三郎（38回）

TOPICS トピックス

夏期英語研修参加者OB集う



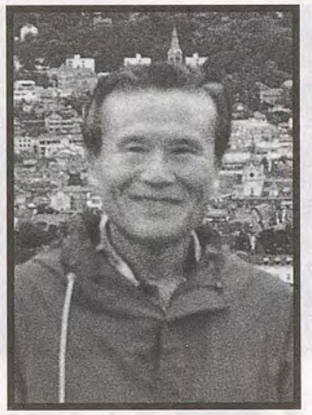


本学学生を対象に、毎年夏にアメリカ（ワシントン州）のスポーケン・コミュニティー・カレッジで約1ヶ月間英語研修を実施しています。本学主催としては今年で7年目を迎えました。この研修の現地コーディネーターとして毎年、吉田彰先生に多大なご尽力をいただいております。

これまでの夏期英語研修参加者は130名を超え、吉田先生が来学されるのを機に研修参加者OB・OGを中心に『吉田彰先生歓迎会』を去る7月26日（日）に本学50周年記念館（同窓会ホール）で開催いたしました。研修参加者の多くが卒業しているにもかかわらず、100名（一部、本学主催以前の研修参加者含む）もの研修参加者が一堂に会することができました。吉田先生を囲んで、英語研修の思い出話や近況報告に盛り上がり、盛会裏に終わりました。

（文責：川崎　章）

訃報



追悼文　松尾竹彦教授

先生ありがとうございました

今年も例年のように先生に残暑お見舞をお送りしました。すると、すぐ奥様より先生のご訃報のお返事が届きました。昨年、先生から頂いたお葉書には私をご心配下さるお言葉とともに、ご自身66歳になられたご感想も書き添えておられました。

私は昭和43年に本学に入学しました。先生との出会いは、2年目の経営組織論からです。個別にお世話になったのは先生のゼミに入ってからでした。ゼミでは「個別資本学説における経営組織論」を学びました。大学卒業後の進路に悩み、私は大学院に進みたいことを先生に相談しました。先生の勧めで、本学大学院の一次試験を受けましたが、落第でした。先生にもう一度相談に行きました。二次試験を受けてもいいが、先生ご自身が神戸大学で学ばれた、故古林喜楽先生のもとで勉学してはどうかというアドバイスを受けました。私は迷いましたが、広島商科大学（現広島修道大学）に進みました。大学院では「西独における経営組織法」を勉学致しました。

松尾先生も広島商科大学で教鞭を取られたことがあるとのことでした。そのこともあって、当時広島商科大学長だった古林先生はじめ大学の主だった先生方への紹介状を書いてくださいました。その ため、大学院にはすぐになじむことができました。松尾先生のお気遣いに大変感謝したものです。松尾先生は古林先生のお弟子、私は孫弟子にあたる深いご縁を思いました。

日本経営学会や広島で会合がある折りなど、お言葉をかけて頂いたり、会食をさせて頂きました。私はその都度、再会を喜び先生に勇気づけられました。僅かな間ですが、広島女学院大学短期大学部の講師にも就きました。学生の授業・指導、研究活動、学校運営など教授としてのご苦労も少しは垣間見たつもりでおります。松尾先生の長年のご苦労も大変なものがあったことと偲ばれます。

その後、私は経営学から疎遠となり、郵便の遣り取りだけで、先生とも再会できなくなりました。ただ先生に叱られた「無為徒食はいかん」という言葉が今も心に残っております。いろいろな仕事に手を出しながら失敗ばかりしている私には厳しいお言葉です。

先生のご恩に思いをいたし、「ありがとうございました」とお礼申し上げます。

〒733―0823
広島市西区庚午南居丁目32―25
グレース庚午102号
阪口　構造（38）



追悼文　中村九一郎名誉教授

中村九一郎先生永遠の旅立ち

1998年11月2日（月曜日）の午前8時16分に、京都府立医科大学付属病院で、重症肺炎のため八三歳でなくなられたことを、中村九一郎ゼミの会「九一会」や教え子の皆様にご報告申上げます。

先生は亡くなられる二週間前の10月18日、京都は仁王門通の琵琶湖疎水に面した、春には桜が見渡せ、夏には東山の大文字が見られる別宅「桜亭」に、各地の「九一会」の代表を招き、最後の言葉として「私は大阪経済大学の教え子たちに出会えたことが、一番幸せだった。これからのことは君たちにまかせる」と、慈愛に充ちた声で話されました。先生のメッセージをお伝えします。

先生は兵庫県芦屋市の裕福な家庭に育ち、旧甲南高校から旧東京帝国大学を卒業した優秀な頭脳の持ち主でしたが、常に弱い立場の人の側に立って考えてこられました。その上、思想も実践もすべて信念に忠実に生きて来られました。先生の講義は「歯に衣を着せぬ」内容で、我々のあこがれの的でした。講義は「人生の教え」でもあり、我々の心の支えになりました。また、大阪経済大学の看板教授でした。先生が亡くなられたことは一時代の終りであり、我々が新しい時代を切り開いていくことになります。

1995年11月23日に開催した「中村九一郎傘寿祝賀会」で、先生は参加者に対して「諸君に話したいこと、話しておきたいこと」という標題で講和をされました。身体の弱かった少年の頃の思い出や、シベリヤの捕虜生活のこと、レーニンの『帝国主義論』の欠点はアメリカの分析が欠けていたことを話し、アメリカや、アジアの分析、とくに中国の状況を語りながら、最後に感謝の言葉として、「今いよいよあの世に旅立ちます直前になって、いやもう私は平気でそれを考えています。もう5年前後と、5年超すことはまずないと思っています。医者が間接的にそういいますから大体間違いないだろうということです。5年前後に諸君とこの世のお別れです。こんなにまとまってお目にかかる機会は絶対にないでしょう。諸君らの顔を充分に眺めて、簡単でもお話あって、今日皆さんが設営していただいたこの会を、諸君とともに楽しく過させていただきたい。不充分な私の生涯でございましたが、僕はああいう男やったということだけを諸君の記憶の片隅に留めておいていただきたい。ご静聴、感謝します」とお話になりました（全文は『九一傘寿記念誌』に収録）。

お通夜と告別式には多数のゼミ生が遠方から馳せ参じて参列し、先生を囲む最後の「九一会」になりました。告別式ではお礼の挨拶の中で、先生のお孫さん（聞太君）が「祖父は戦前・戦中・戦後を自分の信念通りに貫いて生き、大阪経済大学の教え子たちに囲まれた幸せな人生であった」と立派な挨拶をされました。

最後にご多忙にもかかわらず、ご葬儀に参列され、その上、お花、お供え、弔電までいただきました大阪経済大学関係者ならびに「九一会」ゼミ生の方々に厚く、この場をかりてお礼申上げます。

尚、中村先生はお亡くなりになりましたが、「九一会」は続けてまいりますので、引き続きよろしくお願いします。

九一会事務局長　大阪府公文書館
中村恵信（40）

いまどきの就職事情

[データ編]

CAMPUS LIFE

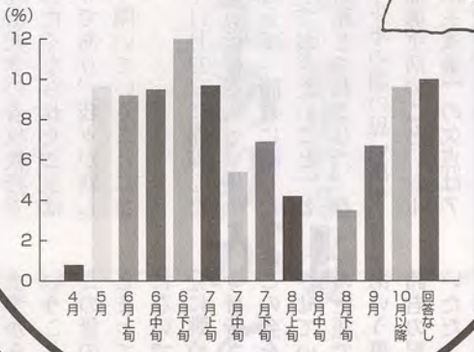
長引く不況下にあって、就職戦線は依然として厳しい状況が続いている。学生たちは現状を十分に認識して、早くから資料請求や会社訪問をスタートするなど、積極的な活動を行っている。今年、就職活動を行った学生たちの動向をアンケートで探ってみた。

平成9年度より就職協定廃止。採用戦線は長期化の一途をたどり学生、採用企業共精神力、体力勝負となってきている。今年度は金融業界の破綻に端を発し、採用数も見切り発車で就職戦線突入。大手企業の従来の業界横並びの採用は崩れ、個別の企業採用戦略に基づいた採用日程、採用手法が選択されるようになった。その結果2月、3月から大手、中堅、中小入り乱れての混線模様となり、学生は「自己分析」「志望動機」も固まらないまま、見えてこない内定に向け大苦戦を強いられた。また、通年採用で新卒採用の「4月定期採用」は有名無実化?も現実となってきている。

内定時期

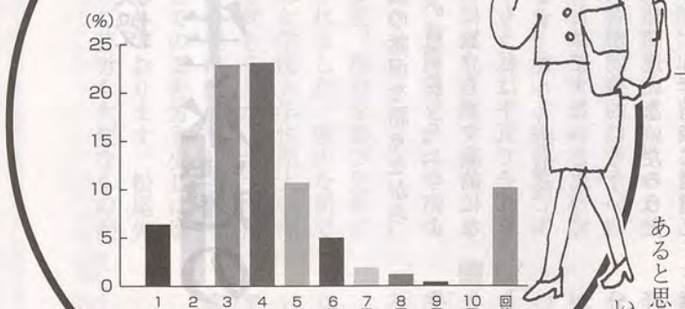


多くの学生が5月から7月下旬までに内定をもらっていることからも出足の早さがわかる。反面、10月以降も9.6%と高い割合になっている。



内定までの会社訪問回数

最初の内定を取得するまでに3、4回企業を訪問しているケースが圧倒的に多いが、10回以上という学生も2.5%あった。





〈最近の学生気質〉

最近の学生気質は、自分の可能性を就職する段階で限定したくないとか、自分の興味がない仕事はしたくないという理由で無業のまま卒業する学生が増加している。通常、公表する就職率は就職希望者に対する就職決定者で表しており、各大学でも同じ算出方法で行っている。本学でもこの算出方法では例年98%の高い就職率となっている。しかし、卒業数に対する就職率となると75%まで低下する（1997年度文部省調査では73%）。

採用担当者が最近よく口にすることは知的バイタリティーの欠如、すなわち自分で物を考える力が不足している学生が多く、職業観が希薄なことである。社会との接点もない義務教育、高校での勉学方法にも原因があると思われるが、将来の進路を持たないまま大学に入学し、そのまま卒業するという学生が増えている現状を見ると、早期進路指導を行い、学生時代に目的意識をもって過ごさせ、職業意識を持たせることが必要である。

就職カレンダー

典型的な大経大生Aさんの例を見てみましょう

9月

- インターンシップなどに挑戦

10月

- 第1回就職セミナー（就職活動の進め方）
- 第2回就職セミナー（企業が求める人物像）

11月

- 第3回就職セミナー（業界展望）
- 自己分析・業界研究を開始

12月

- 求職登録カード・進路調査を就職部に提出
- 女子学生就職教育講座（就職用メーク・面接マナー講座他）
- SPI・適正検査模擬テスト
- 第4回就職セミナー（自己分析の進め方）
- 就職情報誌が送られてくる＝業界・企業研究
- 資料請求はがきの送付、メールエントリー開始

1月

- 期末テスト＝出来るだけ科目を残さずに
- 自己PR・志望動機をまとめ、就職ノートの作成

2月

- 学内身体検査
- 履歴書を完成する
- 資料請求を月末までに終了
- SPI集中講座受講
- 一部の会社説明会が始まる
- 学内企業セミナー実施

3月

- 学内企業セミナー・就職情報誌の合同セミナーに参加
- 店舗見学、会社訪問、OB・OG訪問開始
- 大手企業で就職試験開始
- 履歴書を練り直し完成、志望動機、志望職種の絞り込み
- 送付されてきたエントリーシート・カードの提出
- 資料未到着の会社へ電話で再請求と同時に会社訪問日程も確認
- 成績発表

4月

- 履修登録
- 会社説明会、面接など本格化
- 履歴書、論作文の添削のため就職部へ
- 毎日会社訪問、説明会。初めての面接で頭が真っ白になり失敗
- 面接スケジュールも詰まり始める

5月

- 一部企業で内々定が出始める
- 就職部で相談・企業を紹介してもらう
- 合同説明会で2社エントリー成功
- 面接日が2社バッティングし就職部に相談
- 1社から家へ電話で内定の連絡

6月

- 本命の会社から一次面接の連絡が入る。就職部で昨年の報告書閲覧。
- 第2志望の会社からも翌日面接日と連絡が入る
- 先輩と会い、やり甲斐がある会社だと薦められる
- 待望の第1希望の会社から2次面接の連絡。
- 最終面接で開き直って受け、うまくいく
- 第1希望の会社から合格の連絡が入る

7月

- 内定通知と内定承諾書が送られてくる
- 就職部へ内定の結果報告に行く
- 8月1日に内定式の連絡が入る

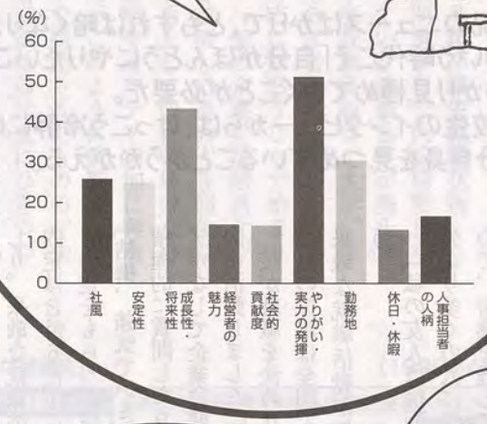
8月

- 内定者懇談会出席
- 就職部へ就職決定届提出

就職先を決定した理由

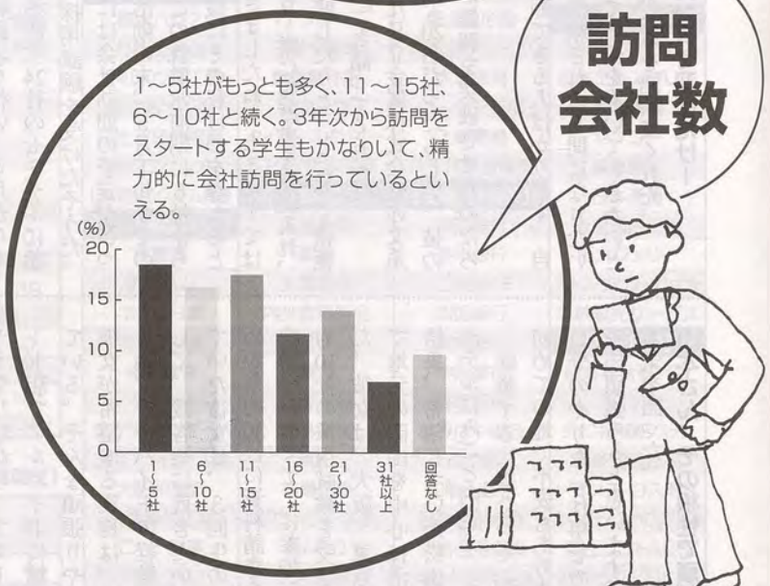
「やりがい」や「成長性、将来性」が大きな割合をしめている。大企業・安定志向より、事業の中身とそこで自分の能力を生かせるかどうかがポイントとなる。





訪問会社数

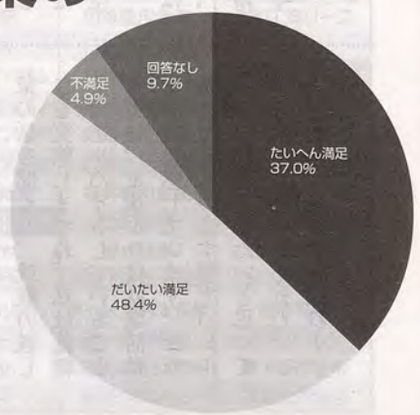
1～5社がもっとも多く、11～15社、6～10社と続く。3年次から訪問をスタートする学生もかなりいて、精力的に会社訪問を行っているといえる。



就職決定企業の満足度

「たいへん満足」と「だいたい満足」を合わせると85.4%と高い数値となった。やりたい仕事を絞り込み、真剣に就職活動を行っていることがわかる。





いまどきの就職事情

[学生インタビュー]

CAMPUS LIFE

不況のニュースばかりで、ともすれば暗くなりがちだが、こういう時代こそ「自分がほんとうにやりたいこと」をしっかり見極めていくことが必要だ。在校生のインタビューからは、けっこう冷静に時代と、自分自身を見つめていることがうかがえる。

就職とは、「自分を磨いていくこと」です



堀口 真伍君
経営学部第1部経営学科

堀口君は2回生の頃から商社の営業職に興味を感じていたそうだ。3回生の1月下旬から約120社に資料請求を行い、4月から本格的に会社訪問を始め、24社のセミナーに参加し、内、20社の採用試験を受けたそうだ。4月と5月の手帳には会社訪問の予定がびっしり。果敢な就職活動の末、5月下旬までの内定は合計6社。この就職氷河期に6社から内定をもらった彼にその秘けつを尋ねると「結構、強気でいきましたね。セミナーでは積極的に質問したり、常に履歴書を鞄に入れ、アポなしで企業訪問したりと、とにかく積極的に活動しました。」と語ってくれた。

彼が就職を決めた日立金属株式会社の文系からの採用は全国で20名だったらしい。彼の果敢な就職活動が難関を突破させたのだろう。

「私の友人は信頼できる人ばかりです。自分より多くの人に信頼される人間になりたいので、営業を通して自分を磨いていきたいと思います。」と意気込みを語ってくれた。

堀口君、未来へ向かって羽ばたけ！

就職とは、「社会人の第一歩」ですね



山本 智子さん
経営学部第1部経営情報学科

大学の近くで下宿している彼女は、準公式野球部のマネージャーをしながら、ファーストフード店でアルバイトに精を出している。そんな頑張りやさんの彼女が希望する業種は、サービス業。アルバイトの経験を生かして、接客業に就きたいと思っていた彼女は、3回生の3月初めから約30社に資料請求を行い、約20社のセミナーに参加し、内、約10社の採用試験を受けたそうだ。彼女は、大阪、東京、そして地元の岡山を中心に活動した結果、希望していた松山全日空ホテルにみごと内定。

就職するに当たって「愛媛は初めての地で不安もありますが、自分のやりたい仕事なので、精一杯頑張ろうと思います。」とやる気を語った。

山本さん、その根性で頑張れ！

就職とは、「責任」かなぁ…



大谷 美奈子さん
経営学部第1部経営学科

現在3回生である大谷さんは、スーパーと本学の就職部の2つのアルバイトに精をだしている。彼女は3回生ということもあり、まだ就職のことは身近に感じていなく、今は学生生活をエンジョイしている様だ。

就職に対する印象を尋ねると、「回りの友達もまだ就職のことは考えていない様で話にもあまりないですね。でも先輩の話を聞くと、就職の厳しさを実感しますね。私は就職部でアルバイトしていることもあり、友達よりは就職活動を身近に感じています。まだ漠然としていますがアパレル関係の仕事がしたいと思っています。」と話してくれた。

大谷さん、来年は頑張れ！

就職

◎1998年卒業生就職状況

会社訪問解禁日や内定開始日などを定めていた就職協定が廃止された'97年度就職戦線は、大学、企業、学生の3者とも採用活動自由化への対応に戸惑うなかで始まりました。一部の企業が採用スケジュールを前倒しで進め、3回生は春休みを返上して情報収集のための会社訪問やセミナー参加に奔走しました。このように就職戦線は混迷の中で開始されたものの、企業の採用意欲は前年度にひきつづき旺盛で、本学への求人件数は'96年度の3、509社から3、742社と6・6%増加しました。また、就職率も98・5%（男子98・4、女子99・3）と前年度をわずかながら上回り、特に女子学生の就職率が初めて男子を超えました。

以上のように'98年3月卒業生のうち、積極的に就職活動を行った者はほぼ全員が就職できました。しかし、'99年3月卒業予定者の就職は景気低迷の影響をうけ、四大卒（文系）の有効求人倍率も1・0を割り込むなど雇用環境が悪化するなかで苦戦を強いられています。

【業種・規模別就職状況】　（1998年4月1日現在）

業種	人数	規模 大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明
農林・水産・鉱業	1	0	0	0	0	1
建設業	34	15	8	10	0	1
製造業	206	82	53	66	1	4
卸売業	258	43	114	99	1	1
小売業	172	68	56	44	0	4
金融・保険業	104	81	19	2	0	2
不動産業	34	15	8	11	0	0
運輸・通信業	33	15	10	7	1	0
サービス業	189	43	38	69	0	39
公務員	37	国家公務員12　地方公務員25				
その他	1	1	0	0	0	0
合計	1,069	363	306	308	3	89
構成比（%）	100.0	34.0	28.6	28.8	0.3	8.3
（前年度）		(32.2)	(28.4)	(33.2)	(0.3)	(5.9)

【地域・規模別就職状況】　（1998年4月1日現在）

		大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明	計
北海道・東北		1	1	1		1	4
関東	東京	109	64	22	0	2	197
	その他	11	4	5	0	0	20
中部		14	12	10	0	4	40
北陸		6	10	6	1	3	26
近畿	三重					2	2
	滋賀	3	2	8	0	6	19
	京都	14	7	30	0	4	55
	大阪	128	144	148	1	33	454
	兵庫	47	39	37	0	15	138
	奈良	3	1	10	0	6	20
	和歌山	7	3	7	0	3	20
中国		12	7	15	0	5	39
四国		6	11	9	0	4	30
九州		2	1	0	1	1	5
合計		363	306	308	3	89	1,069

※大企業:資本金10億以上　中堅企業:資本金1億以上10億未満　中企業:資本金1千万以上1億未満
小企業:資本金百万以上1千万未満　規模不明:資本金で分類できない企業

【おもな就職先】　（1998年4月1日現在）

【建設】	日本デジタル研究所	和歌山近鉄百貨店	オリエントコーポレーション
積水ハウス	デンソー	銀座山形屋	【運輸】
竹中工務店	日産自動車	西松屋チェーン	エイチ・アイ・エス
大和ハウス工業	島津製作所	大塚家具	近鉄エキスプレス
高砂熱学工業	大倉工業	コーナン商事	西濃運輸
日比谷総合設備	タイガースポリマー	上新電機	センコー
協和エクシオ	フクビ化学工業	八千代無線電機	東急観光
日本電気システム建設	【卸売】	【金融・保険業】	日本通運
【製造】	良品計画	池田銀行	阪急国内空輸
伊藤園	国分	香川銀行	阪九フェリー
伊藤ハム	三陽商会	三和銀行	フットワークインターナショナル
ネスレ日本	内外衣料製品	四国銀行	名鉄観光サービス
タカラブネ	スズケン	島根銀行	【サービス】
住江織物	藤井	中国銀行	船井総合研究所
ラピーヌ	三愛石油	鳥取銀行	アイネス
タカラスタンダード	小林産業	なみはや銀行	ダイワボウ情報システム
立川ブラインド工業	英和	びわこ銀行	都築通信技術
大昭和製紙	神綱商事	和歌山銀行	トランス・コスモス
扶桑薬品工業	グローリー商事	尼崎信用金庫	日本システムディベロップメント
ロート製薬	NAITO	淡路信用金庫	富士ソフトABC
アサヒペン	日邦産業	大阪市信用金庫	オリックス・アルファ
大陽東洋酸素	日伝	きのくに信用金庫	カナモト
バンドー化学	橋本総業	京都信用金庫	川鉄リース
栗本鐵工所	第一興商	但陽信用金庫	大和工商リース
トステム	たけでん	日新信用金庫	ビケンテクノ
アルインコ	富士通ビジネスシステム	八光信用金庫	【公務】
東洋アルミニウム	オートバックスセブン	播州信用金庫	郵政省近畿郵政局
イトーキクレビオ	キャノンコピア販売	姫路信用金庫	大阪府警察本部
三和シャッター工業	ダイワラクダ工業	兵庫信用金庫	京都府警察本部
ノーリツ	三菱製紙販売	福井信用金庫	兵庫県警察本部
クボタ	【小売】	大和證券	三重県警察本部
島精機製作所	イズミヤ	野村證券	相生市役所
マキタ	ジャスコ	太陽火災海上保険	井原市役所
大真空	セブンイレブン・ジャパン	第一火災海上保険	堺市役所
岩崎電気	ダイエー	第一生命保険	坂出市役所
日本アイ・ビー・エム	マイカル	大阪府民共済生活共同組合	東大阪市役所
日東工業	ユニー	東芝クレジット	福知山市役所

UNIVERSITY NEWS

入試

1998年度入試結果

◎1998年度推薦入学選考結果

1997年11月14日(金)に特技(スポーツ)推薦を、12月7日(日)に普通科・商業科推薦を実施しました。結果は次頁の表の通りです。

◎1998年度一般入試結果

【全般的な入試環境】

1998年度入試は数年来続く不況のあおりを受け、受験生に経済的・心理的な影響を及ぼした入試でした。「国公立大学志向」や「併願校数の絞り込み」「地元志向」が顕著に現れ、また、昨年秋の大型金融機関の倒産など経済不況のニュースも受験生に経済・経営学部系統の大学を敬遠させる要因になったのかも知れません。学校基本調査によりますと、1997年度の私立大学の志願者数は約353万7千人で前年度に比べ7・7%減少し、経済・経営学部系統の志願者数は約102万人で前年度に比べ14・1%減少しています。経済・経営系の専門大学である本学にとっては非常に厳しい状況の下、1998年度入学試験を実施いたしました。

【志願者・合格者状況と倍率】

一般入試・推薦入試の志願者総数は前年度よりも3、109名(△21・8%)減少し11、164名でした。2年連続しての大幅な減少となりました。一般入試の志願者総数は、第1部では2、411名(△19・2%)減少し10、130名、第2部では623名(△54・5%)減少し521名となりました。

A方式(英語1教科)入試の志願者数は、897名で528名(△37・1%)減少し、合格者数は225名で45名(△16・7%)減少しました。倍率は5・2→4・0倍へ下がりました。

B方式(3教科)入試の志願者数は、第1部合計6、925名で1、000名(△12・6%)減少しました。また、第2部は521名で623名(△54・5%)と半減しました。第1・2部の合計では7、446名で1、623名(△17・9%)減少しました。第1部の合格者数は、2、290名で152名(△6・2%)減少しました。倍率は3・1→2・9倍と少し低くなりました。

C方式(2教科)入試の志願者数は、1、503名で573名(△27・6%)減少し、合格者数は254名で92名(+56・8%)増加しました。志願者数が減少し、合格者数が増加しましたので倍率は12・2→5・6倍と半減しました。

大学入試センター試験利用の志願者数は、805名で310名(△27・8%)減少し、合格者数は468名で200名(△29・9%)減少しました。志願者数、合格者数とも減少しましたので、倍率は1・7→1・7倍と増減はありませんでした。

大学入試センター試験利用を除き、全ての方式で倍率は下がり、結果的に「広き門」となりました。

【現役・浪人別状況】

第1部の現役志願者数は前年度の7、332名→6、593名へ減少しましたが、現役占有率は58・5%→65・1%(+6・6%)へ上がりました。また、現役合格者数は前年度の1、759名→1、880名へ増加し、現役占有率も49・7%→58・1%(+8・4%)へ上昇しました。

現役占有率を方式別に検証しますと、A方式の志願者段階では7

4・9%(+6・7%)に増加し、合格者段階でも68・9%(+11・1%)と大幅に増加しました。B方式でも、志願者では64・2%(+7・5%)に増加し、合格者では57・1%(+8・7%)と前年度を大きく上回りました。C方式の志願者は63・4%(+4・9%)で、合格者では61・4%(+11・4%)と大幅に増加しました。センター試験の志願者は64・6%(+5・8%)で、合格者では55・8%(+5・1%)と増加しました。

合格者段階における現役占有率の上げ幅が志願者段階におけるそれを上回り、近年の現役生の健闘と同時に、浪人生の減少が顕著に現れてきました。

【女子受験生について】

第1部の女子志願者数は1、047名→917名へ減少しましたが、女子占有率は8・3%→9・1%(+0・8%)へ上がりました。また、女子合格者数は440名→429名へ若干減少しましたが、女子占有率は12・4%→13・3%(+0・9%)へ上昇しました。つぎに、第1部の女子合格率は43・7%→49・2%(+5・5%)へ上昇し、約2人に1人が合格を勝ち取ったようです。一方、男子の合格率も28・0%→31・6%(+3・6%)へ上がり、約3人に1人が合格したことになります。特に近年の女子の健闘ぶりは目覚ましく、3年前(1995年度)の女子合格率30・7%から比べると約20%も上昇しています。女子の4年制大学への進学率の高まりとともに、「実学志向」「資格志向」「就職を意識した大学選び」等が学習に対する動機づけとなり、地道に努力した結果だと思われます。

A方式入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	志願者 浪人	志願者 その他	志願者 合計	合格者 現役	合格者 浪人	合格者 その他	合格者 合計	倍率	合格最低点(200点満点)
経済	357 (24)	109 (4)	4 (0)	470 (28)	89 (9)	26 (1)	2 (0)	117 (10)	4.0	140
経営	201 (37)	72 (3)	2 (1)	275 (41)	40 (13)	27 (3)	1 (1)	68 (17)	4.0	142
経営情報	114 (26)	37 (2)	1 (0)	152 (28)	26 (9)	14 (1)	0 (0)	40 (10)	3.7	139
総合計	672 (87)	218 (9)	7 (1)	897 (97)	155 (31)	67 (5)	3 (1)	225 (37)	4.0	−

B方式入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	志願者 浪人	志願者 その他	志願者 合計	合格者 現役	合格者 浪人	合格者 その他	合格者 合計	倍率	合格最低点(400点満点)
経済	2,087 (140)	992 (44)	19 (0)	3,098 (184)	683 (63)	432 (32)	6 (0)	1,121 (95)	2.7	240
経営	1,455 (180)	834 (42)	6 (3)	2,295 (225)	398 (92)	327 (26)	1 (1)	726 (119)	3.0	257
経営情報	906 (137)	616 (33)	10 (4)	1,532 (174)	227 (54)	214 (14)	2 (1)	443 (69)	3.3	244
総合計	4,448 (457)	2,442 (119)	35 (7)	6,925 (583)	1,308 (209)	973 (72)	9 (2)	2,290 (283)	2.9	−

B方式入試　志願者・合格者状況(第2部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	志願者 浪人	志願者 その他	志願者 合計	合格者 現役	合格者 浪人	合格者 その他	合格者 合計	倍率	合格最低点(400点満点)
経済	99 (6)	147 (5)	4 (0)	250 (11)	71 (5)	116 (4)	2 (0)	189 (9)	1.2	163
経営	105 (11)	163 (3)	3 (0)	271 (14)	81 (9)	117 (2)	1 (0)	199 (11)	1.2	162
総合計	204 (17)	310 (8)	7 (0)	521 (25)	152 (14)	233 (6)	3 (0)	388 (20)	1.2	−

C方式入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	志願者 浪人	志願者 その他	志願者 合計	合格者 現役	合格者 浪人	合格者 その他	合格者 合計	倍率	合格最低点(200点満点)
経済	577 (27)	313 (11)	14 (0)	904 (38)	52 (6)	35 (0)	1 (0)	88 (6)	9.8	140
経営	253 (31)	122 (3)	5 (0)	380 (34)	67 (10)	31 (1)	0 (0)	98 (11)	3.7	123
経営情報	123 (19)	93 (8)	3 (0)	219 (27)	37 (10)	30 (3)	1 (0)	68 (13)	3.1	123
総合計	953 (77)	528 (22)	22 (0)	1,503 (99)	156 (26)	96 (4)	2 (0)	254 (30)	5.6	−

センター試験利用入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	志願者 浪人	志願者 その他	志願者 合計	合格者 現役	合格者 浪人	合格者 その他	合格者 合計	倍率
経済	234 (28)	127 (11)	3 (0)	364 (39)	122 (16)	94 (8)	1 (0)	217 (24)	1.7
経営	162 (49)	81 (11)	2 (0)	245 (60)	88 (31)	58 (7)	0 (0)	146 (38)	1.7
経営情報	124 (31)	70 (7)	2 (1)	196 (39)	51 (12)	54 (5)	0 (0)	105 (17)	1.9
総合計	520 (108)	278 (29)	7 (1)	805 (138)	261 (59)	206 (20)	1 (0)	468 (79)	1.7

1998年度推薦入学選考結果　(　)は女子内数

推薦種別	学部	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数
特技	経済1部	58(0)	58(0)	30(0)	30(0)
	経営1部	53(1)	53(1)	33(0)	33(0)
	経営情報	9(0)	9(0)	7(0)	7(0)
	合計	120(1)	120(1)	70(0)	70(0)
普通科対象	経済1部	158(47)	158(47)	158(47)	158(47)
	経営1部	81(20)	81(20)	81(20)	81(20)
	経営情報	62(23)	62(23)	62(23)	62(23)
	合計	301(90)	301(90)	301(90)	301(90)
商業科対象	経済1部	20(8)	17(6)	16(5)	16(5)
	経営1部	37(18)	34(17)	34(17)	34(17)
	経営情報	33(14)	32(14)	32(14)	32(14)
	経済2部	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	経営2部	2(0)	2(0)	2(0)	2(0)
	合計	92(40)	85(37)	84(36)	84(36)
総合計	経済1部	236(55)	233(53)	204(52)	204(52)
	経営1部	171(39)	168(38)	148(37)	148(37)
	経営情報	104(37)	103(37)	101(37)	101(37)
	経済2部	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	経営2部	2(0)	2(0)	2(0)	2(0)
	合計	513(131)	506(128)	455(126)	455(126)

1999年度入学試験概要

◎1999年度入試制度の変更点

①センター試験の利用科目・配点の変更

◎国語Ⅰ、国語Ⅰ・Ⅱどちらにも《近代以降の文章》を利用

◎外国語の配点200点を100点満点に換算。

◎3教科型の均等配点

◎理科の利用も可能

②C方式入試で第2部の募集を行います。

◎3月にも受験のチャンスあり

経済学部　第2部　15名

経営学部　第2部　15名

※試験科目・配点は第一部に同じ

③B方式で第2部の募集人数を変更

経済学部　第2部　90名→75名

経営学部　第2部　90名→75名

◎一般入学試験概要・推薦入学募集概要

68・69頁の表をご参照ください。

◎推薦入学(指定校)説明会の開催

入試部では普通科対象推薦入学説明会と同女子高等学校指定校説明会に、推薦依頼校301校の進路指導担当者を招き、次のとおり実施しました。

〔普通科対象推薦入学説明会〕

6月23日(火)　高松市
高松グランドホテル
徳島・香川・愛媛各県の高等学校
対象　16校

6月24日(水)　岡山市
ホテルニューオカヤマ
岡山・広島・島根・鳥取・山口各県の高等学校対象32校

6月29日(月)　京都市
新都ホテル
京都・滋賀・福井・石川・富山各県の高等学校対象　50校

7月3日(金)　神戸市
神戸東急イン
兵庫県の高等学校対象　78校

7月7日(火)　大阪市
東洋ホテル
大阪・奈良・和歌山・三重各県の高等学校対象　97校

〔女子高等学校指定校説明会〕

7月10日(金)　大阪市
東洋ホテル
富山・石川・静岡・京都・大阪・兵庫・和歌山・岡山・広島・山口・愛媛各県の女子高等学校対象28校

1999年度推薦入学募集概要

	特技(スポーツ)推薦入学	商業科対象推薦入学	普通科対象推薦入学(指定校制)
募集学部・人員	経済学部　第1部　35名 経営学部　第1部　20名 経営情報学部　15名	経済学部　第1部　20名 経営学部　第1部　40名 経営情報学部　20名 経済学部　第2部　10名 経営学部　第2部　10名	経済学部　第1部　155名 経営学部　第1部　75名 経営情報学部　55名 ※経済学部155名のうち20名は女子高等学校に推薦を依頼
選考方法	①書類選考　②小論文　③面接	①書類選考　②小論文	①書類選考　②小論文
出願期間	'98年10月29日(木)～11月5日(木)締切日消印有効	'98年11月19日(木)～27日(金)締切日消印有効	'98年11月19日(木)～27日(金)締切日消印有効
選考日・会場	'98年11月13日(金)　本学	'98年12月6日(日)　本学	'98年12月6日(日)　本学
合格発表	'98年11月21日(土)	'98年12月12日(土)	'98年12月12日(土)

KEIDAI CAMPUS '98
経大キャンパス'98

今年のキャンパス見学会(受験生のための大学見学会)は、7月22日(水)にACtⅠを実施し、9月26日(土)にACtⅡを行いました。

見学会当日は、遠くは北海道・東京・福岡・愛媛・高知・香川・山口・鳥取など各地から多くの受験生や保護者が来学し、ミニ講義に始まる一連の楽しいスケジュールに熱心に参加する姿が見られました。(参加者842名)

学園ニュース

1999年度一般入学試験概要

	A方式(英語1教科)入試	B方式(3教科)入試	C方式(2教科)入試	大学入試センター試験利用
募集学部・学科募集人員	経済学部　第1部　経済学科 50名 経営学部　第1部　経営学科 30名 経営情報学部　経営情報学科 20名	経済学部　第1部　経済学科 355名 経営学部　第1部　経営学科 230名 経営情報学部　経営情報学科 155名 経済学部　第2部　経済学科 75名 経営学部　第2部　経営学科 75名	経済学部　第1部　経済学科 50名 経営学部　第1部　経営学科 30名 経営情報学部　経営情報学科 20名 経済学部　第2部　経済学科 15名 経営学部　第2部　経営学科 15名	経済学部　第1部　経済学科 35名 経営学部　第1部　経営学科 25名 経営情報学部　経営情報学科 15名
試験日	1999年2月1日(月)	2月9日(火)経済学部(第1部・第2部) 2月10日(水)経営学部(第1部・第2部) 2月11日(祝)経営情報学部	1999年3月6日(土)	1999年1月16日(土)・17日(日)
試験地	大阪(本学)・岡山・名古屋	大阪・東京・名古屋・金沢・姫路・高松・広島・福岡	大阪(本学)・岡山・名古屋	
試験科目 利用科目(センター)	教科：英語　科目：英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング　配点：200点　時間：80分(1時限のみ) ※解答はオール・マーク方式	教科：外国語　科目：英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング・ライティング　配点：150点　時間：60分 教科：国語　科目：国語Ⅰ・Ⅱ(漢文を除く)　配点：150点　時間：60分 教科：選択(1教科)　科目：政治・経済、日本史B、世界史B、地理B、数学Ⅰ・A(数と式・数列)から1科目を選択　配点：100点　時間：60分 ※解答はオール・マーク方式	教科：外国語　国語(1科目)　科目：英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング・ライティング、国語Ⅰ・Ⅱ(古文・漢文を除く)から1科目を選択　配点：100点　時間：60分 教科：地歴数学(1科目)　科目：日本史B、世界史B、数学Ⅰ・A(数と式・数列)から1科目を選択　配点：100点　時間：60分 ※解答はオール・マーク方式	教科：国語　(国語Ⅰ(近代以降の文章)、国Ⅰ・Ⅱ(近代以降の文章))から1科目　配点：100点 教科：外国語(英語・独語・仏語・中国語から1科目)　配点：100点 教科：地歴、公民、数学、理科から1科目　配点：100点 ※大学入試センター試験を利用して行う ※国語は、特定分野(近代以降の文章)を利用 ※外国語のセンター試験の配点200点を100点満点に換算。 ※地歴、公民、数学、理科について2教科・科目以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用します。 ※個別学力検査等は課しません。
出願期間	1999年1月6日(水) ～22日(金)締切日消印有効	1999年1月6日(水) ～26日(火)締切日消印有効	1999年2月12日(金) ～24日(水)締切日消印有効	1999年1月6日(水) ～29日(金)締切日消印有効
合格発表	1999年2月6日(土)	1999年2月18日(木)	1999年3月12日(金)	1999年2月18日(木)

クラブ戦績　1998. CIRCLE

体　育　会

クラブ名	大　会　名	成　　績
アイススケート部	97関西インカレスピードスケート競技大会	総合3位
	3000m	3位(営4森)
アメリカンフットボール部	西日本学生アメリカンフットボール大会	3回戦　関西学生リーグ3部
合気道部	全国学生合気道演武大会出場	
カヌー部	関西学生カヌー選手権大会　K-4(1000m)	2位(営4山本君　済4伊藤君　済4小林君　営3山崎君)
	全日本学生カヌー選手権大会　K-1リレー	4位(済4伊藤君　営3山崎君　済3武内君　済1林君)
空手道部	西日本学生空手道選手権大会	ベスト32
剣道部	全日本大会出場	
	大阪剣道選手権優勝大会	3位(営3出浦君)
	関西学生剣道優勝大会	2位　全日本出場
競技スキー部	97全関西学生選手権	2部3位
	97全日本学生選手権　3部	18位
硬式テニス部	関西学生対抗リーグ　5部	優勝(4部　昇格)
硬式野球部	関西六大学野球春季リーグ戦	3位(冬)　5位(秋)
ゴルフ部	関西学生秋季リーグ4･5･6部	準優勝
		ベストグロス　最優秀選手賞　営1河合君
自転車部	全日本学生サイクルサッカー選手権	3位(営3京徳君　済3久語君)
自動車部	全日本学生ジムカーナ選手権大会	12位
	六大学ダートトライアル選手権	1位
重量挙部	西日本新人戦　69kg級	3位(済1中野智也君)
	77kg級	2位(済2佐伯愼一君)
柔道部	全日本学生体重別選手権大会出場　90kg級	寒川･前野
	関西学生柔道優勝大会	ベスト8
	全日本Jr体重別選手権大阪大会	100kg超級　優勝(済1橘)
		90kg級　2位(済1長谷川)
		81kg級　2位(営2林)
		60kg級　3位(済2松田)
少林寺拳法	全日本学生大会(エントリー)	
準硬式野球部	近畿六大学準硬式野球春季リーグ	3位
	全日本準硬式野球大会出場	
水泳部	第72回関西学生選手権水泳競技大会3部	6位
		男50m自由2位向井　女200m自由2位大谷
	関西学生春季水球リーグ戦	2部4位
サッカー部	関西学生サッカー春季リーグ	2部Aブロック2位
		ベストイレブン　椎本･笹山･深瀬
ソフトテニス部	関西学生春季リーグ	2部優勝　1部昇格
	全日本学生大学対抗選手権シングル大会出場･8月	
チアリーダー部	関西チアリーディング選手権大会	19位
	JAPAN　CUP　オールスター出場	営3　和田愛子さん
日本拳法部	龍峰杯優勝大会　弐段の部	ベスト8
	西日本学生拳法選手権大会団体戦出場	
バドミントン部	関西学生バドミントン春季･秋季リーグ戦1部	6位
	全日本学生バドミントン選手権大会出場	

クラブ戦績　1998. CIRCLE

バスケットボール部	全日本バスケットボール大会出場	
	大阪総合バスケットボール選手権大会	準優勝
	関西学生バスケットボールリーグ戦	2位(春)　4位(秋)
	関西学生バスケットボール新人戦	優勝
バレーボール部	関西学生春季リーグ　3部	優勝　2部リーグ昇格
	関西学生秋季リーグ　2部	5位
ハンドボール部	関西学生春季リーグ　1部	4位
	関西学生トーナメント選手権大会	3位
	全日本学生ハンドボール選手権大会出場	
陸上競技部	関西学生駅伝(丹後)	7位(97年)　12位(98年)
	関西学生陸上競技対抗選手権2部　砲丸投優勝　営3椿井　円盤投優勝　営4原田　ハーフマラソン優勝　済3村田	
	大阪学生陸上競技対校選手権　優勝100m:営4堂岡　円盤投優勝　営4原田　砲丸投:済3椿井	
	大阪学生陸上競技対校選手権大会出場:鎌谷君	
ボクシング部	関西学生春季リーグ　2部	5位
洋弓部	関西学生アーチェリーリーグ戦	男子2部優勝　女子1部3位
ヨット部	大阪府民体育大会　成年女子スナイプ級	1位(済4西川さん　済4卯谷さん)
	成年男子470級	2位(営3金子君　OB大向さん)
ラグビー部	関西学生Aリーグ	6位(97年)　8位(98年)

独　立　総　部

クラブ名	大　会　名	成　　績
吹奏楽総部	第30回定期演奏会:6月　第20回ウィンターコンサート:11月	

芸　術　会

クラブ名	大　会　名	成　　績
映画研究部	アマチュア映像フェスティバル:3作品入選　全関西学生映画大会:入選　第23回ごくつぶしのタベ	
演劇研究部	新人公演:11月(大楠祭)	
ギタークラブ	ジョイントコンサート:5月　第32回定期演奏会:11月	
吟詠部	第31回経･岡交観吟詠発表会:6回　学内吟詠発表会:10月	
グリークラブ	大阪府合唱祭35年連続出場　ジョイントコンサート:7月　第34回定期演奏会:12月	
軽音楽部	定期演奏会:6月　第19会ウインターコンサート:11月	
茶道部	秋季単独茶会:11月　大楠祭野点:11月	
写真部	卒業生展:12月	
美術研究部	春季合同部展:6月　秋季部展:10月	
邦楽部	第4回春季演奏会:6月　第32回定期演奏会:11月	
マンドリンクラブ	第28回大阪学生マンドリンクラブ連盟合同演奏会:4月　第33回定期演奏会:10月	
落語研究部	ワキャワキャライブ5:10月	

学　術　会

クラブ名	大　会　名	成　　績
ワープロタイピング部	合宿(鳥取):8月	
旅行研究会	合宿(マレーシア):9月	
広告研究会	大楠祭トークショウ　笑福亭鶴瓶企画	
パソコン部	98年度創部　顧問　二宮正司先生	

TOPICS
トピックス

勲五等宝冠章受勲
松浦圭子（13）



ご受勲おめでとうございます。

大城戸武子（13）

松浦圭子女史は現在、学校法人大阪経済大学の監事として、ご尽力賜ると共に、大阪経済大学税理士大樟会では広報理事の副会長として創刊号よりそのユニークな発想でご協力を頂きました。現在、ご子息は税理士として立派に後継を果され、娘婿は公認会計士としてご活躍という会計人一家でいらっしゃいます。

数年前「全国婦人税理士連盟」の広報部から松浦圭子女史のプロフィール記事のご依頼を受け、拙文を掲載させて頂いたことがありましたが、当時の記事をここに転載して女性の職業会計人としてのご活躍ぶりの一端をご披露したいと思います。

松浦圭子相談役のプロフィール

学生時代は、ひときわ神秘的な面差しが皆の憧れの的。学徒勤労動員で空襲の中を勉学ならぬ工場にも通った仲間である。

月日が流れて同業となり、婦税連箱根創立総会で1回生として共に気炎をあげて以来の親交は、広島の藤岡倫子さんと共に、三羽鳥（白鳥）を任じている。

責任感が強く有言実行型。細心の努力で大きな夢を叶えてしまう不思議な人。

25回記念総会は開催地大阪で支部長としての采配ぶりも見事な上に、吉野山の懇親会では人形浄瑠璃阿波鳴門のお弓に扮して大熱演。セリフ忘れもご愛嬌。これが婦税連手作り演芸会の元祖となった。そして彼女が婦税連にとっぷりハマリ込んだのもこの頃からと記憶している。

研究発表の過程で推敲を重ね揚げ句に飛蚊症を患ったり、30年史「歩みそして歩み」の出版委員長として研究報告を主軸とした冊子を完成させたり、婦税連との関わりはいっそう強くなっていく。その後、35回総会の記念行事は、全国会長としてリーダーシップを発揮、①租税手続法Q&Aの出版。②シンポジウム（21世紀を支える女性と税）の開催と、いずれも内外の反響は今もなお大きい。余談ながら行事③「ヨーロッパ福祉と税制視察の旅」では終始同室で楽しい旅となったのも、彼女の温かいお人柄ゆえと感謝している。

仕事面では、出勤7時30分（！）松下電器産業K・Kの会計監査人としても超多忙の中を会計士協会本部理事も歴任され、特筆すべきは、職業会計人初の女性として大蔵省の企業会計審議会委員にご就任、中曾根、竹下、宇野、海部各内閣に渉って重責を果されたことである。

最近は三羽烏も時々小旅行でリフレッシュ。まだまだ健在。

一木会（主に資産税勉強会）は、元支部長の故上野智荷子さんを失ったあとも折りにふれて資料交換や健康談義に花を咲かせているが、これからも静かにリーダーシップをとる松浦圭子さんありてこそ。

高名な占術家は、この人を観じて〝天空にきらめく孤高の星〟と称した。妙に納得出来る。

事務局長交替のご挨拶

前事務局長　陰下嘉典（16）

会員の皆様には愈々ご清祥のこととお喜び申しあげます。

私は、皆様方の温かいご支援・ご協力を得まして、永年務めさせていただきました同窓会事務局のお世話を、去る3月末を以って退任させていただきました。

ここに、在任中に皆様方から賜りましたご厚情に対し心よりお礼を申し上げます。

顧みますれば、昭和62年に前同窓会会長磯野斉氏（3）の引きを得て、同窓会事務局長に就任させていただきましたが、瞬く間に10年の歳月が過ぎ、時の流れの速さに驚いている次第です。

しかし、その間は、私の人生にとって忘れることの出来ない想い出多い期間でもありました。

同窓会総会に会員諸兄姉多数のご参会を得、また、各地の支部総会、職域会、同期会等にお招きをいただき、多くの方々に心温まるご親交をいただきましたこと等々は楽しい想い出の数々であります。

なお、萩原市郎会長（10）から副会長として引き続き同窓会運営に協力するようにとの指示もあり、微力乍ら期中の任務を全うさせていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願い申しあげます。

最後になりましたが、母校並びに同窓会のより一層の発展と皆々様の益々のご多幸・ご健勝を祈念して退任のご挨拶といたします。

新事務局長　水納敏也（25）

会員の皆様にはいよいよご健勝にそれぞれのお立場でご活躍のことと心からお喜び申し上げます。小生、この度事務局長に就任いたしました25回卒の水納と申します。ここに謹んでご挨拶申し上げます。

陰下前事務局長は、皆様よくご存じのように本会発展のために十余年もの長い間つとめられ、実績も功績もある方でございまして、後を引き受けるには非才で、経験も乏しく、万事不行き届きの事とは存じますが母校をそして同窓会を愛する気持ちはだれにも負けないと自負しております。同窓会の発展、充実に誠心誠意つとめたいと思います。最近、事務局に「学校はどうなるのか。」と心配していらっしゃる方が数人居られました。学校受難のこの時代に同窓会が学校に対してどう関わるのか、どうサポートするのか、同窓の皆様の英知を結集して方向付けをして行くのが現下の要務ではないでしょうか。何卒皆様方のご協力を仰ぎ、事務局長の任務を遂行させて戴きますようお願い申しあげまして就任のご挨拶と致します。

『澱江』購読料のお願い

「自らの購読料で『澱江』を育てよう！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました『澱江』購読料は、お陰さまで深い御理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

われわれ編集子一同は、この力強いご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、ひとふんばり、ふたふんばり頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

（ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。郵便局をご利用になれば振込手数料は不要です）

本部役員一覧　1998.11.20現在

役職	氏名	卒回
会長	萩原　市郎	10
常任相談役	磯野　斉	3
常任理事	玉岡　浩	12
常任理事	前田　悦子	13
常任理事	上野　満里子	14
副会長（総務・財務担当）	陰下　嘉典	16
常任理事	太田　澄一	17
事務局長	水納　敏也	25
組織部長	白井　幸正	26
常任理事	車野　修三	27
常任理事	平尾　哲男	28
副会長（組織・広報担当）	津秋　靖博	29
組織部副部長	神田　博	30
財務部副部長	中村　敏啓	31
広報部長	波根　俊伸	32
常任理事	森西　彦政	33
財務部長	大福　介雄	35
総務部長	梶大　健男	37
長長問問事事部部副副会	渡山　秀好	37
長長問問事事部部副副会	長南　彦生	46
長長問問事事部部副副会	桑長　一昇	3
長長問問事事部部副副会	福植　晃耕	5
長長問問事事部部副副会	総務部部誉	9
長長問問事事部部副副会	財務報	11
長長問問事事部部副副会	総広名	8
長長問問事事部部副副会	顧顧顧	16
長長問問事事部部副副会	監監監	32

逍遥歌

作詞　中村行男
（16回卒）
作曲　松川圭一
（15回卒）

1.
此処　城北に迎えたる
紺碧淀の春の夢
惜春の賦のただよえば
薫風静かに流れ来て
逝きし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2.
水や濁れる人の世に
真理求めて遊ぶ子の
友愛久遠に変るまじ
汝が悲しみに我は泣き
吾が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春を

3.
踏めば小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎の乙女子は
生命新たな此の曲に
花咲く野山花の下
声美しく歌うかな

学園歌

作詞　黒正巖
（昭和高商初代校長）
作曲　水野康孝
（元本学教授）

1.
商都の東北澱江に
臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧の広野原

2
一千余年の其の昔
大隅の宮の在りませし
聖き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教えの道の元標

3.
黒煙天をひた蔽い
船車どよもす八衝を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生

学　歌

作詞　秋本吉郎
（元本学教授）
作曲　柴田南雄
（元放送大学教授）

1.
大淀の　水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原　緑が沁みる
この若さ
希望は明るい　蒼穹かけて
永遠の青春　みなぎる学園
大阪　大阪経済大学

2.
大樟の　蔭は裕々
夏風そよぐ
学徒師弟が　幹負いもちて
諸汗に
確かと植えた　融和の象徴
繋れ自由の　花さく学園
大阪　大阪経済大学

でんこう
澱江
1998

■発行日　1998年12月20日
■編　集　同窓会広報部
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
電話（06）6328-2431
■印　刷　凸版印刷株式会社
〒533-8550 大阪市福島区海老江3-22-61
電話（06）6454-3256

限定出版
申込受付

平成10年度版同窓会名簿

新名簿を発行いたします。
申込みによる限定出版になっておりますので、お早くお申し込みください。

収録概要
◇第1回卒業生より第64回卒業生（平成10年3月卒業）
◇創設時より平成10年3月までの大学院の卒業生

価　格
◇一冊　6、000円（送料込）

予約金支払方法
◇郵便振込
同封の払込用紙をご利用ください。（払込手数料は不要です。）

発行予定
◇平成11年春頃

問い合わせ先
◇大阪経済大学同窓会事務局
06・6328・2431(代)

異動のあったときはただちにご連絡ください。

●住所変更
●呼称変更
（新住居表示となった場合）
●勤務先変更
●所属部課異動
●役職異動
●電話番号変更

などの場合は、同封してあります「名簿作成調査表」をご利用のうえ、本部へお届けください。
とくに官公庁、金融機関、損保関係、国公立学校にご勤務の会員のご協力をお願い申しあげます。

ご注意

最近、皆さまのお手もとに複数の出版社等から、大阪経済大学同窓会名簿の制作に当たってという名目で、調査カード並びに購入の勧誘が届いていることと思います。この件についてさまざまな問い合わせが寄せられていますが、同窓会本部とは一切関係がありません。
ご承知おきくださいますようよろしくお願い申しあげます。

編集後記

▼21世紀を目前にして「道理貫天地」の言葉が輝き、経大健児の心意気が『澱江』や総会などに溢れているようです。
▼『澱江』の発刊が心待ちな先輩が多いことに若返った編集スタッフは勇気づけられています。
▼今年の3月に卒業して早々に、澱江の編集に参加させていただきました。初めてなので大変でしたが、来年はもっと頑張りますので、よろしくお願いします。
▼丹有支部の総会に出席させていただきました。同窓会総会にも匹敵する内容の濃い支部総会に参列させていただき、感謝のいたりです。いつもながら、各支部の熱意とご努力には、頭がさがります。
▼久しぶりに学生時代の古いクラブ部活動記録を読む、うまくいったときの感動・感謝、生きていることの喜び・躍動感があふれている。澱江を読まれた機会に、もう一度その気持ちを確認してみてはいかが。
▼故黒正先生の50年祭に参列。50年の節目の重さを感じ、じかに教えを受けた者としての誇りが一段と胸を熱くしました。
▼我がOB曰く、たとえ今は、思うようにいかない、苦しい逆境の連続であったとしても、長い一生からすれば一喜一憂する必要はない。
▼経大スピリットで乗り切った先輩。『まけたらあかん！』と経大生の誇りを胸に、各分野で活躍する卒業生。巻頭言に登場する井阪先輩もその一人。社会貢献の自分史をいかに刻むことが大切かを教えて頂いたようだ。


KEIDAI
OSAKA